

福岡市教育委員会 御中

令和6年度

福岡市立学校における業務改善推進者養成及び業務改善支援業務

実施報告書（資料編）

2025年3月31日

株式会社 先生の幸せ研究所

目次

1.	プログラム実施概要	2
-	事業全体像	3
-	全体スケジュール	4
-	対象校一覧	9
2.	各対象校の取組み	10
-	取組みによる変化	24
3.	他都市の学校の取組み	25
4.	研修資料	38
-	第1回全体研修会	39
-	第2回全体研修会	119
-	校内ワークショップ	135

1

プログラム実施概要

- 事業全体像
- 全体スケジュール
- 対象校一覧

事業全体像

本事業の目的を達成するため、対象校ごとの「個別最適な」支援や実践と、対象校同士の「協働的な」取組みを両輪で進め、最終的には市内実践報告会で対象校以外にも実践の輪が広がるよう事業全体を設計した

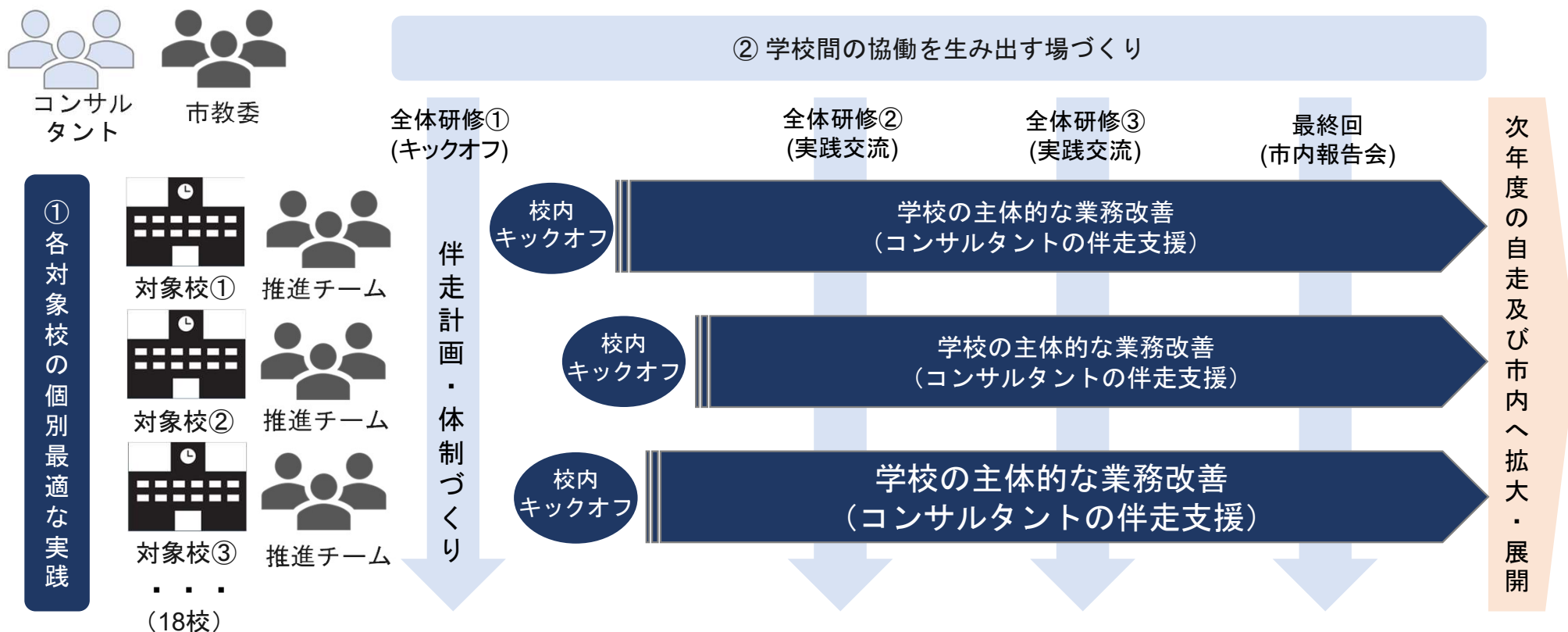
対象校ごとの
個別最適な支援・実践

学校ごとの主体的な業改善を後押しするための、外部コンサルタントによる個別伴走支援

対象校同士の
協働を生み出す場づくり

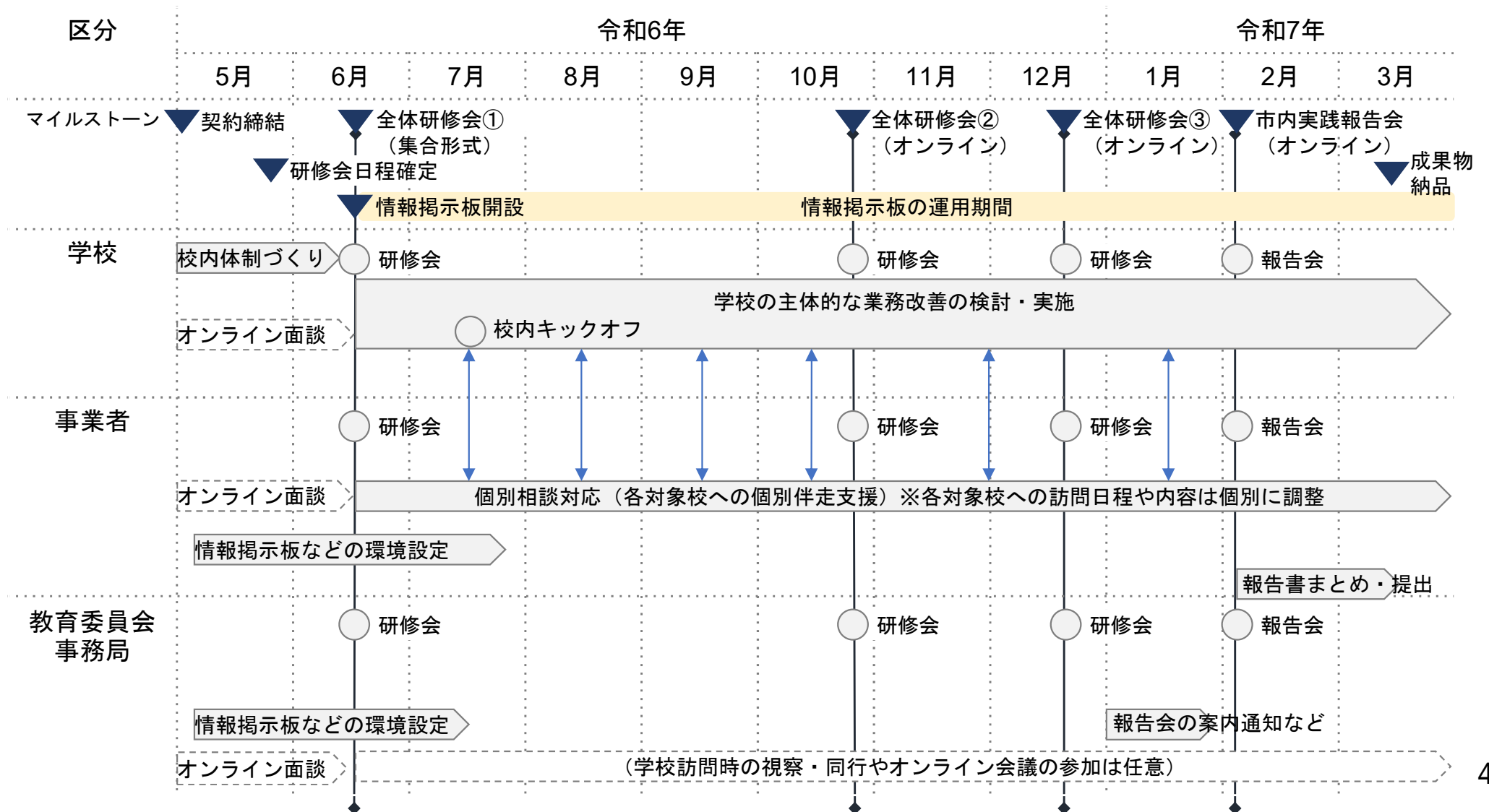
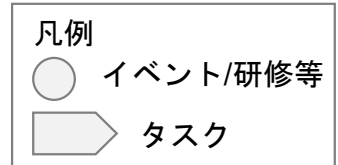
全体研修で各校の実践を共有し、共に歩む仲間同士で励まし合い高め合うための実践交流と、最終的に対象校の取組みを市内に広げるための実践報告会

■個別最適で、協働的な取組みを生み出す事業の全体設計



全体スケジュール

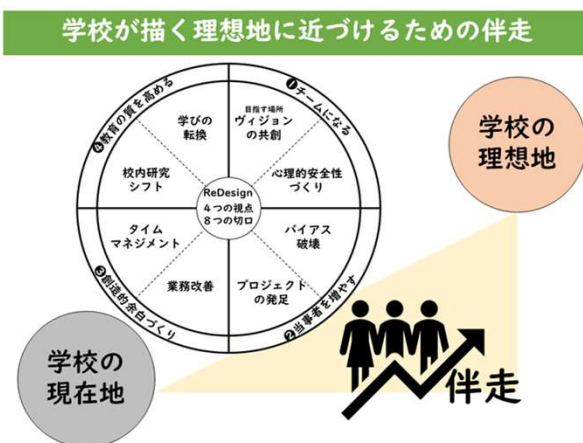
- 令和6年5月の事前準備（対象校選定など）から6月10日に全体研修会①でキックオフを実施
- そこから夏季休業中を中心に各学校でキックオフを行い、校内で取り組むテーマや推進体制を決めた上で主体的な業務改善を推進
- 10月末と12月末に全体研修会オンラインを設定し、各校の実践状況を共有し、推進者同士が交流を深めることで更なる後押し、最終的に1月末～2月初旬の市内実践報告会を開催



全体研修会（第1回～第3回）

第1回は集合形式で各対象校から管理職＋推進メンバーが参加して伴走支援のイメージ合わせや年間の見通しを検討し、校内キックオフを踏まえて2回目以降は推進メンバーが参加して取組み状況の共有、実践交流の場を設定した

第1回全体研修会(2024年6月10日)




第2・第3回全体研修会(2024年10月、12月)

オンラインのよりよい場づくり



各実施校の現在地やニーズに応じて対応

- これから本格的に始める
→ プレゼンテーションから実践まで
(90分)
- インパルスの大まかテーマに着手したい
→ 深掘りして実践を始める
(60分)
- 本場に共感する方々が、一部の先生は
→ 深く掘り込んで実践を始める
(60分～90分)
- 学校全体で創造的余白は生まれている
→ 児童生徒主体の学びへの転換
(60分～90分)
- 上記のいずれにも当てはまらない
→ 個別にデザイン
(60分～90分)

行政区	学校名	校内キックオフ	第2回全体研修会 (10/29&31)	第3回全体研修会 (12/17 実践共有)
東	和臼小学校	90分 ・時間予備WS ・プロジェクトチーム結成まで → チーム結成。左記「これまでの取り組み」は新聞記事程度で、本WSで決めたことを軸に改善を進めていく。	○出席確認シートの活用 ○職員室環境整備 ○朝の礼拝（職員室の整理）（朝の礼拝を減らす） ○職員連絡の発信者を減らす（読みたい内容は記事のみにする） ○児童の委員会活動に任せる仕事を作る。 ○朝の礼拝のあり方（若年層向けの研修） ○第2職員室の整備 ○朝の礼拝（自学への移行等） ▲朝の礼拝と朝の礼拝（マスタースター） ▲ローテーション給食等の取組（人員不足）	○出席確認シートの活用 ○職員室環境整備 ○朝の礼拝（職員室の整理）（朝の礼拝を減らす） ○職員連絡の発信者を減らす（読みたい内容は記事のみにする） ○児童の委員会活動に任せる仕事を作る。 ○朝の礼拝のあり方（若年層向けの研修） ○第2職員室の整備 ○朝の礼拝（自学への移行等） ▲朝の礼拝と朝の礼拝（マスタースター） ▲ローテーション給食等の取組
多摩	香住小学校	8/22(木)13:30-14:15(45分) 副島教諭・小島先生 /ハリスミ・ヘルシー・ハロッピーOH 7/24のキックオフ後PTを8つに絞る → 80PTを提示し、チーム決め、作業会議 ※8/22後、各PTが動き出せるように ※8つのプロジェクト、アツ決定	○出席確認シートの活用 ○職員室環境整備 ○朝の礼拝（職員室の整理）（朝の礼拝を減らす） ○職員連絡の発信者を減らす（読みたい内容は記事のみにする） ○児童の委員会活動に任せる仕事を作る。 ○朝の礼拝のあり方（若年層向けの研修） ○第2職員室の整備 ○朝の礼拝（自学への移行等） ▲朝の礼拝と朝の礼拝（マスタースター） ▲ローテーション給食等の取組	実践して内容 ①今日か(教科)から専科をせんか(目的 専科をやれば授業準備の軽減) → 教科専科を始める。 ②タイマー (目的 放課後の時間を確保する) → 放課後15分以内、終礼水曜日、月水に学年会、企画会の内容の一部を へ。 ③出退校10分前。基本 8:10から16:40 以外は、フレックス ④スマイルカフェ 専任店 (目的 もっとなかなかなりたい) → フォーターサーバー導入、職員室の片付け等 6名利用施設下2駐輪 ⑤どんとんちんちんSSS (目的 SSSに手付くなら仕事軽減) → 職員室・図書、取付け、授業準備、依頼カード・職員室の片付け等。 ⑥B ブラックBボックスB ぶっこいせH (目的 本質を見極める、目的を見失わ ない。) → 会議の進め方について 水曜日に1学年・人権、2部会 3企画会 4部会 提案は、 期休前にアワウズ月曜の連絡会でシート → 進捗は、月曜日 デジタルで ⑦ICT 学習を多くの先生ができるようになるプロジェクト (目的 みんながICT えるようにする。教材化) → ICTに関する質問に答える場と時間を設ける。まずは、新しいモニターの 付・スプレッドシートを持って特別教室稼働開始

Googleスプレッドシートで各校の取り組み状況を共有

◎：実現したこと

○：動かしている/検討していること

▲：困っている/相談したいこと

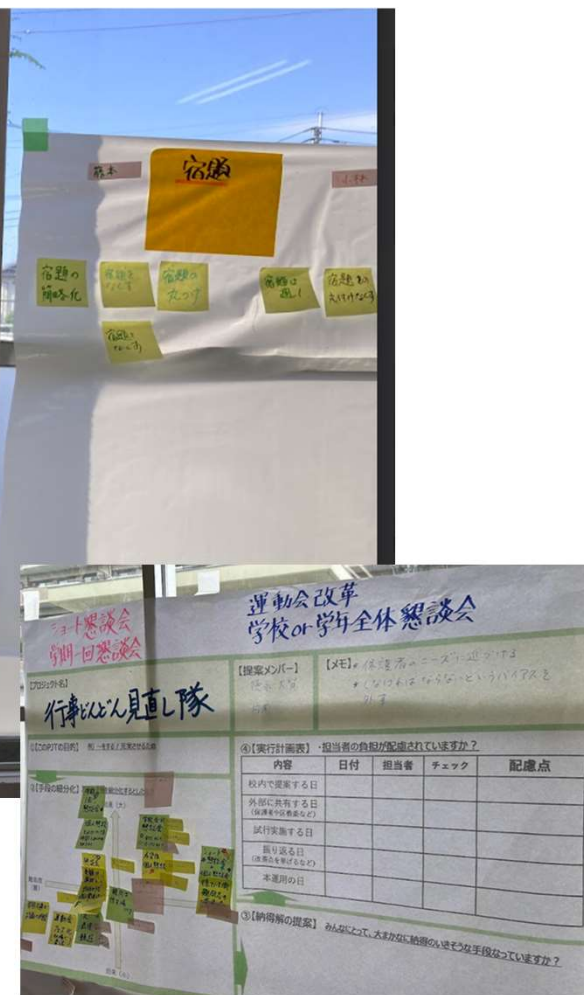
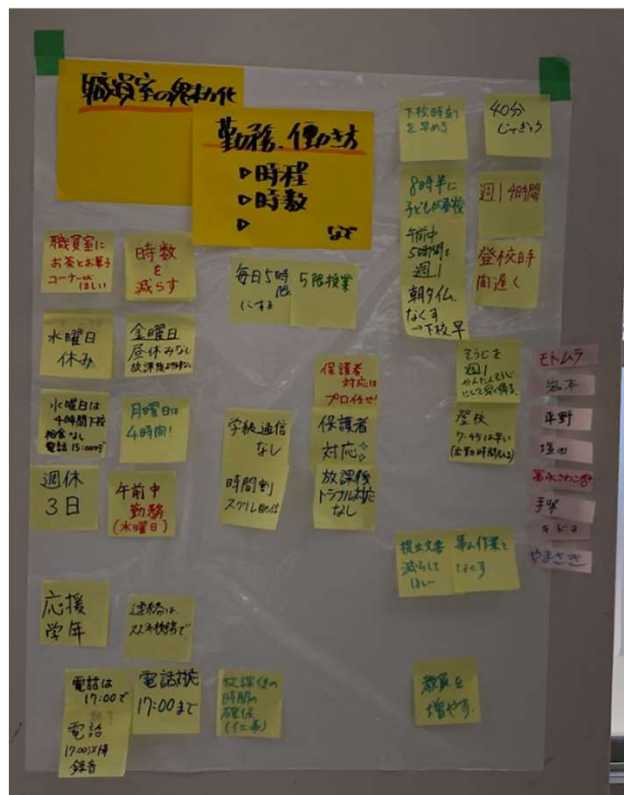
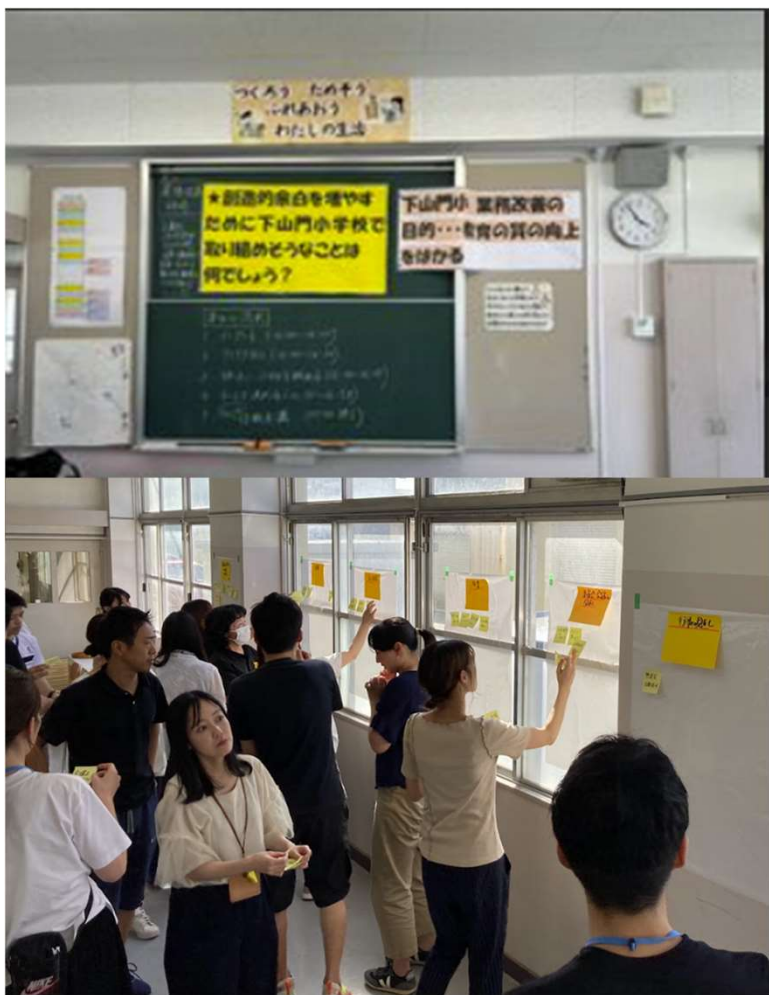
⇒推進者同士で実践交流を行うことで、励まし合い高め合いを促進

各対象校での校内キックオフ

第1回全体研修会後に各対象校とオンラインで打ち合わせを行い、校内キックオフの日程や内容について事前すり合わせを実施した

キックオフ当日は60分～90分程度の時間でアイデア出しや方向性を検討し、その後は管理職や推進チームが旗振り役となって校内で各取組みテーマをプロジェクト化、素案検討、試行実施という流れで進めた

※キックオフの内容、取り組むテーマ、その後の推進フローなどは各校のやりやすい形で検討



情報掲示板の運営（Google Classroom）

全体連絡や各対象校とのやり取りは市のGoogle Classroomを使用した



校内だけで実施した様子などもClassroom上で投稿（春住小）

独自にClassroomを作成する学校（小笹小のオザトーク）

市内実践報告会オンライン

2025年1月30日、2月5日の2日間にわたって市内実践報告会オンラインを開催し、「どこに異動しても大丈夫な福岡市」を目指して各対象校が今年度の実践発表を行い、市内からも多くの学校や先生が参加した

小笹小学校（実践発表）

今年度の取り組み内容は？

フレックス出退勤→30分前倒し（希望者） 花壇の水やり→スプリンクラーの設置

時制の見直し→金曜日を簡単清掃に 各種アンケートを研修の時間内で済ませる

指導案の見直し→略案、テーマの柱を記号で 5年生が道徳で交換授業を実施

テストの採点、宿題チェック→SSSの活用

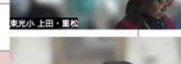
他校にお薦めしたい取り組みは？ 他校に気を付けてほしいポイントは？

フレックス出退勤

次年度に向けて取り組むことは？（具体的な取り組み、仕組みづくりなど）

異学年での対話を通じての授業改善

今年度の流れを継いで、毎週金曜日に30分程度の対話の時間（オザトーク）を確保。翌週の自分や子ども達が笑顔になるための具体的な方法を話し合う時間に。



学年チーム制にすると

生徒の主体性や自主性を尊重する場面が増えます。これまでの担任主導型学級経営から、生徒にチャレンジさせる「生徒主体」の活動が大切になります。

学年チーム制となり、学校生活や学校行事において、自分たちで考えて主体的に動くことができたと思いますか。



学年チーム制となり、以前（1年生は小学校の時）に比べ、いろんな先生に相談する機会が増えたと思いますか。



22

MTとSTのローテーション

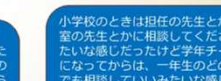


例えば...金～木→【学生ローテーション】

生徒の声

前は担任の先生しか親しく話す機会がなかったし、他のクラスの担任の先生に相談したいことがあっても担任に相談したほうが良いのかと迷うこともあったけど、学年チーム制になってからは自分が相談したい先生に迷わずに相談に行けるようになったので自分的にすごく良かった。（3年生）

毎週先生が変わるのでその日に来た先生と喋ったりするから。小学校のときは他のクラスの先生と話さずら



対象校一覧

行政区・校種のバランスを取りつつ、基本的には手挙げ方式で対象校18校（小学校13校、中学校5校）を選定した

No	行政区	校種	学校名	備考
1	東	小学校	青葉小学校	
2	東	小学校	和白小学校	
3	博多	小学校	春住小学校	
4	博多	小学校	東光小学校	
5	中央	小学校	小笹小学校	
6	中央	小学校	春吉小学校	
7	南	小学校	大池小学校	
8	南	小学校	弥永西小学校	
9	城南	小学校	田島小学校	
10	早良	小学校	原小学校	
11	早良	小学校	高取小学校	
12	西	小学校	壱岐小学校	
13	西	小学校	下山門小学校	
14	博多	中学校	席田中学校	
15	中央	中学校	当仁中学校	
16	南	中学校	柏原中学校	
17	城南	中学校	城西中学校	前年度からの継続校
18	早良	中学校	次郎丸中学校	

2

各対象校の取組み

各対象校の取組み（1/5）

対象校への支援内容は基本的に同じでも、生まれた実践は各校の実情や主体性に沿った取組みとなった
※実践の中には、検討の結果実現しなかったものも含まれる

No	行政区	校種	学校名	主な支援内容	今年度の実践	次年度取組み予定
1	東	小学校	青葉小学校	7/19校内キックオフ ※訪問回数：1回	・時制の見直し(サマタイム) ・定時退校日の設定 ・SSSの有効活用 ・終礼の短縮化 ・チームでの年間計画作成	・2学期制への移行 ・時制の見直し ・SSS活用のシステム化
2	東	小学校	和白小学校	7/25校内キックオフ ※訪問回数：1回	・職員室の整理 ・時制の見直し ・交換授業・ローテーション給食の導入 ・出席確認シートの運用 ・職員連絡の短縮 ・SSSの有効活用 ・所見の見直し	・若年研修の見直し ・第2職員室の整備
3	博多	小学校	春住小学校	(7月にチーム発足後) 8/22校内キックオフ ※訪問回数：1回	・フレックスタイム導入 ・学年担任制の導入 ・ICT活用のサポート ・職員専用の駐輪場設置 ・終礼の短縮化 ・SSSの有効活用 ・特別教室使用割（紙管理）のICT化	・授業改善 ・授業時数の見直し
4	博多	小学校	東光小学校	(校内でアンケート調査後) 10/18校内ワークショップ ※訪問回数：1回	・専科の加配 ・時制の見直し ・長期休業中のウサギのエサ・花の水やり自動化 ・学級通信の簡略化 ・時数カウントの変更	・今後話し合って検討

各対象校の取組み (2/5)

(前頁の続き)

No	行政区	校種	学校名	主な支援内容	今年度の実践	次年度取組み予定
5	中央	小学校	小笹小学校	8/21校内キックオフ ※訪問回数：1回	・フレックスタイム導入 ・時制の見直し(清掃) ・指導案の簡略化 ・SSSの有効活用 ・花壇の水やり自動化 ・研修アンケート効率化 ・交換授業(5年道徳)	・授業改善 ・継続改善の仕組みづくり(対話の時間：オザトーク)
6	中央	小学校	春吉小学校	(8/19校内だけでキックオフ後) 10/18校内ワークショップ ※訪問回数：1回	・登校指導の見直し ・朝会・行事の簡素化 ・終礼の短縮化 ・職員室掲示板の電子化 ・学級通信の簡略化 ・近接学年会＋バディ制 ・情報共有のICT化 ・成績処理の効率化	・時制の見直し
7	南	小学校	大池小学校	7/24オンライン作戦会議 10/9校内キックオフ 11/7オンライン作戦会議 ※訪問回数：1回	・職員室の環境改善 ・教科書ロッカーの作成・整理 ・配布チラシの削減 ・時間割の張り出し ・目指す児童像の策定 ・チーム担任制 ・時制の見直し(清掃)	・時制の見直し ・音楽会のあり方見直し ・家庭学習のあり方見直し ・個人懇談のあり方見直し

各対象校の取組み (3/5)

(前頁の続き)

No	行政区	校種	学校名	主な支援内容	今年度の実践	次年度取組み予定
8	南	小学校	弥永西小学校	7/23校内キックオフ ※訪問回数：1回	・職員室のフリーアドレス化 ・会議の精選 ・特別教室の整理 ・学級通信の簡略化 ・時制の見直し ・長期休業中の全体出勤日を減少 ・交換授業(教科担任制)	・保護者・地域ボランティアアプリの導入 ・企業コラボでプロフェッショナル導入 ・行事の見直し(懇談会) ・時制の見直し ・委員会・クラブ運営の見直し
9	城南	小学校	田島小学校	8/20校内キックオフ ※訪問回数：1回	・計画年休の取得 ・SSSの有効活用 ・掲示板の貼り換え廃止 ・連絡会の開始時間変更 ・時制の見直し ・部会、会議の精選 ・キャリアアップ研修枠の設定	・所見の回数削減
10	早良	小学校	原小学校	7/25校内キックオフ ※訪問回数：1回	・フレックスタイム導入 ・会議・部会の精選 ・DX化の推進(資料共有・アンケートなど) ・AIドリルの活用	・行事の見直し ・授業時数の削減 ・生成AIの活用
11	早良	小学校	高取小学校	7/25校内キックオフ ※訪問回数：1回	・時制の見直し(月1研修・帯タイムの活用、学期初めの5時間授業など) ・SSSの有効活用 ・行事の精選 ・長期休業中の全体出勤日を減少 ・教科担任制の部分導入	・委員会の回数削減 ・家庭学習のありかた見直し ・個人面談の削減(1学期初め)

各対象校の取組み (4/5)

(前頁の続き)

No	行政区	校種	学校名	主な支援内容	今年度の実践	次年度取組み予定
12	西	小学校	壱岐小学校	(校内でアンケート調査後) 7/23校内キックオフ 1/29個人のタイムデザイン ※訪問回数：2回	・業務改善推進委員会の設置 ・校務分掌見直し ・SSSの有効活用 ・連絡会の短縮 ・休憩室の充実 ・SSSによる休み時間の見守り ・スクリレ導入 ・配布チラシの削減 ・児童個人BOXの設置 ・フレックスタイム導入	・民間プール活用 ・教科担任制の検討 ・時制の見直し ・行事の見直し ・勤務時間の見直し
13	西	小学校	下山門小学校	7/4校内キックオフ 7/19校内での作戦会議 ※訪問回数：2回	・学級通信の簡略化 ・時制の見直し(短縮時制を週2で導入) ・昇降口開錠時刻の変更 ・チーム担任制の部分導入(教科担任制、宿題チェック、給食準備など) ・チラシの配布方法変更 ・職員室の環境改善 ・SSSの有効活用	・学びの質の向上 ・外部委託(清掃、習字の講師、プール指導員) ・チーム担任制の更なる導入 ・懇談会のあり方見直し
14	博多	中学校	席田中学校	9/27校内キックオフ ※訪問回数：1回	・部活動指導員の増員 ・行事の精選・統合 ・外部委託(プール清掃・テント設営) ・SSSなどの有効活用	・行事の精選

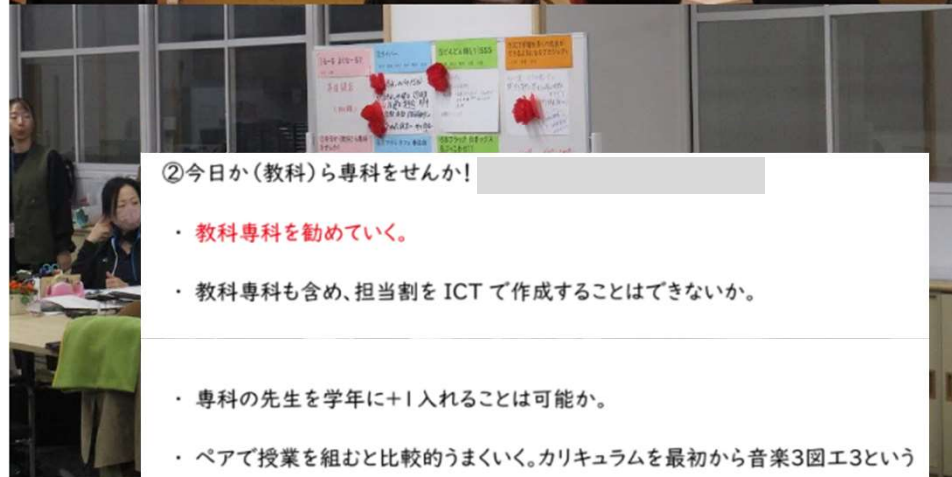
各対象校の取組み (5/5)

(前頁の続き)

No	行政区	校種	学校名	主な支援内容	今年度の実践	次年度取組み予定
15	中央	中学校	当仁中学校	7月にオンライン作戦会議の み ※訪問回数：0回	- 生徒指導対応の迅速化 - 管理職による個別相談	- 主体的に学ぶ生徒の育成 - 授業改善
16	南	中学校	柏原中学校	8/20校内キックオフ ※訪問回数：1回	- 時制の見直し - 戸締り登板の見直し - SSSや非常勤講師の増員 - SSSの有効活用 - 定期考査の体制見直し - 土曜授業の振替見直し	2学期制の導入
17	城南	中学校	城西中学校	なし (昨年から継続のため自走段階) ※訪問回数：0回	- 学年・チーム担任制の導入 - 職員室のフリーアドレス化	- 学年・チーム担任制の定着化 - 定期考査の廃止
18	早良	中学校	次郎丸中学校	8/22校内キックオフ ※訪問回数：1回	- 時制の見直し - 職員朝会の効率化 - 職員会議・運営委員会のペーパーレス化 - 朝会の短縮化 - 単元テストの見直し - 時間割確認の効率化	- 時制の見直し - 期末考査、実力テストの回数見直し - 改善活動を継続するための仕組みや場づくり

【対象校の実践】 春住小学校の取組み

校内キックオフの中で挙がったテーマを校内プロジェクト化して、その中で教科担任制の部分導入を推進



②今日か(教科)ら専科をせんか!

- ・教科専科を勧めていく。
- ・教科専科も含め、担当割をICTで作成することはできないか。
- ・専科の先生を学年に+1入れることは可能か。
- ・ペアで授業を組むと比較的うまくいく。カリキュラムを最初から音楽3図工3というように揃えたと交換し易い。
- ・どれくらい専科の人数がいるのか。



【対象校の実践】東光小学校の取組み

今年度中に学びの転換を取組みの柱に据えた学校はなかったが、生み出した余白を活かして次年度以降に授業改善や児童生徒主体の学びへの転換を目指す学校や、家庭学習のあり方見直しなどを取り上げる学校が多数あった

また、本事業とは別で既に「単元内自由進度学習」などに取り組んでいる学校もあり、今後福岡市内でも授業改善と業務改善を両輪で進めていく学校が増えていくことに期待したい

参考. 東光小学校のワークショップで家庭学習について方向性を検討したワークシート

①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
- 子どもの学びの楽しさ、やりがい (子) - 家庭学習の習慣 (教・保)	- 出すの 提出させ 見る 忘れやすい 親の手間 - クラス・学年の差 - 教員の負担 (教・保)

②【手段の提案】

④ 出したい子 出る 出したい笑と 出る

③ 量とゴールを決めて 自由進度 + ポリカネリ

② 教科書の練習を丁寧に とりかき

① ①内分の宿題 出る

③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？

① → ② → ③ → ④

すにじあつやれば慣れていく！

【プロジェクト名】

宿題なくし隊！！

【メンバー】

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日				
外部に共有する日 (保護者や区教委など)				
試行実施する日				
振り返る日 (改善点を挙げるなど)				
本運用の日				

Project

【対象校の実践】小笹小学校の取組み

福岡市の早出退出勤実施要項に則って2024年11月1日から柔軟な出退勤を運用開始

ストリーム

授業

メンバー

採点

オザトーク

カスタマイズ

Meet

参加

小笹

クラスへの連絡事項を入力

2024/11/01

11月1日から早出勤務希望の方早出勤務を開始します。
よろしくお願いいたします。

コ

クラスのコメントを追加...

2024/09/19 (最終編集: 2024/09/19)

すみません,早出退出勤務の希望調査で名前を入力して頂くのを忘れていました。
お忙しいところすみません,もう一度アンケートをよろしくお願いいたします。

Google Forms: Sign-in

<https://docs.google.com/forms/c>

福岡市立学校職員の早出退出勤務実施要領

制 定 平成 27 年 4 月 1 日
最終改正 令和 6 年 4 月 1 日

第1 ワーク・ライフ・バランス実現のための早出退出勤務

1 趣旨

職員がフルタイムでの勤務を継続しながら自身の生活スタイルや家庭の事情に合わせた柔軟な勤務時間を選択することを可能とすることで、職員のワーク・ライフ・バランスの推進や Well-being の向上、ひいては組織の生産性の向上を図るもの。

2 対象職員

市立学校に勤務するフルタイム勤務の一般職職員（次に掲げる職員を除く。）

- ① 学校用務員
- ② 調理業務員
- ③ 育児短時間勤務をしている職員

3 要件

次のいずれにも該当する場合

- ① 職員がワーク・ライフ・バランスを推進するために早出退出勤務を希望する場合
- ② 所属長が公務の運営に支障がないと認める場合

4 具体的な勤務時間

早出退出勤務の具体的な勤務時間等については、次のとおりとする。

勤務区分		休憩時間
基準となる勤務時間 (本来の勤務時間) 1 / 4 の帯から	2 時間早出【早 120】	変更しない。
	1 時間 30 分早出【早 90】	
	1 時間早出【早 60】	
	30 分早出【早 30】	

【対象校の実践】大池小学校の取組み

職員室環境の改善や教科書を置くロッカー、チラシ置き場の設置（配布チラシの削減）などに着手

環境改善に取り組みます！

さて、早速ですが教育環境を整えるという視点で職員室やその他の教室を眺めるといくつかの課題が浮かび上がりました。

【職員室】

- ・職員室内に簡単なミーティングを行うスペースが少ない
- ・印刷機の位置が後方にあり、遠い職員がいる
- ・廊下側にモニターが多々あり、整理されていない

【相談室（保健室横）】

- ・そもそも相談室としての環境が
- ・書籍や書類、運動会や儀式の際
- ・ごちゃに置かれている

このような課題をこの夏休みで改善し、機能的で使える居室にしていきたいと思います。以下のように、職員室と相談室をレイアウト変更していきます。（作業は、夏で少しずつ行っていきます。）



職員室環境改善



教科書を置くロッカー



チラシ置き場



時間割の貼り出し

【対象校の実践】 弥永西小学校の取組み

職員室を広くするためにフリーアドレスを導入

職員室前方

フリー
アドレス



スタンド式
作業台

仕事、情報交
換、下には共
用文房具など



職員室後方

フリー
アドレス

仕事、教育相
談、個別支援



集中スペース

仕切り裏に机

話しかけられ
ずに仕事でき
る

【対象校の実践】下山門小学校の取組み

週2回の短縮時制を導入して14:45下校＋開錠時刻の変更によって児童の在校時間を短縮

①お家へ帰ろうグループ

(実施できたこと)

- 短縮時制の導入（週2回）⇒月火水 14時45分下校
- 昇降口開錠時刻の変更（7時45分→8時）

(来年度に向けて)

- ・時数の見直し（29コマ⇒28コマ）
- ・研修回数や部会の見直し

月曜日と水曜日は、6時間の学年でも14時45分下校となる。火曜日は全学年5時間の日で14時45分下校であるため、月～水は15時15分から学年会や研修などの時間が増えた。この時制により、職員全体の退勤時間が以前より早くなった。
※週に2日掃除なしとなるため、来年度はシルバー人材センターを通してトイレ清掃を外部委託

【この特別時制を実施するまでの手順】

- ①3パターンの時制を提案
- ②職員で決めたパターンで試行期間
- ③職員アンケートを実施

令和6年度 B時制

朝の会	8:30～ 8:40
1校時	8:40～ 9:25
準備タイム	9:25～ 9:30
2校時	9:30～10:15
中休み	10:15～10:25
準備タイム	10:25～10:30
3校時	10:30～11:15
準備タイム	11:15～11:20
4校時	11:20～12:05
給食	12:05～12:50
昼休み	12:50～13:05
5校時	13:05～13:50
準備タイム	13:50～13:55
6校時	13:55～14:40
帰りの会	14:40～14:45 下校14:45

のびっこタイム
なし

清掃・
準備タイムなし

【5校時後 下校】
帰りの会
13:50～14:00
下校 14:00

帰りの会

【対象校の実践】 柏原中学校の取組み

時制の変更（5時間の日は14時35分、6時間の日は15時35分に下校）や土曜授業の振替時間の見直し、二期制への移行など複数の取組みで教育課程の編成に着手

普通時制（令和6年度）

新	A 月・水・金	B 火・木
生徒登校	8:15(昇降口通過)	
朝の会	8:20~8:30	
清掃	8:30~8:40	なし
1校時	8:50~9:40	8:40~9:30
2校時	9:50~10:40	9:40~10:30
3校時	10:50~11:40	10:40~11:30
4校時	11:50~12:40	11:40~12:30
給食	12:40~13:15	12:30~13:05
昼休み	13:15~13:35	13:05~13:35
中休み	(予鈴13:25)	(予鈴13:25)
5校時	13:35~14:25	13:35~14:25
6校時	14:35~15:25	14:35~15:25
帰りの会	15:30~15:35	15:30~15:35
		(5時間時) 14:30~14:35
職員休憩時間	13:15~13:35(20) 15:35~16:00(25)	火 13:05~13:35(30) 火 15:35~15:50(15) 木 14:55~15:40(45)

二学期制実施に向けて

2学期制のメリット

- 授業時数におけるメリット
 - ・始業式や終業式、定期考査の回数が減るため、その分授業時間に充てることができる。それにより、週に5時間授業を増やすことが可能になる。
- 評価におけるメリット
 - ・長い学期になるため、授業や学習の連続性を保ちやすく、深い学びが可能。
 - ・評価が年3回から2回になるため、十分な量の評価項目と評価期間を確保することができる。1学期は体育大会等で授業時数の確保が難しく、技能教科では特に評価に困難さを感じている。
 - ・定期テストが年4回(6月、9月、11月、2月)から年2回(9月、2月)にすることが可能になるため、テスト作や採点業務が軽減する。また、6月の定期考査がなくなるため、中絶体前の部活動が可能になる。
- 係制・時間割のメリット
 - ・現柏原中学校の係や時間割が前期・後期制であるため、活動の区切りが良い。



2学期制のデメリット

- 事務的なデメリット
 - ・新しい年間指導計画や年行事の設定等、教務の負担が増大する。
 - ・新しい年間指導計画の作成が必要。
 - ・保護者への説明(授業参観や学校だより等)が必須。
- 学習におけるデメリット
 - ・定期的な評価が少ないため、進捗の確認や問題の早期発見が遅れる可能性がある。
 - ・単元テストの確実な実施が必要。
- 学級事務的なデメリット
 - ・通知表を10月の初旬にしか受け取れないため、夏休みに三者面談で授業や学習の様子を保護者に伝えていた学校もあり、もし三者面談を実施することになれば1・2年生担任の負担が増える。

【令和6年4月1日現在 2学期制の中学校】

- ・博多中、千代中、東光中、那珂中、警固中、三宅中、片江中、高取中、赤坂中、元岡中、次郎丸中
- ・花畑小(保護者の抵抗感は少ないかも?)

【対象校の実践】城西中学校の取組み

クラス担任を1人に固定する「固定担任制」を廃止し、2024年度から「チーム担任制」を導入し、2年生は7クラスを2つのグループに分け、4クラスを7人、3クラスを5人の教員が担当

学年チーム制にすると

生徒の主体性や自主性を尊重する場面が増えます。
これまでの担任主導型学級経営から、生徒にチャレンジさせる「生徒主体」の活動が大切になります。

学年チーム制となり、学校生活や学校行事において、自分たちで考えて主体的に動くことができたと思いますか。



学年チーム制となり、以前（1年生は小学校の時）に比べ、いろんな先生に相談する機会が増えたと思いますか。



MTとSTのローテーションの例



例えば...金～木→【学年会】→金～木
ローテーション

生徒の声

10

前は担任の先生しか親しく話す機会がなかったし、他のクラスの担任の先生に相談したいことがあっても担任に相談したほうが良いのかと迷うこともあったけど、学年チーム制になってからは自分が相談したい先生に迷わずに相談に行けるようになったので自分的にすごく良かった。
(3年生)

毎週先生が変わるのでその日に来た先生と喋ったりするから。小学校のときは他のクラスの先生と話しづらかったけど今は1学年の担当の先生の半分がMTをしてくれているので話しやすいです。
(1年生)

いろいろな先生方と合う機会が増えたので、悩み事や困ったことがあってもたくさんの先生方に相談することができるし、小学生の頃よりも先生方と親密に慣れて、いいなと思います。
(1年生)

小学校のときは担任の先生とか保健室の先生とかに相談してくだされたいな感じだったけど学年チーム制になってからは、一年生のどの先生でも相談していいな感じで自分が話しやすい先生に相談することができるようになった。
(1年生)

取組みによる変化

(1) 対象校における時間外在校等時間の推移

対象校18校におけるR5年度とR6年度の一人当たりの時間外在校等時間の月平均（各年4～1月）を比較すると、17校で減少が見られた。右表のとおり、対象校18校全体の平均として月約5時間30分の減少となり、各対象校での取組みが定量的な成果に現れている。

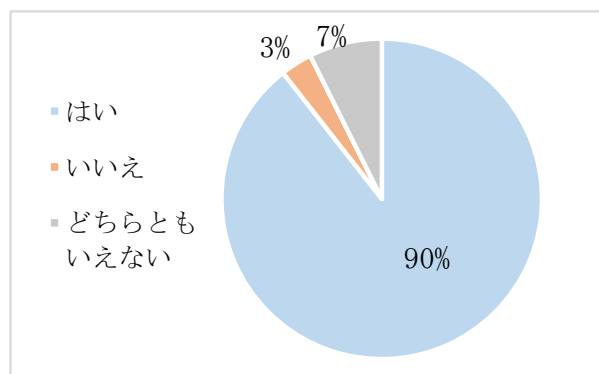
対象校（18校）の時間外在校等時間
R5-R6比較（各4～1月の月平均）

区分	R5	R6	差
小学校	31:52	26:43	-5:09
中学校	38:30	31:56	-6:33
全体	33:43	28:10	-5:32

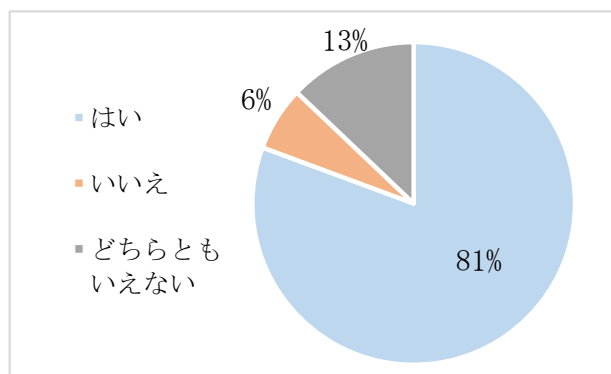
(2) アンケート結果（n=31件 ※回答率：65%）

各対象校の管理職及び推進担当者にアンケートを実施した結果、今回の業務改善支援に対して以下の回答が得られた。

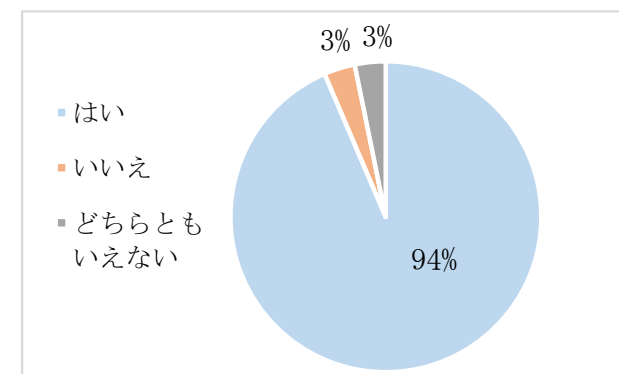
Q コンサルタントの支援は役に立ったと感じますか？



Q 業務の負担が軽減されたと感じますか？



Q 職場の雰囲気や業務改善への意識は向上しましたか？



【主な意見】

- ・全職員で取組めば改善できることがたくさんあることを多くの先生が感じる事ができた
- ・職員の在校時間が明らかに短くなりました。また、職員室での会話が増え雰囲気がよくなった

(3) まとめ

管理職及び推進担当者の多くが、今年度の業務改善支援の有効性を感じており、時間外在校等時間についても一定の削減を行うことができたといえる。

さらに、前述の各校の取組みを見てもわかるように、コンサルタントが直接学校を訪問して行った校内キックオフ以後、ほとんどの学校が校内の教職員や管理職のみの力で業務改善を進めることができたにも関わらず、アンケートでは「コンサルタントの支援が役に立った」と回答した割合が高かった。このことから、教職員や管理職は業務改善のアイデアを形にして進めることができる可能性を十分に備えており、今学校に必要なものは、業務改善のきっかけとなる外部からの働きかけであると考えられる。

また、校内の皆で本音を出し合うという今回の取り組みを通して、職場内に対話する雰囲気が醸成されたことがアンケートからもうかがうことができ、今後の自走にも期待できるものとなった。

3

他都市の学校の取組み

参考. 他都市の実践事例（福島県小学校）

R5年度3学期の試行期間を経て、R6年度から6校時終了が15時前に持ち上がり15時には完全下校を実現

② 日課表の見直し

例えば・・・

- ・ **6時間目終了時刻 15:40 → 14:50**
※ **15時には完全下校**
- ・ **掃除の時間 週1回**
(水曜日の業間 9:55～10:15)
※ **時計を見て主体的に行動する姿**
- ・ **昼休みはたっぷりと遊ぶ時間を確保**
12:30～13:10

○ 試行期間の設定

… 無理はないか、保護者や児童の意見も聞きながら最終決定した



そろった班から
清掃開始！

R6年度 日課表

登校時刻：7:50~8:00						
♪8:10 8:20 9:05 9:10 9:55 ♪10:10 10:15 11:00 11:05 ♪11:50 ♪12:30 13:00 ♪13:10 13:15 14:00 ♪14:05 14:50	月	火	水	木	金	勤務開始 8:10
	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	
	1	1	1	1	1	12:30 <

参考. 他都市の実践事例（福島県小学校）

小規模校の特性を活かして、異学年でチーム化を進めている

③ チーム担任制の導入

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
担任	A	B	C		E	F
副担任	B	A	教 務		F	E
国 語	A	B	C	D (複式補正)	E	教 務
算 数	A	B	C	D	E	F
理 科			D	F	教 頭	F
社 会			C	C	E	E
生活科	A	教 務				
音 楽	A		C		E	F
図 工	A		教 務		教 務	
体 育	B		D		F	
家庭科					教 務	F
外国語	(外国語活動)	B	(外国語活動)	B	E	B
総合的な学習			C	教 頭	E	F

※ 「道徳」、「学級活動」は担任が担当

- **3～6年担任は、原則、毎日空き時間がうまれた。**
低学年担任でも、午前中に空き時間がある日が週2～3日ある。
- **指導者が気づいた児童の良さなどは、校務支援システムの気づきに入力。**
- **ブロックごとに行うメリットと同時に、デメリットもあるとの声もある。**

参考. 他都市の実践事例（埼玉県小学校）

7月まで1コマ40分授業、8月以降は45分のシーズン制を導入（どちらのパターンでも6校時終了は15時前後）
また、火曜～金曜日は会議を入れず先生たちの自由な時間に設定

令和6年度は7月まで40分授業を実施しました。

令和6年度 笹目東小日課表(40分授業)				
月	火	水	木	金
登校 8:00~8:10				
朝の会 8:30~8:40				
Eタイム/清掃	集会/清掃	Eタイム	Eタイム	清掃
8:40~8:55				
学習準備		8:55~9:00		
1校時		9:00~9:40		
学習準備		9:40~9:45		
2校時		9:45~10:25		
業間休み		10:25~10:40		
学習準備		10:40~10:45		
3校時		10:45~11:25		
学習準備		11:25~11:30		
4校時		11:30~12:10		
給食 12:10~12:55				
昼休み 12:55~13:15				
学習準備		13:15~13:20		
5校時			13:20~14:00	
下校指導	学習準備	学習準備	学習準備	
14:00~14:15	14:00~14:05	14:00~14:10	14:00~14:05	
①研修 ②企画 ③職員会議 ④研修・マネ・就支 ⑤各種部会・各種委員会 14:15~15:00	6時間目	クラブ・委員会	6時間目	
	14:05~14:45		14:05~14:45	
	下校指導	14:10~14:55	下校指導	
	14:45~15:00	下校指導	14:45~15:00	
			14:55~15:00	
休憩時間				
15:00~15:45				
職員集会 15:45~16:00	①安全点検 ②教育相談	研修・学級事務等		
学級事務等 16:00~17:00	③各種部会・各種委員会 ④業務改善 15:45~17:00	15:45~17:00		

令和6年度 笹目東小日課表（45分）				
月	火	水	木	金
登校 8:00-8:10				
朝の会 8:30-8:40				
1校時		8:40-9:25		
学習準備		9:25-9:30		
2校時		9:30-10:15		
業間休み		10:15-10:30		
学習準備		10:30-10:35		
3校時		10:35-11:20		
学習準備		11:20-11:25		
4校時		11:25-12:10		
給食 12:10-12:55				
Eタイム/清掃	集会/清掃	Eタイム	Eタイム	清掃
12:55~13:10				
昼休み 13:10-13:25				
学習準備		13:25-13:30		
5校時 13:30-14:15				
下校指導	学習準備	学習準備	学習準備	
14:15~14:30	14:15~14:20	14:15~14:25	14:15~14:20	
①研修 ②企画 ③職員会議 ④研修・マネ・就支 ⑤各種部会・各種委員会 14:30~15:30	6時間目		6時間目	
	14:20~15:05	クラブ・委員会	14:20~15:05	
	下校指導	14:25~15:10	下校指導	
	15:05~15:20	下校指導	15:05~15:20	
		15:10~15:25		
休憩時間				
15:30~16:15				
職員集会 16:15~16:30	①安全点検 ②教育相談	研修・学級事務等		
学級事務等 16:30~17:00	③各種部会・各種委員会 ④業務改善 16:15~17:00	16:15~17:00		

- ・7月までを40分授業、夏季休業明けから45分授業
- ・5校時終了14:00、6校時終了14:45
- ・クラブ、委員会も月に1回ずつの設定

- ・放課後の余白の時間を子供たちに還元する。
- ・カリキュラム・マネジメント力をつける。
- ・勤務時間内で業務を完結させる。計画的に仕事をする。

参考. 他都市の実践事例（埼玉県小学校）

無料のアプリ「Hi」を活用して保護者・地域ボランティアを募集



大募集 

いつでも、できるときに、すこしでも

子供たちの学びを一緒に支えましょう！！

小学校では、行事や清掃、花壇整備、日々の授業で児童の学びを支援してくださるボランティアを募集しています。

御賛同くださる場合は右記のQRコードもしくはURLから、ボランティア募集アプリ「Hi」の登録をお願いいたします。

ボランティア募集アプリ「Hi」の導入

- ・導入まではGoogleClassroomを活用していたが、アプリのほうが便利！！
- ・クラスの保護者だけではなく、他学年の保護者にも呼び掛けられる。
- ・現在約１９０名登録
- ・保護者以外の学校応援団の方も登録可能（その都度、連絡しなくてよい）

参考. 他都市の実践事例（埼玉県小学校）

授業のサポートからトイレ掃除、花壇の手入れまで、先生たちが自由に募集をかけるため管理職の負担もかからない

ボランティア 募集アプリ 「Hi！」

現在会員数 190名



お気に入りインポート フックマーク PIAアプリ

募集 + 新規登録 CSV一括新規登録 CSVテンプレートDL

募集期間(公開中) ポイント未付与	募集期間(公開中) ポイント未付与	募集期間(公開中) ポイント未付与
6-2 総合的な学習の時間 町探検引 募集開始日 (公開日) 2023/09/04 公開終了日 2023/09/06 応募人数/上限人数 0人/2人 付与ポイント数 0ポイント 応募状況 削除	4年1組キャンプ練習日 募集開始日 (公開日) 2023/09/04 公開終了日 2023/10/19 応募人数 0人 付与ポイント数 1ポイント 応募状況 削除	4年1組第一回キャンプ 募集開始日 (公開日) 2023/09/04 公開終了日 2023/10/28 応募人数 0人 付与ポイント数 0ポイント 応募状況 削除
公開終了 ポイント付与済み	公開終了 ポイント付与済み	公開終了 ポイント付与済み
さくらんぼ学級 調理実習 募集開始日 (公開日) 2023/07/14 公開終了日 2023/07/19 応募人数 1人 付与ポイント数 0ポイント	5年3組家庭科(裁縫) 募集開始日 (公開日) 2023/07/04 公開終了日 2023/07/08 応募人数 1人 付与ポイント数 0ポイント	1年 体育「水遊び」見守り 募集開始日 (公開日) 2023/06/19 公開終了日 2023/07/06 応募人数 6人 付与ポイント数 0ポイント

2023年9月

日	月	火	水
3	4	5	6
10	11	12	13
17	18	19	20
24	25	26	27

おすすめのハイ！

6-2 総合的な…
9/6(水)
あと2人

4年1組キャ…
10/19(木)
今0人

4年1組第一…
10/28(土)
今0人

おすすめのアプリ

読めてる？ 子供の読み書き障害を簡単にチェック

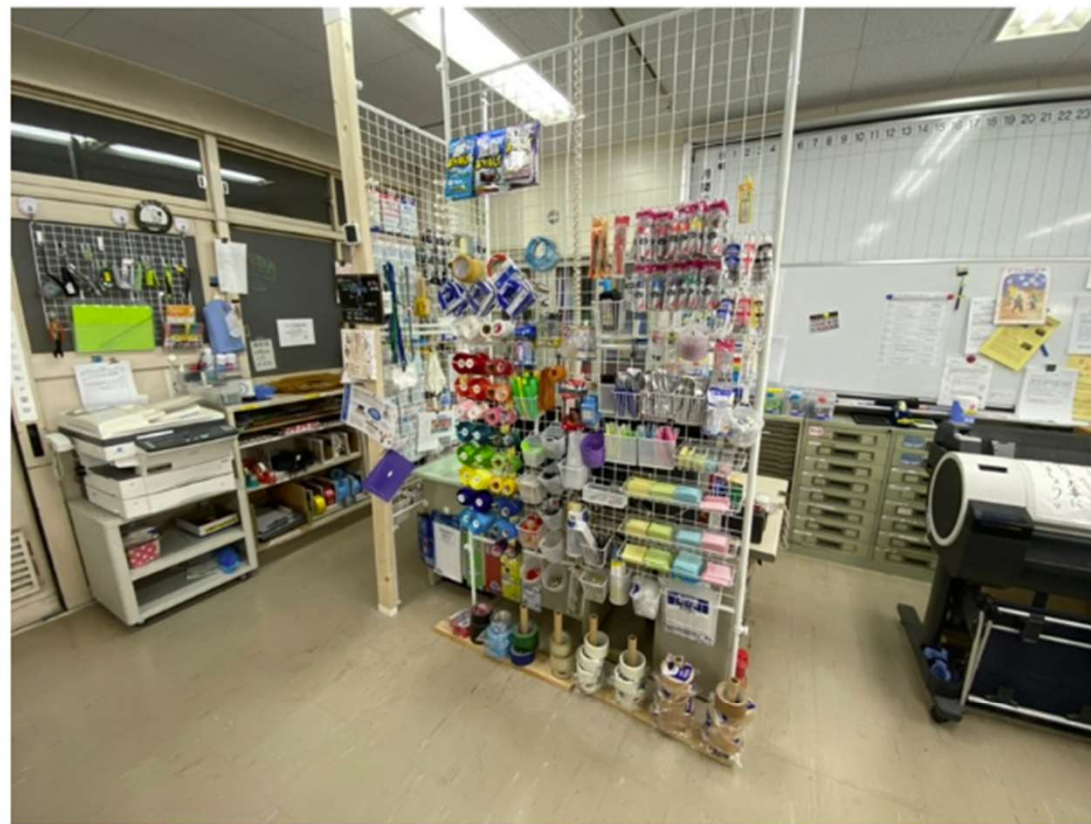
ホーム お知らせ ハイ！

- ・先生たちが自由に募集をかける。
- ・先生全員が管理者
- ・お知らせで授業内容を共有

保護者がいてくれるだけでラッキー！！
見守りお願いしまーす！！

参考. 他都市の実践事例（神奈川県小学校）

事務職員が主導で備品を利用しやすく配置



物品を面出しして並べる
物品の在処と残状況が15秒以内にわかる

参考. 他都市の実践事例（愛知県中学校）

週28コマをベースに時程を組み立て、部活動も週3回16:45に終了とすることで17時完全下校を実現

日課の改訂（終業時刻を16時10分から15時25分に繰り上げ）

R4.10月まで

	始	終
短学活	825	840
1限	845	935
2限	945	1035
3限	1045	1135
4限	1145	1235
給食	1240	1325
5限	1345	1435
6限	1445	1535
清掃	1540	1555
短学活	1600	1610
部活動	1625	1800

R4.11月から現在

	始	終		月木 5コマ	火水金 6コマ
短学活	825	830			
1限	835	925	短学活	1420-1425	1520-1525
2限	935	1025	清掃	A当番 (月奇・木偶) 1435-1450	水 B当番 (火金なし) 1535-1550
3限	1035	1125			
4限	1135	1225			
給食	1230	1310			
5限	1330	1420	放課後 ホットタイム	なし	春夏 70分 1540-1650 秋冬 40分 1540-1620
6限	1430	1520			

放課後活動は部活動を含めて週3回で最大でも70分

参考. 他都市の実践事例（愛知県中学校）

週28コマをベースに時程を組み立て、部活動も週3回16:45に終了とすることで17時完全下校を実現

学校・家庭・地域が支える放課後活動

週3回70分の放課後活動はどう過ごすかは子どもが自ら選択

現状は、部活動 6～7割、委員会活動 1割、プロジェクト活動 2～3割、帰宅 1～2割

放課後ホットタイム

放課後ホットタイム		
火	水	金
15:40—16:50 70分	15:40—16:50 70分	15:40—16:50 70分
部活動	委員会活動	プロジェクト活動

生徒・教員
保護者・地域も応募可

※10月～2月は15:40-16:20の40分間

子どもや大人の「学校が楽しい」を生む活動
子どもや大人の「やりたい」を実現する活動
子どもや大人の「もう一つの居場所」づくり

⇒ 「学校を動かす」「学校を創る」ことができる存在

参考. 他都市の実践事例（愛知県中学校）

生徒の声も聞きながら部活動をリデザインした結果、教育の質と業務負荷の軽減を両立

【この2年間の主な部活動改革】



活動時間	'23: 平日30分減 → 夏80分間・冬30分間に
	'24: 平日夏10分減・冬10分増 → 夏70分間・冬40分間に
活動頻度	'23: 平日1日減 → 週3に 休日上限設定 → 月3回までに
	'24: 休日上限 → 9月から月2回に（R7.9に1回、R8.9に0）
チーム顧問制	'23: 部を4グループ制 1グループ6～12人の教員・保護者見守り
	'24: 屋内外の2グループ制 1グループ18～20名の教員・地域人が担当
地域クラブの推奨	'23: HP発信・要項配付・入学説明会などで説明・推奨
	'24: 上記に加え、R6.8に保護者説明会を予定

参考. 他都市の実践事例（愛知県中学校）

生徒の声も聞きながら部活動をリデザインした結果、放課後活動を自分でデザインする生徒が出てきた事例

【子どもたちの主体的な判断、意見表明、権利の行使などの事例】

<事例1>

・バレー部でスタート → 泳げるようになりたいと水泳部へ → 泳げるようになりテニス部へ

<事例2>

・水泳部員から冬季は別の部を体験したいとの意見 → 希望の部へ交渉に行き、受け入れ実現

<事例3>

・「勝ち」を目指したいテニス部員と「楽しさ」を味わいたいテニス部員でニーズが分かれたミーティングを経て、スキルアップ Gとエンジョイ Gに分かれて活動することに決定

<事例4>

・バドミントンPを始動したので、活動期間の1か月は部を休部してプロジェクトに参加
・テスト2週間前に自習室開放Pが始動したので、2週間だけ休部してプロジェクトに参加



参考. 他都市の実践事例（愛知県中学校）

学級・チームは子どもたちのもの、子どもたちが自ら創り上げる学級や部活動を全ての教員で支援する

学年単位で何をローテーションやチーム化するかを決めることで、学年団の顔触れや得手不得手を踏まえた柔軟な運用を実現

2023年度のチーム担任

1年	2年	3年
学級開きローテ 道徳ローテ 総合ローテ 学活・給食ローテ 月金:固定級 火水木:ローテ	学級開きローテ 道徳ローテ 総合ローテ 教育相談リスナー選択	従来通り

2023年度のチーム顧問

区分	部活動		指導者
運動部	A	軟式野球・ソフトボール・サッカー	8名
	B	水泳・ソフトテニス・陸上駅伝	12名
	C	バスケットボール・バレーボール・剣道	10名
文化部	D	吹奏楽・美術・茶華・パソコン・文芸	6名

※ 大会参加等の外部対応が必要な部には担当者を置いている

2024年度のチーム担任

1年	2年	3年
学級開きローテ 道徳ローテ 総合ローテ 学活・給食ローテ 月～金:ローテ ※時期により固定級 教育相談リスナー選択	学級開きローテ 道徳ローテ 総合ローテ 学活・給食ローテ 月金:固定級 火水木:ローテ 教育相談リスナー選択	学級開きローテ 道徳ローテ 総合ローテ

2024年度のチーム顧問

	部活動		指導者
屋外	A	軟式野球・ソフトボール・サッカー 水泳・ソフトテニス・陸上駅伝	教員19名 地域3名
屋内	B	バスケットボール・バレーボール・剣道 吹奏楽・美術・茶華 パソコン・文芸	教員13名 地域6名

参考. 他都市の実践事例（愛知県中学校）

各教科の特性に合わせて単元をデザイン

各教科特性に合った単元デザインの在り方を模索

国語

1 オリエンテーション 見通し・計画	2～4 自由進度 ポイント確認、内容理解、知識定着	5 単元テスト パフォーマンス課題	6～8 自由進度 パフォーマンス課題、スライド・レポート・サークル対話など	9 まとめ シェアリング 単元振返
--------------------------	--	-------------------------	--	----------------------------

数学

1 オリ 計画	2～4 10分個人追究 30分 自由進度 少数一斉	小 CT	5～7 10分個人追究 30分 自由進度 少数一斉	小 CT	8～10 10分個人追究 30分 自由進度 少数一斉	小 CT	11～13 10分個人追究 30分 自由進度 少数一斉	小 CT	14～16 自由進度 章末チャレンジ	17 単元テスト まとめ 単元振返
---------------	---	---------	---	---------	--	---------	---	---------	---------------------------------	----------------------------

社会

1 オリ・計画 単元を貫く 課題の設定	2～5 5分計画 25分 自由進度 15分全体交流 5分振返 各自で進みながらも毎時に一斉確認の機会を設定	CT	6～9 5分計画 25分 自由進度 15分全体交流 5分振返 パフォーマンス課題、スライド・レポート・サークル対話など	単元テスト	10 まとめ シェアリング 単元振返
------------------------------	--	----	--	-------	-----------------------------

理科

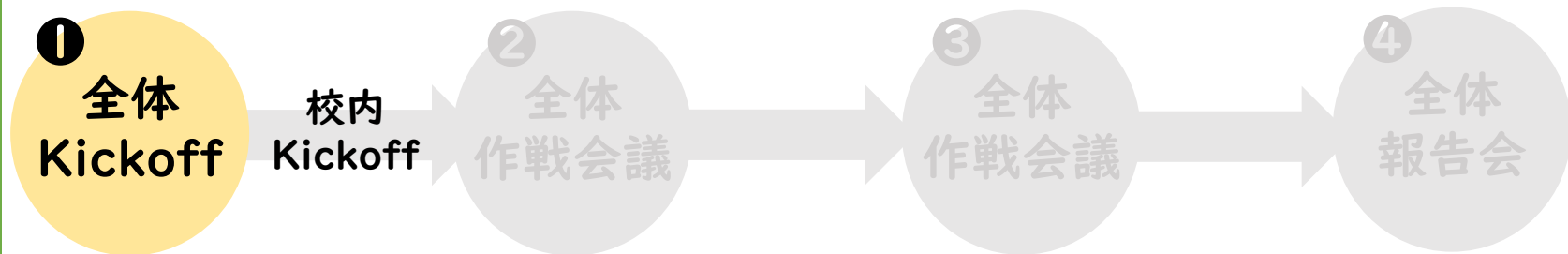
1 オリ 計画	2～4 ①基礎知識・実験手順等の確認 ②実験・結果集約（ポートフォリオ） ③考察・表現交流・まとめ	5～7 ①基礎知識・実験手順等の確認 ②実験・結果集約（ポートフォリオ） ③考察・表現交流・まとめ	8～10 ①基礎知識・実験手順等の確認 ②実験・結果集約（ポートフォリオ） ③考察・表現交流・まとめ	11～13 自由進度 ・探究学習 既習事項を踏まえた自己追究 スライド作成・章末課題	14 単元テスト シェアリング	15 まとめ 単元 振返
---------------	--	--	---	--	-----------------------	-----------------------

英語

1 オリ 計画	2 scene1	3 scene2	4～5 自由進度 単語定着・ 文法理解・定型会話等	6 read&think1	7 read&think2	8～10 自由進度 スライド作成・動画制作・ 言語活動交流・英文レポート表現等	11 単元テスト シェアリング	12 まとめ 単元振返
---------------	-------------	-------------	--	------------------	------------------	--	-----------------------	-------------------

4 研修資料

第 1 回全体研修会 (対面開催)



第1回全体研修会 (キックオフ)

「月曜日に大人も子どもも行きたくなる学校づくり」



(株)先生の幸せ研究所 大野、庄子、福成、若林

Check in
本音

Input
3つ

Workshop
体験と解説

Plan
計画

Share
共有

Check out
はじめの一步

はじめに

月曜日に子どもも大人も 行きたくなる学校で あふれる社会



令和6年度の事業概要

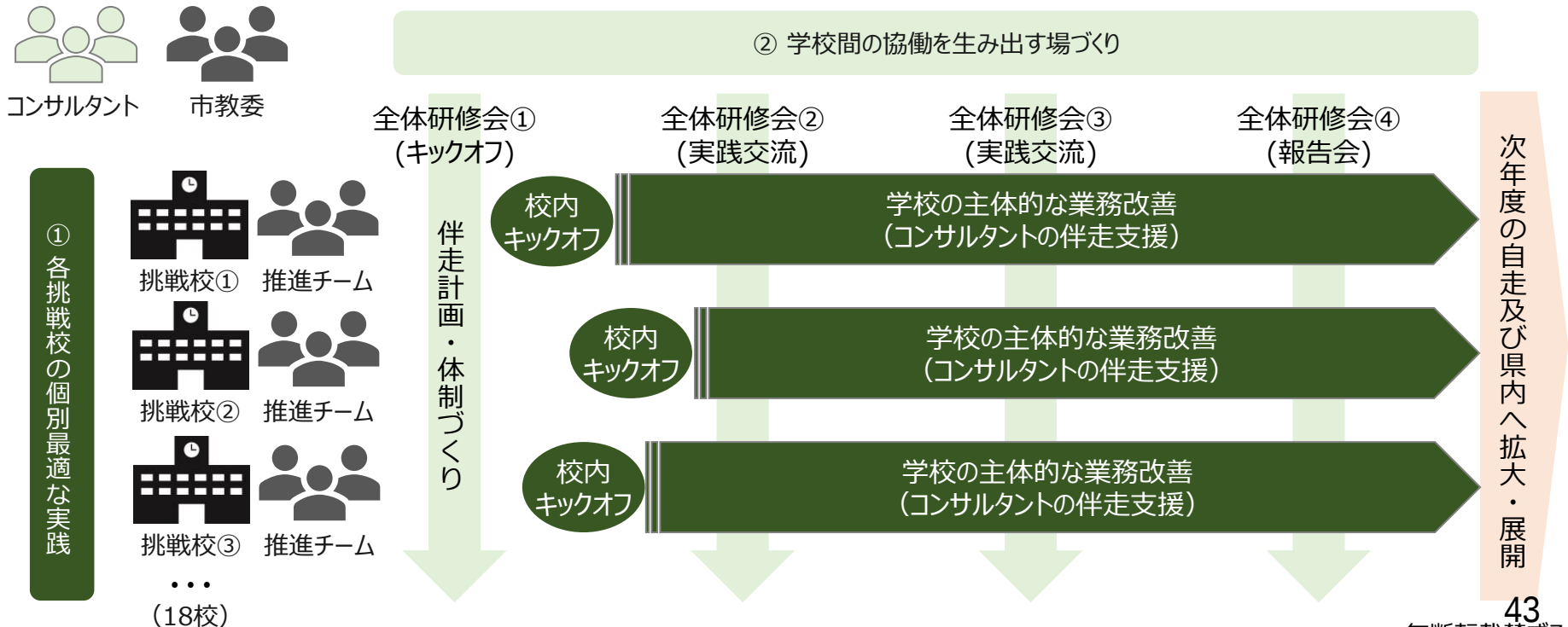
個別最適な 伴走支援

学校単位での主体的な業改善を後押しするための、
外部コンサルタントによる個別伴走支援

学校同士の 協働

全体研修で各校の実践を共有し、共に歩む仲間
同士で励まし合い高め合う学校間の交流

■ 個別最適で、協働的な取り組みを生み出す事業の全体設計



令和6年度の事業概要

<伴走支援体制>

- 伴走支援は4～5名体制
- 中心となるコンサルタントは元公立学校教員で、校内で多くの実践を行った後に弊社にコンサルタントとして入社、現在は教員向けの研修・講演や学校への伴走支援に従事しています

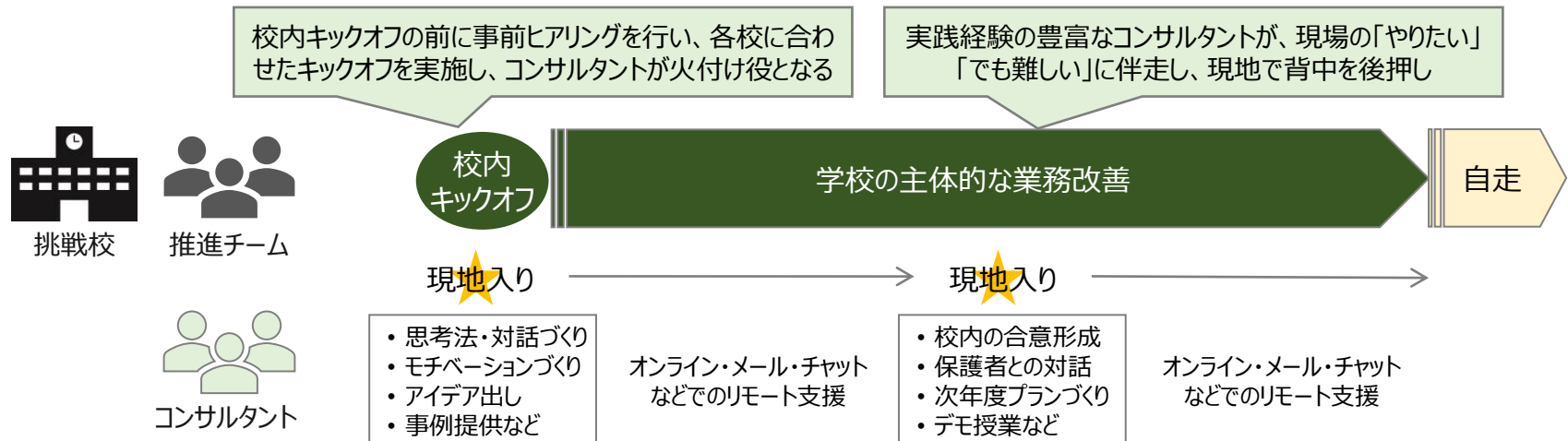
<相談受付手段（対面、オンライン、メール、チャットなど）>

- 各推進校での校内キックオフ、中間振り返りの2回程度学校に訪問して校内研修・ワークショップなどを実施します
- それ以外は推進者(管理職)や推進チームとのオンライン会議、メール、チャットグループなどで随時相談、フォロー、提案などが可能です

<その他>

- 業務改善推進事業で残業時間を増やすことにならないよう、緊急の場合を除いて学校の勤務時間内での相談受付を想定しています
- 現地での伴走支援（校内研修・ワークショップなど）は2回程度を想定していますが、訪問時期や内容は各挑戦校と個別に調整します
- それ以外のリモート対応（オンライン、メール、チャットなどのオンライン相談）については回数、時間共に制限ございません

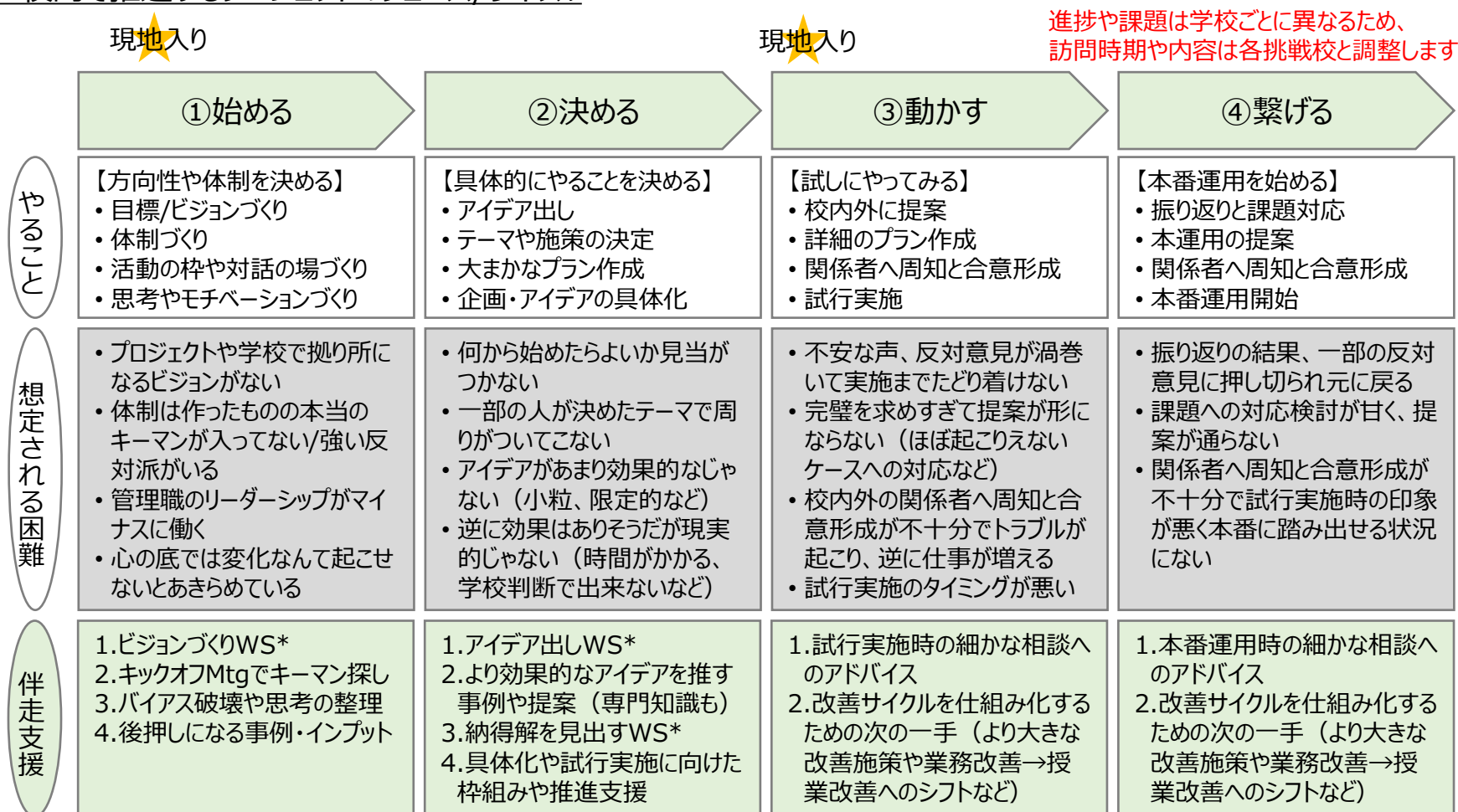
■ 個別相談イメージ（伴走支援）



なぜ伴走者がいると良いのか？

特に難易度が高いのは「①始める」なので、各推進校の校内キックオフではぜひコンサルタントをご活用ください！

■校内で推進するプロジェクトのフェーズ/サイクル



*WS：ワークショップ

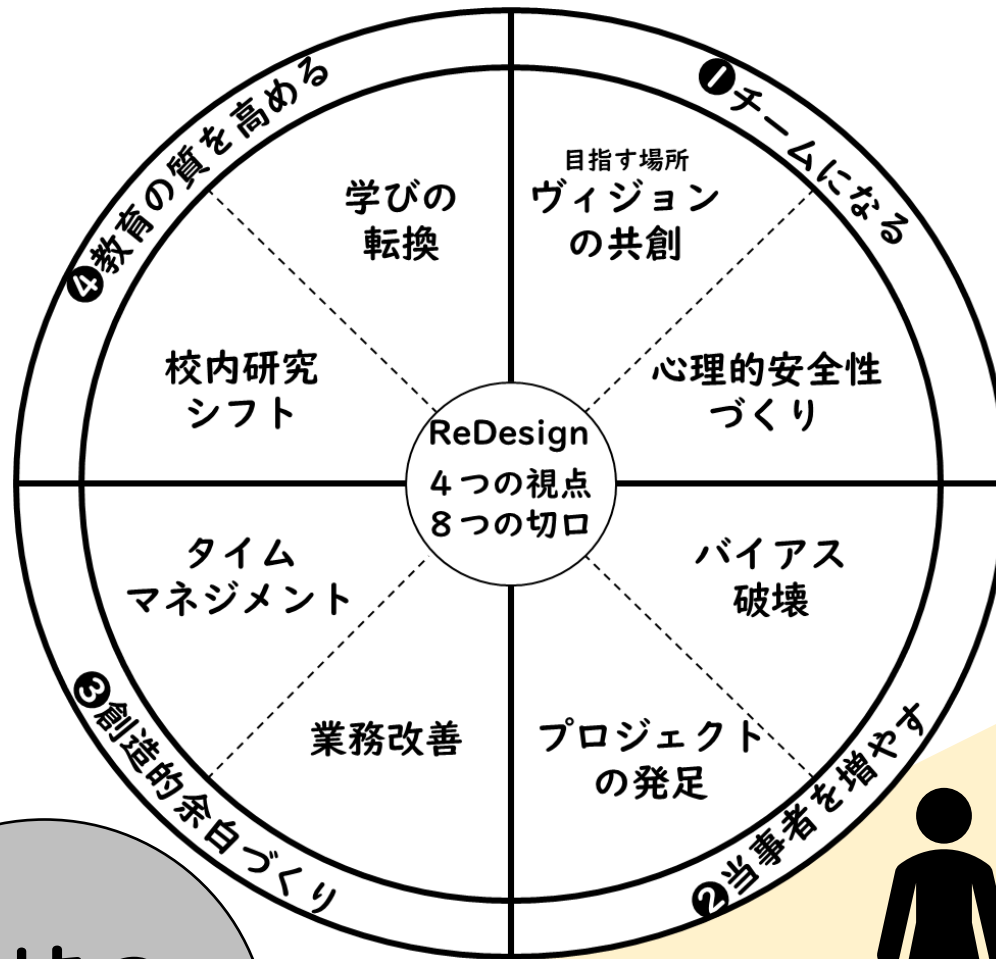
Riskのわり算をしたい。

「変わりたいけど、かわれない」
「変わろうとすると、波風がたつ」
「変わろうとすると、たたかれる」
「変わらないを、選ばざるを得ない」

「でも、伴走があるなら、やれるかも。」

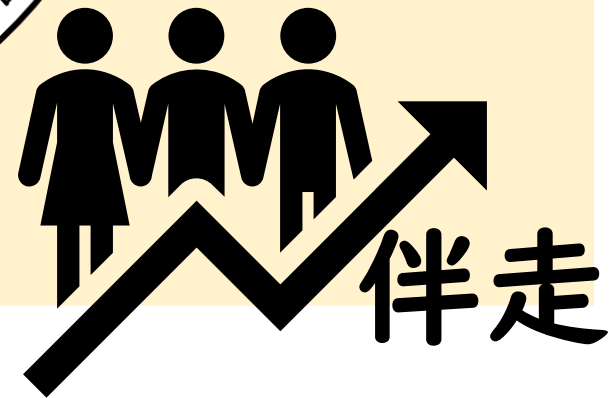


学校が描く理想地に近づくための伴走



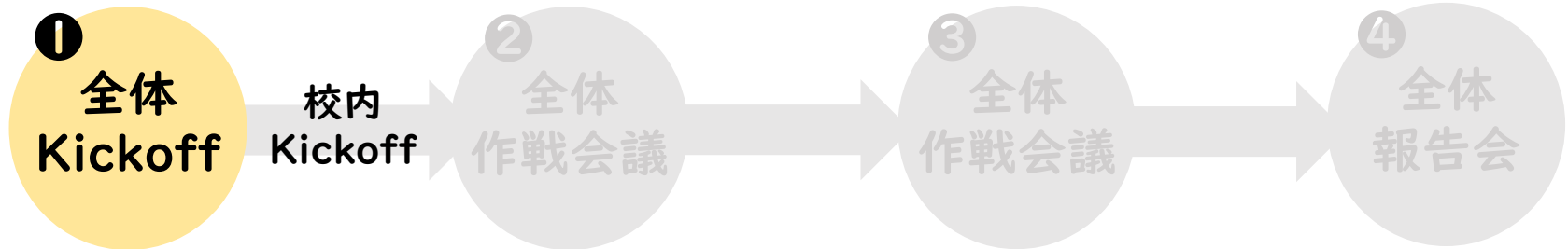
学校の
理想地

学校の
現在地



ゴールは？

それぞれの切り口が見つかり、一歩が決まる



Check in

13:50-13:55

(楽しみ)

(心配)

ワクワク or ドキドキ

あなたの「今」の気持ちは？

Input

13:55-14:15

①働き方改革の目的

②バイアスについて

③GOOD改革の条件



末松文部科学大臣記者会見

令和4年2月4日

教師不足改善に向けて
「働き方改革が一番の優先施策」

■令和4年2月4日記者会見
まずやはり、学校における働き方改革、教職の魅力向上の取組を進めて参る、このことが一番重要だと思ってございます。

一中略一

先生を増やそうということが決まったわけなのですが、なかなか来てくれないという、これでは、やはり何のために努力をしているか、財務省も前向きに考えてくださったかということもですね、無にになってしまうことになってしまいますので、精一杯、文部科学省として、

働き方改革が一番の、これは、改善の優先施策である

働き方改革の落とし穴

難関ホワイト企業に入った20代の7割が後悔

時間削減のための働き方改革なら反対58%

第1 「スキルを磨きたい」

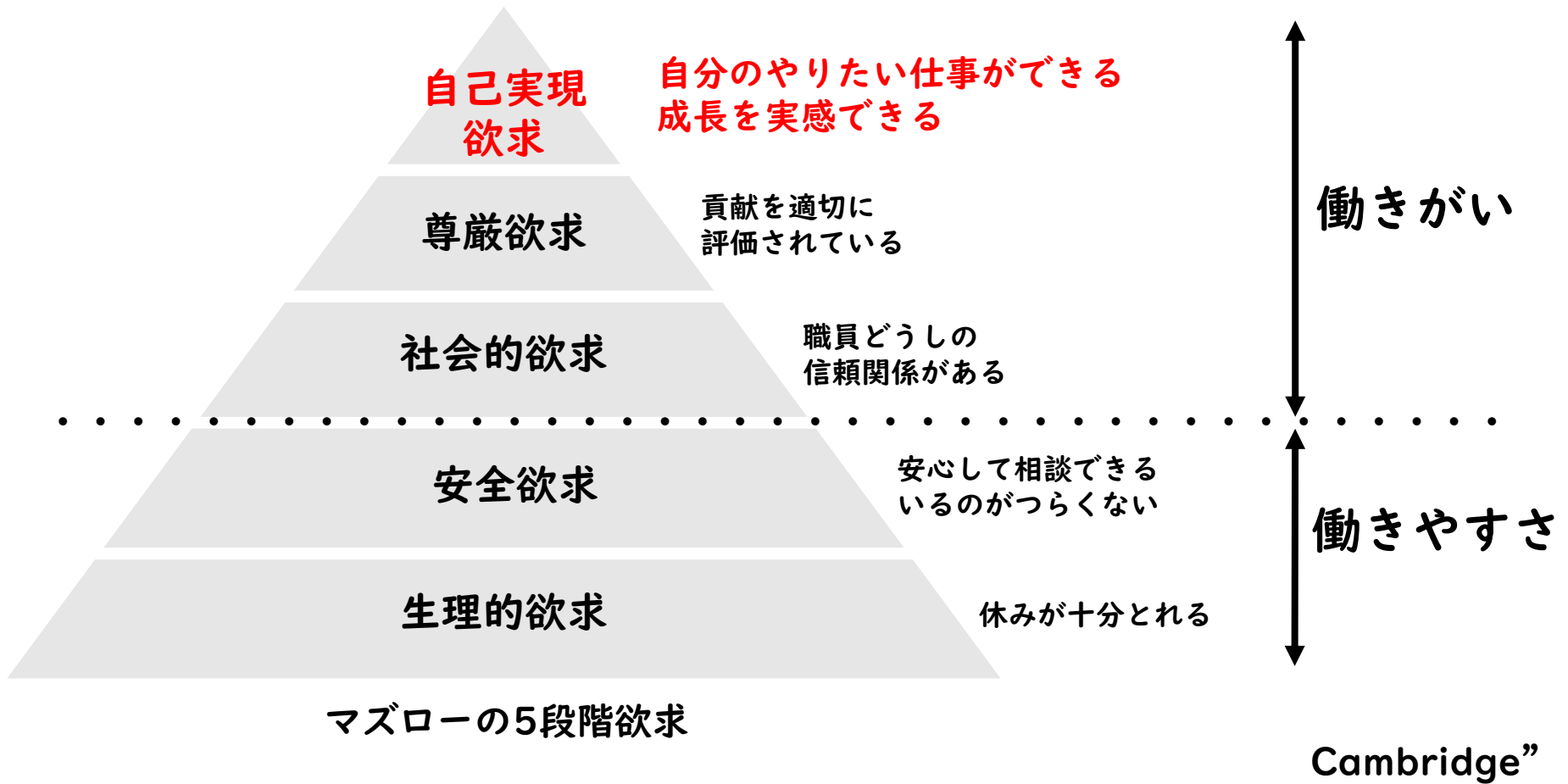
第2 「残業代が欲しい」

第3 「そもそも仕事が終わらない」

「働きやすさ」だけではなく、「働きがい」も必要

クロスリバー 2021.4 「残業意識調査」7万9000人ビジネスパーソン

働きがい × 働きやすさ



働きがい × 働きやすさ

働きがい

※見落とされがちな領域

働きやすさ

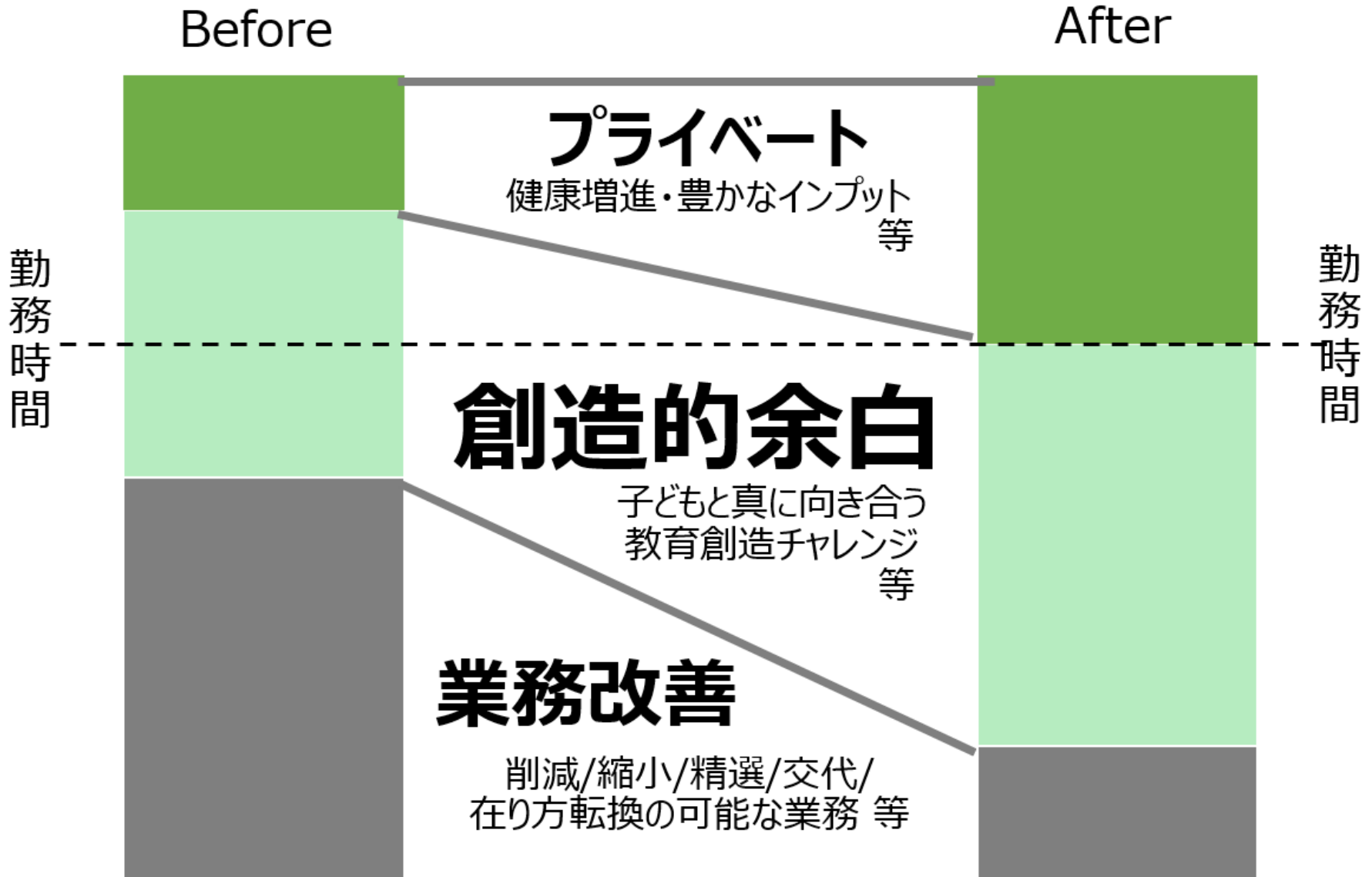
よく言われる働き方改革

働きがい

働きやすさ

Cambridge”

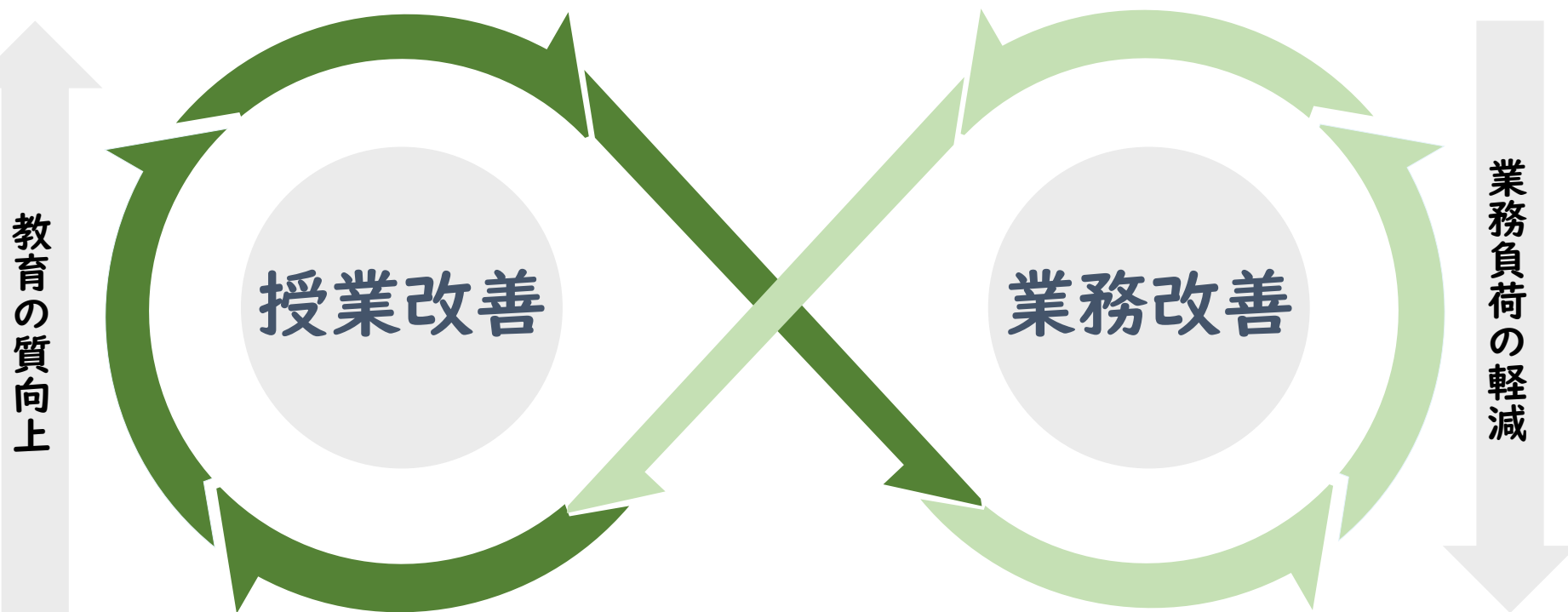
働き方改革の目的は「教育の質の向上」こと



授業改善こそが、本丸。やりがいも高まる。

子どもを自立した学び手へ導く授業革新

教職員が自分の力で余白をつくる業務改善



Input

13:55-14:15

①働き方改革の目的

②バイアスについて

③GOOD改革の条件

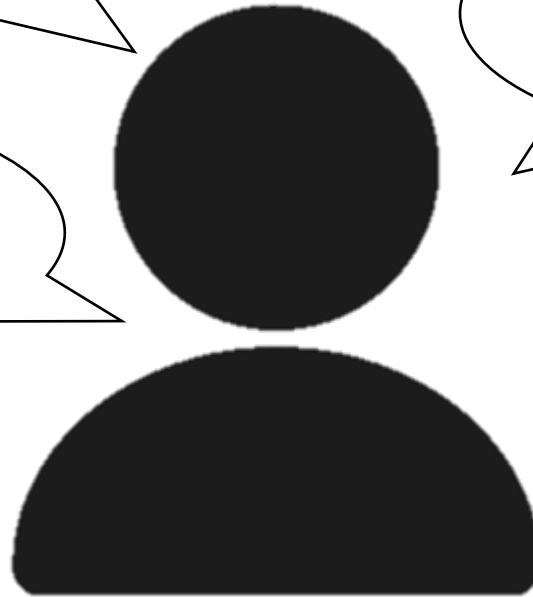
バイアスとは？

思考の偏り（思い込み）

普通は～

～べき

絶対に～



バイアスを解く思考法

Aさん（2校目教員7年目）

「生活指導では校則を徹底し、厳しく管理することが大事」と言われた



校則を徹底して守らせ、厳しく叱る
ことを中心に育つ

とんでもない！

Bさん（2校目教員7年目）

「生活指導では自己決定を大切にし、寄り添うことが大事」と言われた

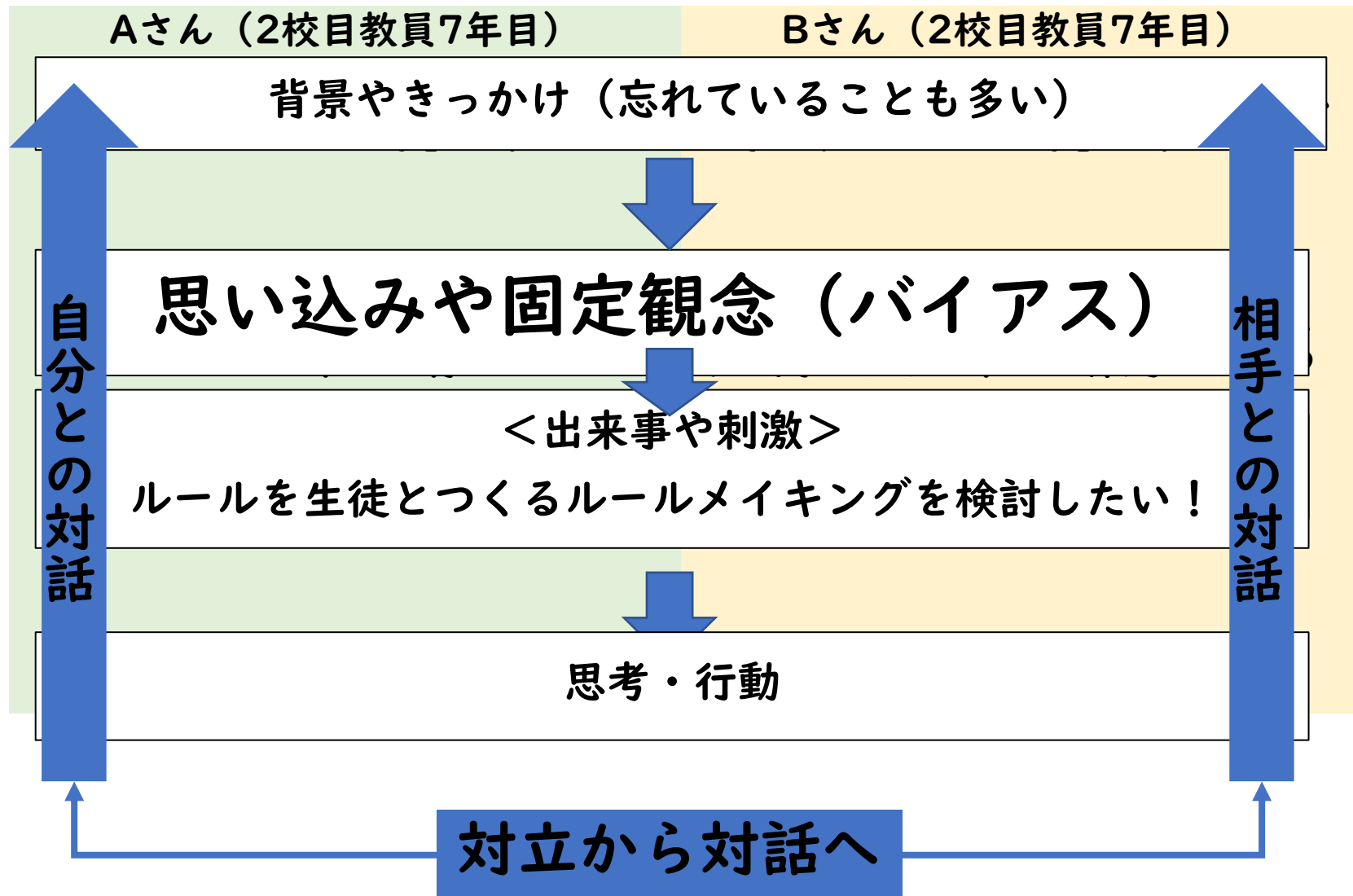


生徒がよりよく自己決定できるように
問いかけを中心に伴走して育つ

ナイスアイデア！

生徒会を中心に、生徒と教員で共にルールを対話し、0からつくる
『ルールメイキング』を始めよう！

思考・行動の形成



価値観を「バイアス」（思考の偏り）と言う

この思考の偏り（思い込み）を
バイアスと言う

自分パソコン



PCに何も書き込まれる前の
生まれた瞬間の真っ白な
ピカピカのあなたは？

思考・行動の癖に 自覚的になり 天才を超える思考法

クリティカルシンキング

それって本当なの？
いつからそう思っているの？

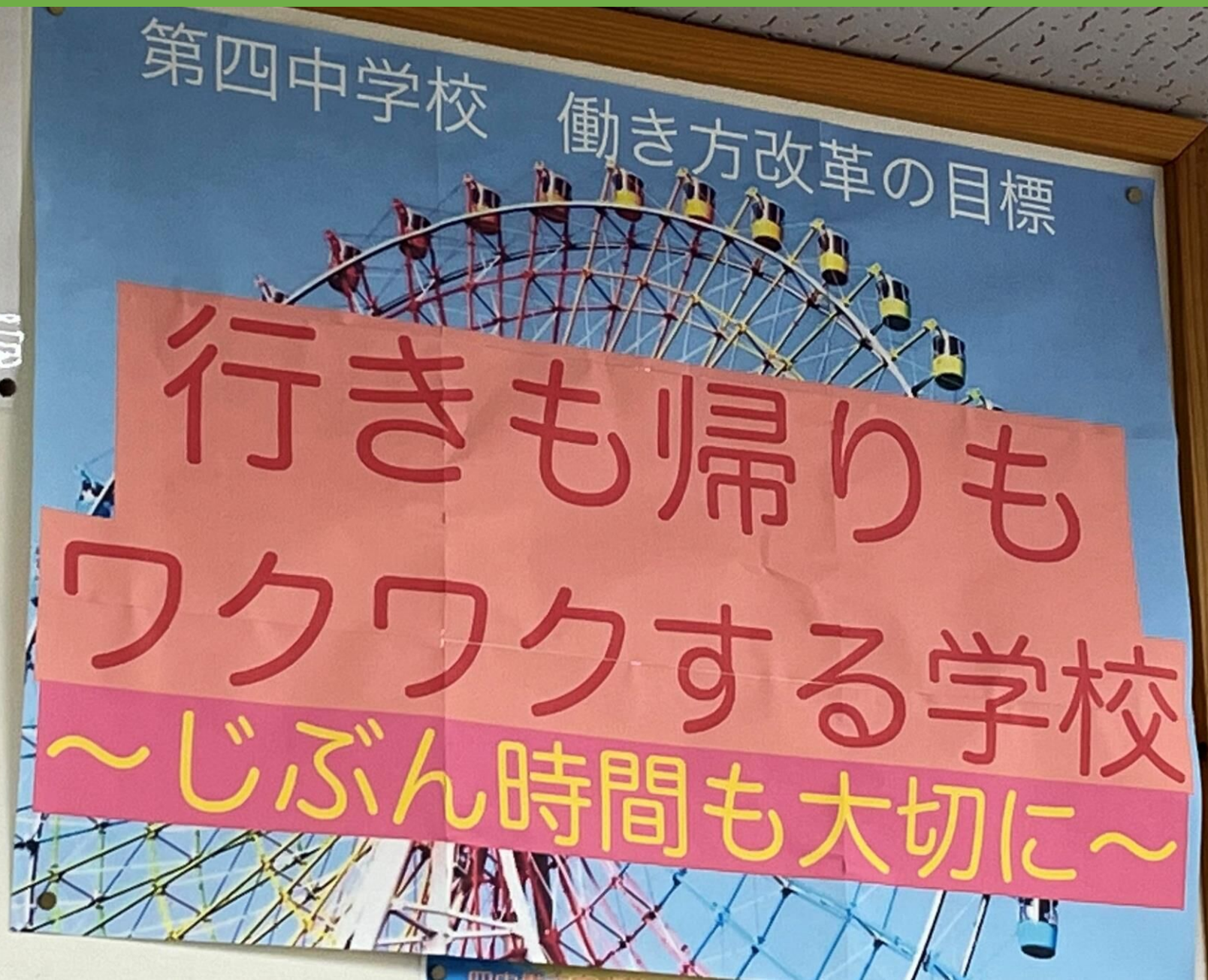


Input

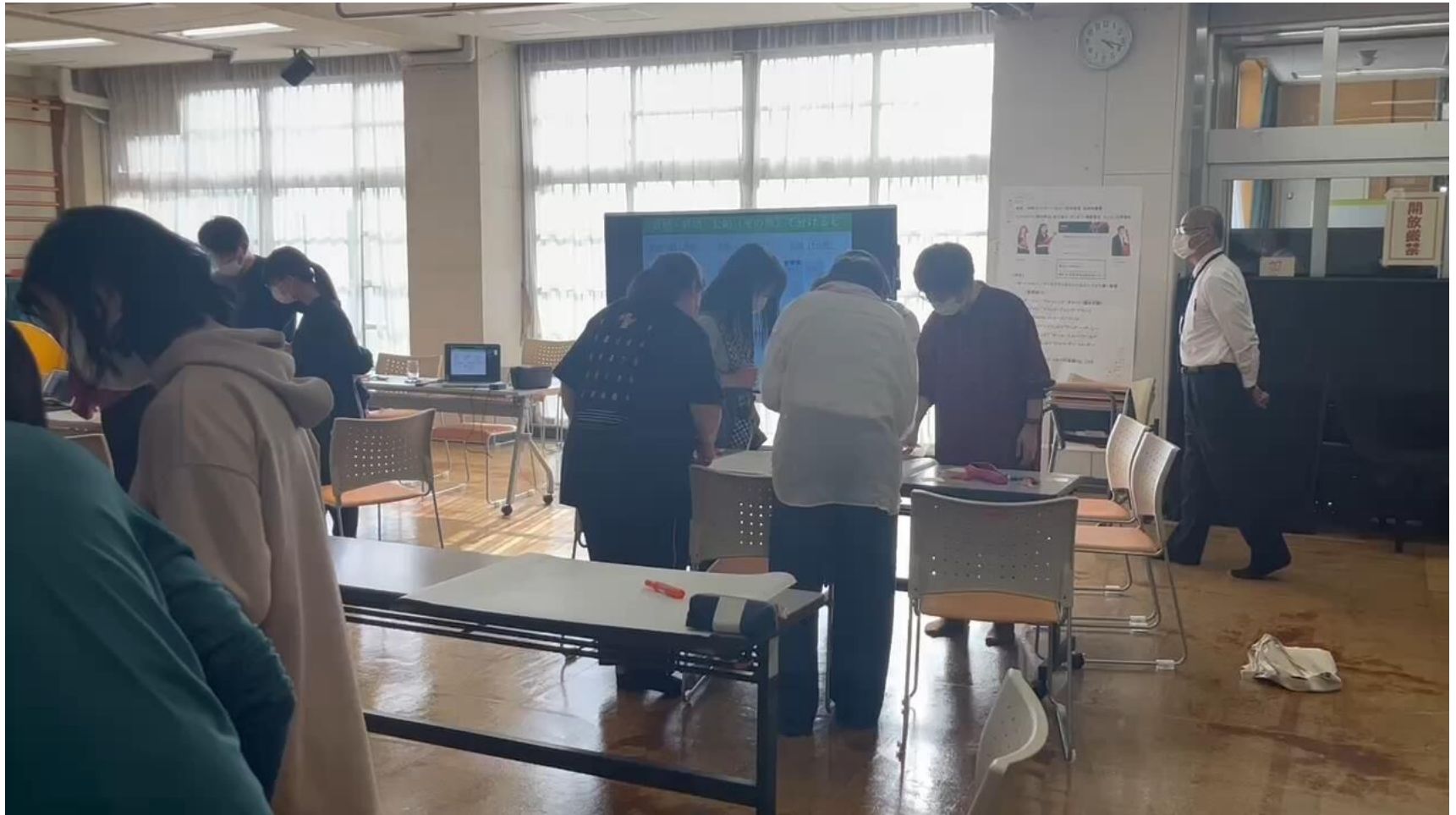
13:55-14:15

- ①働き方改革の目的
- ②バイアスについて
- ③GOOD改革の条件
 - (1) 目的や方針を共有
 - (2) 全員でKickoffを実施
 - (3) ミドルリーダーが駆動

(1) 目的の共有



(2) 全員でkick offを実施



(3) ミドルリーダーが駆動



ミドルアップダウン

「ミドルが動くと、組織が動く」

方向性を示し
ミドルを頼る

ミドルが
動かす

ミドルに
ついていく

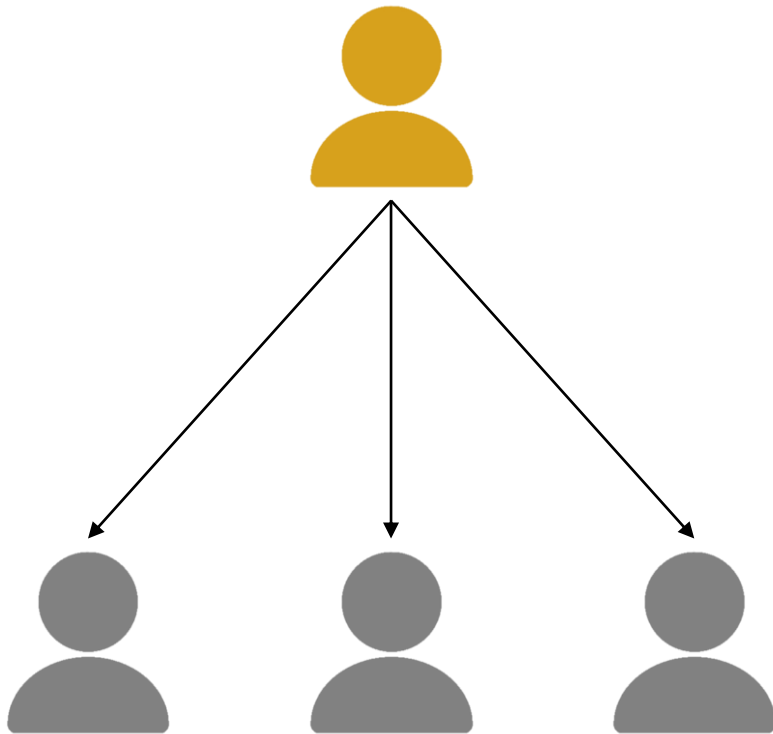
トップダウン

ミドルアップダウン

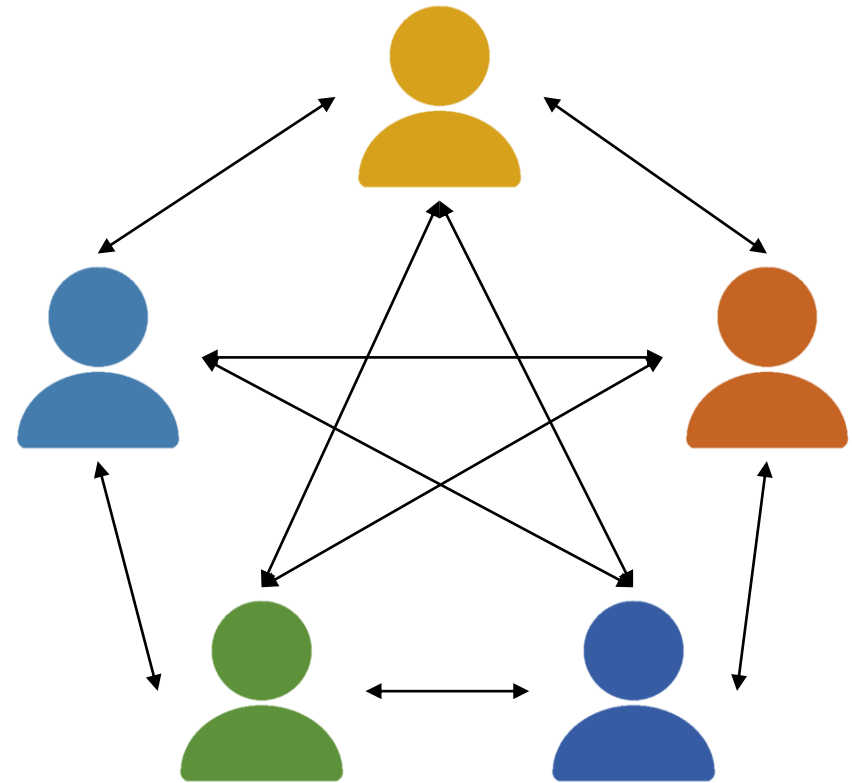
ボトムアップ

シェアードリーダーシップ

カリスマ型リーダーシップ



シェアードリーダーシップ



納得解をうみやすいフロー

通常パターン

各分掌主任、担当が
提案資料を作成

提案のための根回し

各分科会の中で提案

管理職等に提案

提案のための根回し

職員会議で提案

A：試行実施
B：再検討

新パターン

ワークショップ

すぐに
試行実施

■ 期間限定で試行実施

⇒まずやってみる。やってみて考える。
※保護者に試行実施の段階で共有

有志PJT
チームで検討

主任、担当が
預かり再検討

職員会議提案

A：試行実施
B：再検討

解散

次の
案

納得解をうみやすいフロー

通常パターン

ブラックボックス

職員会議で提案

A：試行実施
B：再検討

新パターン

ワークショップ

すぐに
試行実施

■ 期間限定で試行実施

⇒まずやってみる。やってみて考える。
※保護者に試行実施の段階で共有

有志PJT
チームで検討

職員会議提案

A：試行実施

解散

主任、担当が
預かり再検討

B：再検討

次の
案

見えにくい部分に目を向ける

見えやすい部分



制度・業務

- 規則、組織体制
- 打ち手や改善手法
- 表面的な課題

見えにくい部分



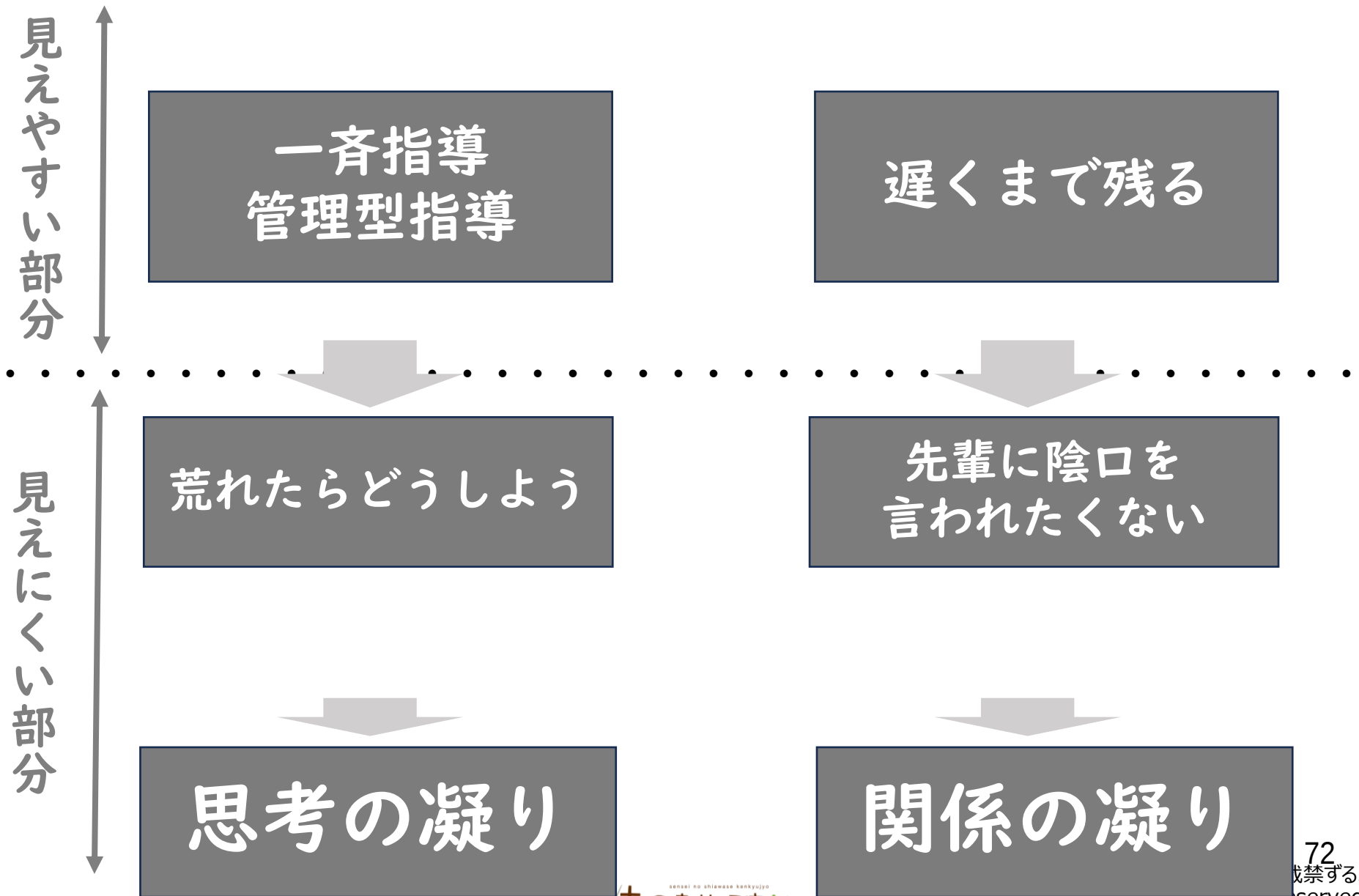
組織風土

- 行動パターン
- バイアス
- 組織の常識
- 本当の課題

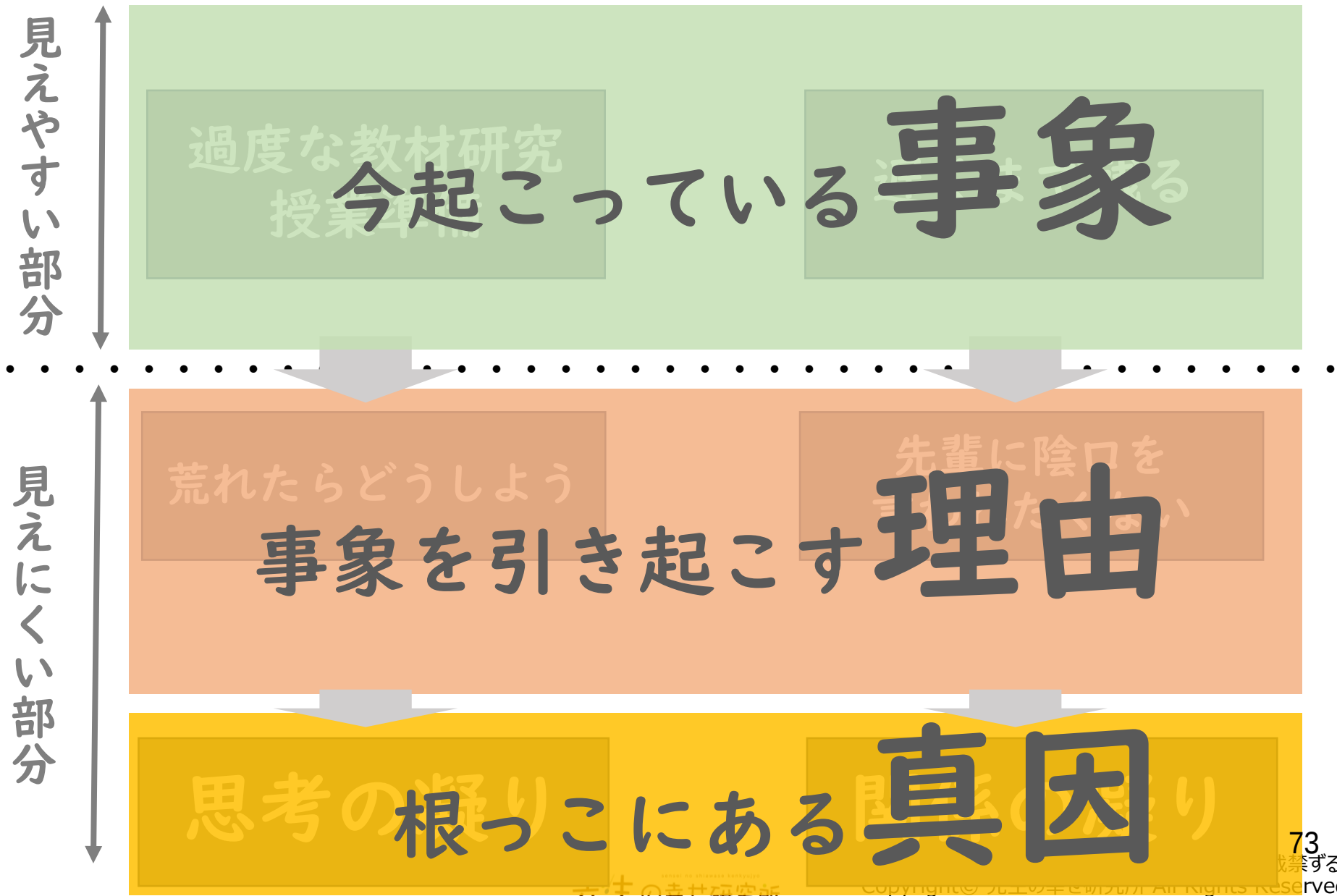
個人の意識や
組織風土に目を向け
た取り組みが重要

教職員が「自分たちで変えていける」と実感できれば、
主体的に改善活動を推進できる

真因は2つだけ



真因は2つだけ



Check in
本音

Input
3つ

Workshop
体験と解説

Plan
計画

Share
共有

Check out
はじめの一步

Workshop

14:15-14:45

Kickoffで実施すると
効果的な『時間予算WS』
の体験をしてみましよう！

時間予算 ワークショップ

お題

【お題】

勤務時間内に、自分の時間を、
通常よりも30分を生み出すにはどうするか？

- ・ 教室で子どもにできること
- ・ 職員室でできること
- ・ 学校全体を巻き込んでできること

ワークの約束（グランドルール）

判断遅延

できるかどうかは後回し！

突飛さ歓迎

今までにないアイデア大歓迎！

質より量

どんどんアイデアを！

他の人に便乗

それができるなら、これも！

思考の幅を広げてください！

交代できる仕事はありませんか？
合同で取り組むと、一人分空く仕事はありませんか？

教材作り

給食指導等
〇〇指導

授業
授業の一部

子どもに任せたり一緒にできたりする
仕事ありませんか？

**掲示等
作業**

**行事
席替え**

司会進行

その仕事、職員全員が集まる必要ありますか？
人数・回数は適正ですか？

職員朝会

**委員会
クラブ**

全校集会

それ、あなたでないとできない仕事ですか？
細分化したら分担できることはありませんか？

**欠席確認
電話**

**提出物
チェック**

**印刷
配布**

意味を考え直したいことはありませんか？

**この指導は
子どもの何を
育てている？**

**目的不明の
規律や校則**

**従来型の
校内研究**

見映え重視で、お膳立てしすぎたり、
手をかけすぎたりしていることはありませんか？

**運動会
音楽祭**

**卒業式の
来賓待遇**

発表関連

コロナを経て
新たな可能性を考えてみたいことはありませんか？

〇〇行事の
簡素化

ICT活用

授業の
在り方

【お題】

勤務時間内に、自分の時間を、
通常よりも30分を生み出すにはどうするか？

① 個人作業で、時間を生み出すために手放すことを
入力（5分）

付箋1枚に1アイデア

【書き方のコツ】

時程を変更し
30分下校を
早める

掃除を週4
から
週2に

・他の人が読めばわかるよう、出来る限り具体的に！

△：会議の精選

○：xxx会議をxx分/月x回に減らす

【お題】

勤務時間内に、自分の時間を、
通常よりも30分を生み出すにはどうするか？

②役割決めの後、付箋を共有（5分）

役割：名前順で 司会者

共有方法：

一人で話しすぎないで♪

1人目が持ち札をすべて読みながら紹介。

2人目も同様に持ち札をすべて読みながら紹介。

※前の人の出したものと自分の持ち札が似ていれば、

自分の番ではなくても同時に読みながら近くに貼る

※時間が余れば詳しく聞き合ってください

自助 個人裁量

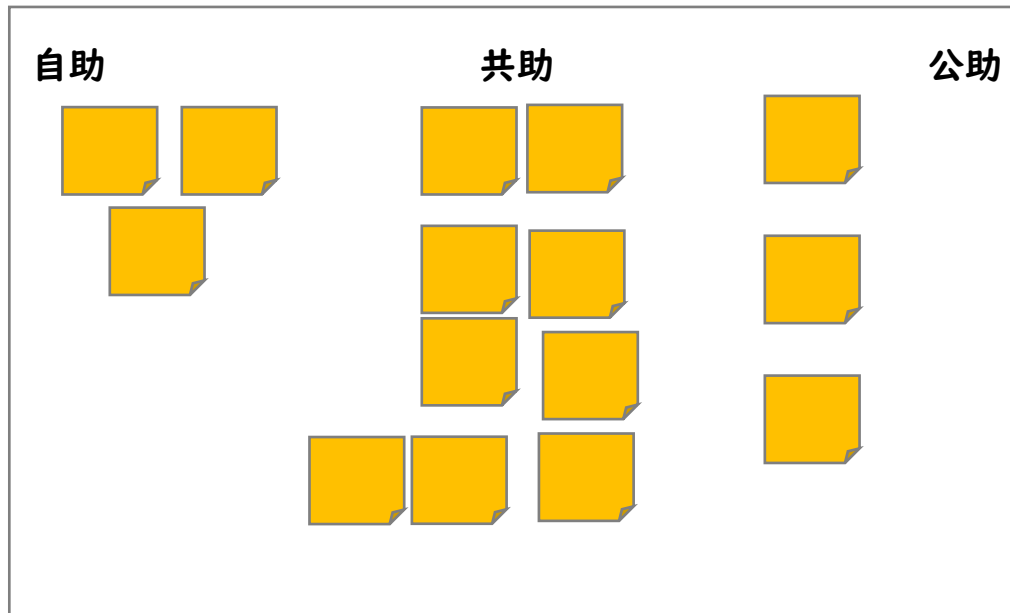
共助 学校裁量

公助 教育委員会・国裁量

3者それぞれに何ができるのか？
を考えて行動することが大事

整理・思いの見える化

③ 3つに分ける（5分）終わったらメインに戻る
「自助・共助・その他（公助やわからない）」に話し合い
ながらグループ分け、または自・共・公と記入



思いの可視化

④ 個人作業で、アイデアにマークをつける

○：すぐにやりたい！

★：今年度中に検討し次年度やってみたい！

(複数可)

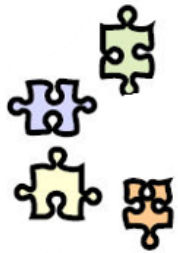
⑤ 他のチームを見に行って同じように マークをつける

タックマンモデル

混乱期を避けるのではなく、早い時期から突入し、楽しむことが重要！

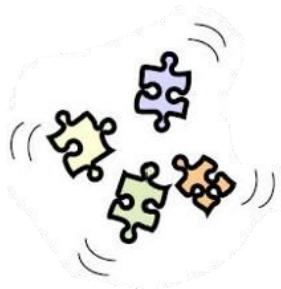
形成期

チーム形成



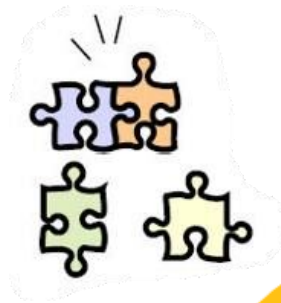
混乱期

ぶつかり合う



統一期

共通規範形成



機能期

成果が表れる



- ・ 互いをよく知る
- ・ 課題の共有
- ・ 対話の量

- ・ 尊重しつつ本音をぶつけ合う
- ・ 目標設定意思決定
- ・ 対話の質

- ・ 新たな規範や役割の設定
- ・ 成功体験の共有
- ・ リーダーが複数

- ・ 共通の目的に向けて能力が発揮される
- ・ 何でもチャレンジ

混乱期の先に収穫期がくる

タックマンモデル

混乱期を避けるのではなく、早い時期から突入し、楽しむことが重要！

形成期

チーム形成

混乱期

ぶつかり合う

統一期

共通規範形成

機能期

成果が表れる

種蒔期

- 互いをよく知る
- 課題の共有
- 対話の量

- 尊重しつつ本音をぶつけ合う
- 目標設定意思決定
- 対話の質

収穫期

- 新たな規範や役割の設定
- 成功体験の共有
- リーダーが複数

- 共通の目的に向けて能力が発揮される
- 何でもチャレンジ

Plan

15:00-15:45

2024/5/24 ワークシート 学校名 津宮小学校 お名前 土井伸一

学校の理想地	・17:30には、笑顔で帰る。 ・休憩時間1時間確保 ・何も考えずに年休取得
学校の現在地	・20時を平気で過ぎて帰ることも多々。 ・休憩なし ・個人の意識の差が大きい。(退庁、年休)

① 何から始めるか？

・定時退庁の日を作る。 ・職員会議のペーパーレス化 ・欠席連絡のメール化
--

② だれを巻き込むとよいか？

・保護者 ・市教委

③ どんな困難がよそうされるか？

・機器への苦手感 ・次の日のことが気になる

④ どうすれば乗り越えられるか？

・機器使用のサポート、 ・次の日に忙しいことを入れない。
--

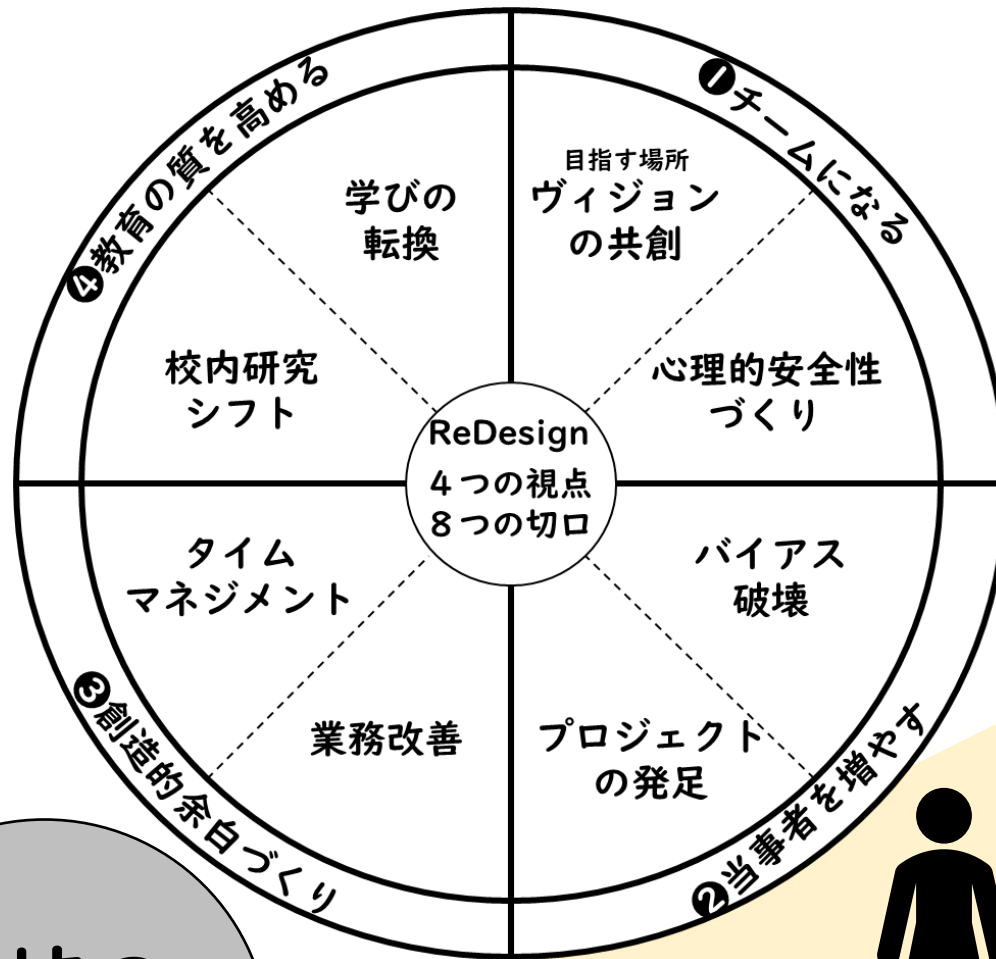
⑤ あなたの中で何か1つ変えるとしたら、何を変えるか？

・早く帰る日をつくる。

⑥ 先生の幸せ研究所の伴走支援をどう活用したいか？

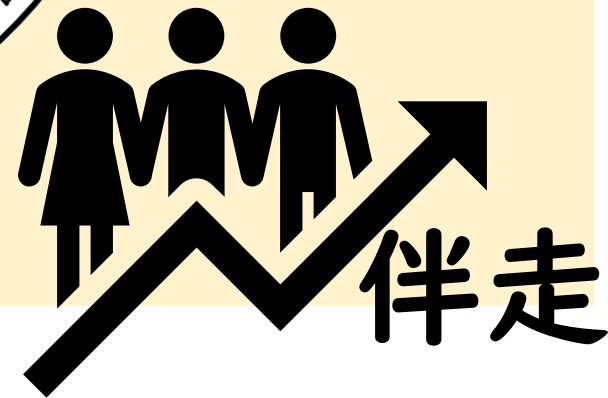
・具体的にはまだ言えないが、まず来て現状をみてほしい。

学校が描く理想地に近づくための伴走

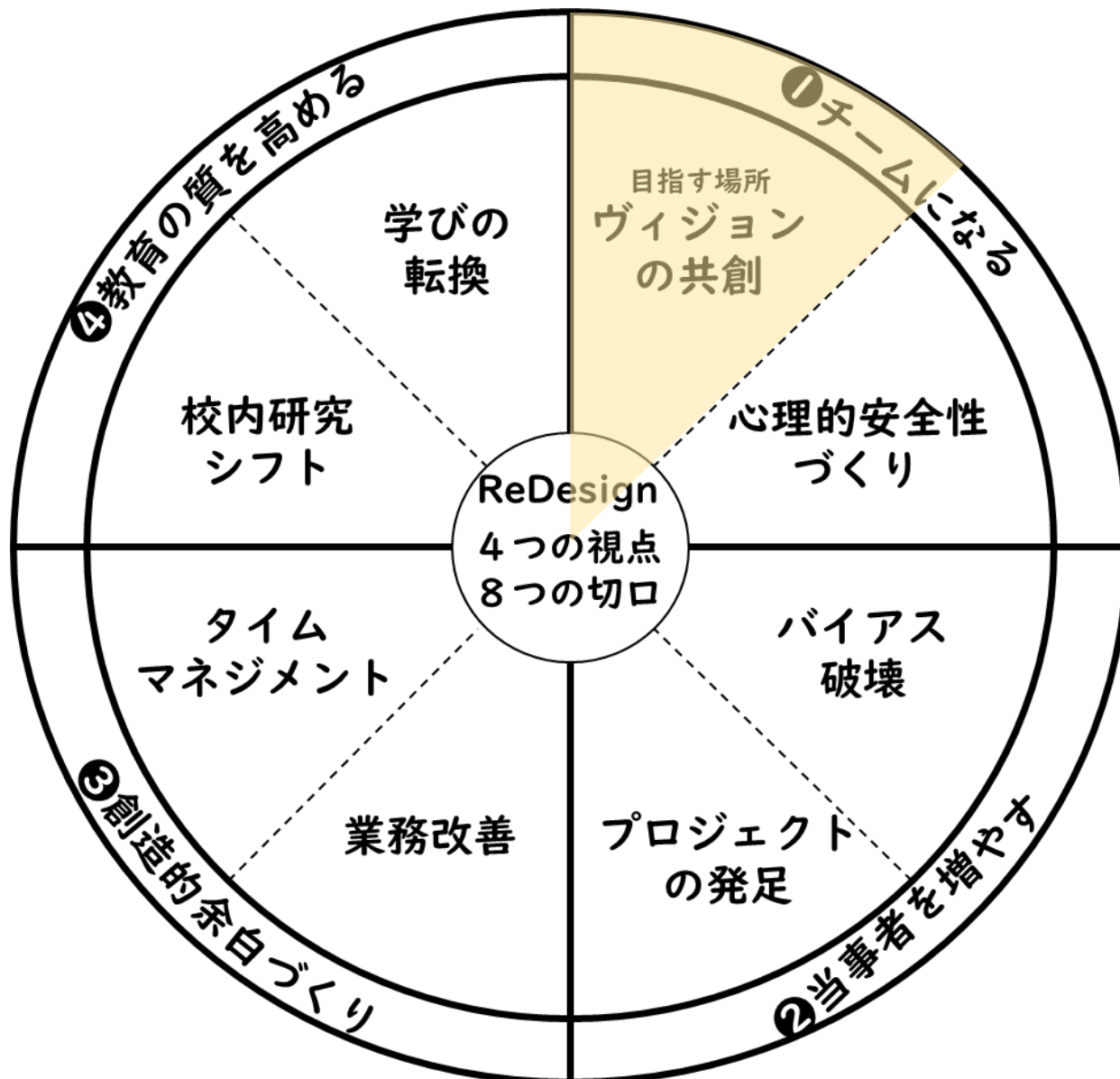


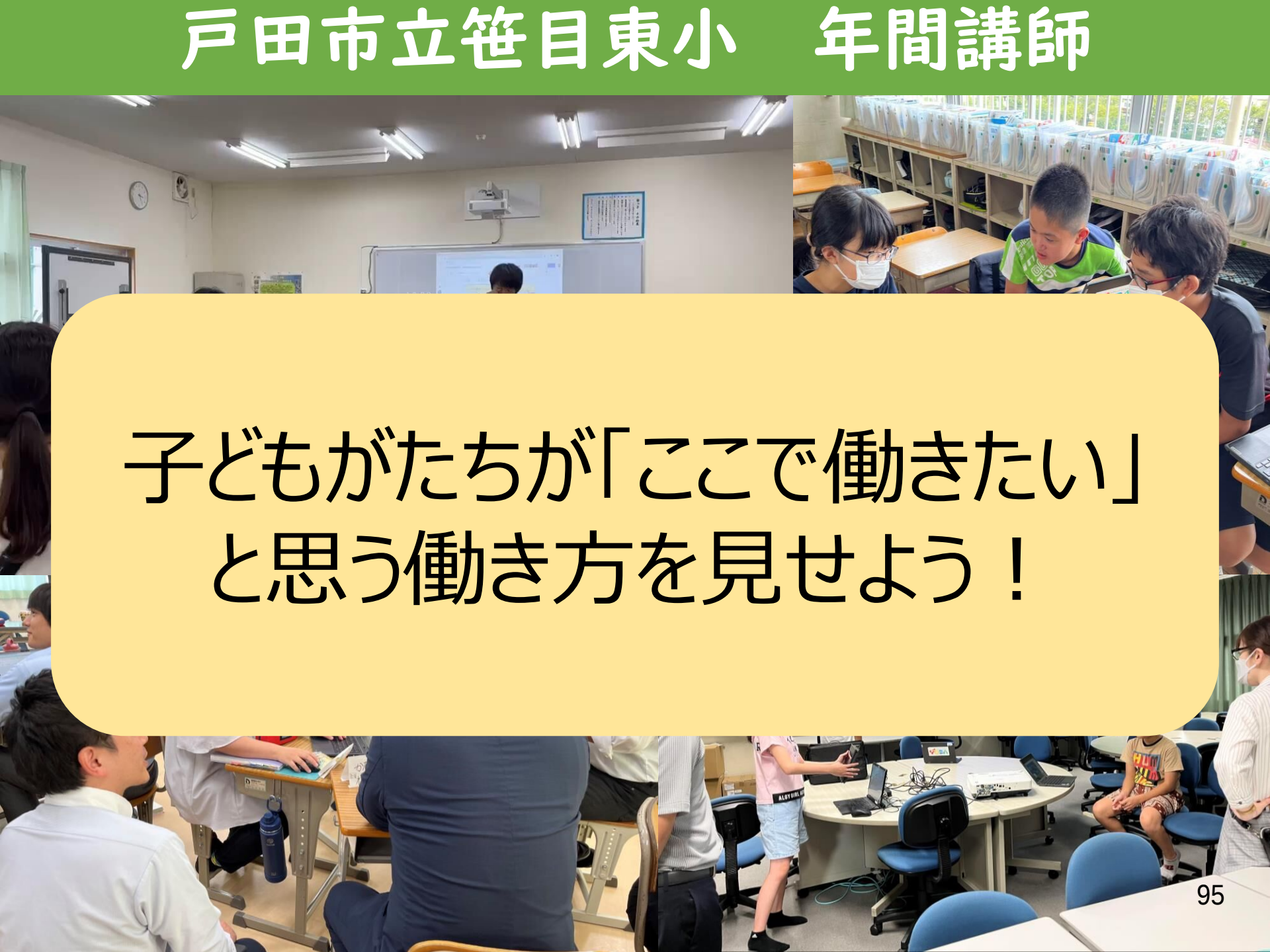
学校の
理想地

学校の
現在地



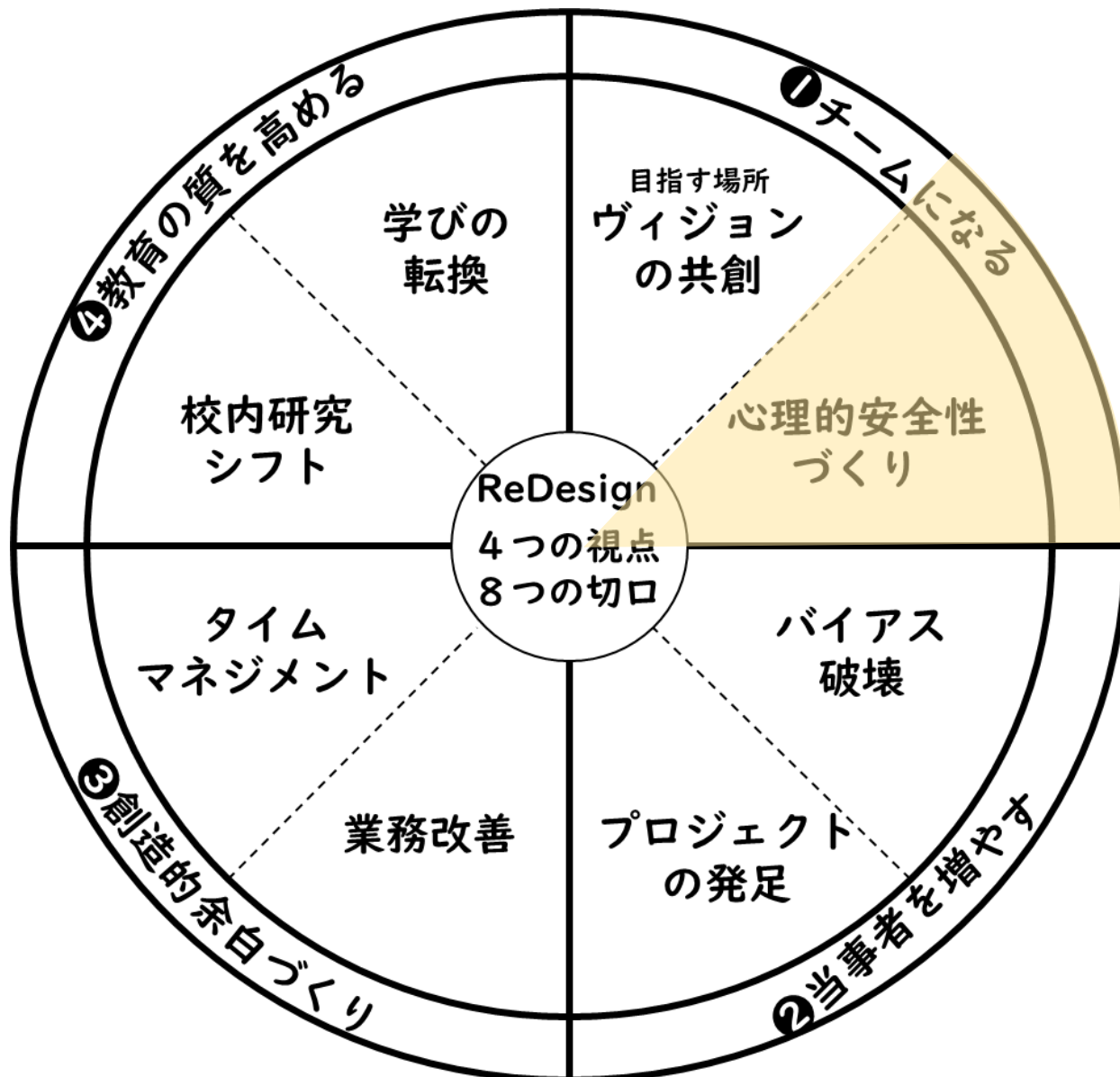
①チームになる





子どもたちが「ここで働きたい」
と思う働き方を見せよう！

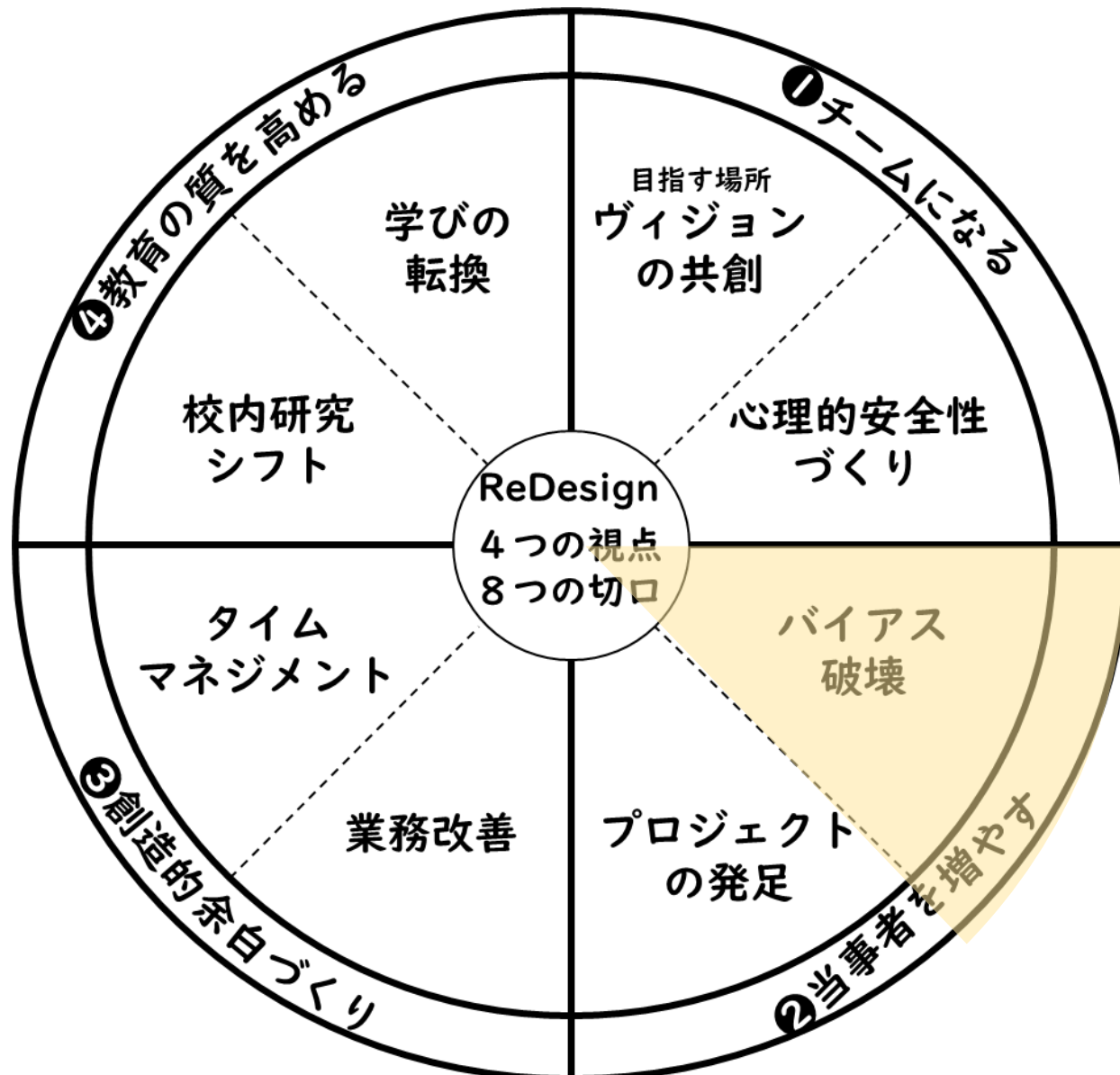
①チームになる



①チームになる



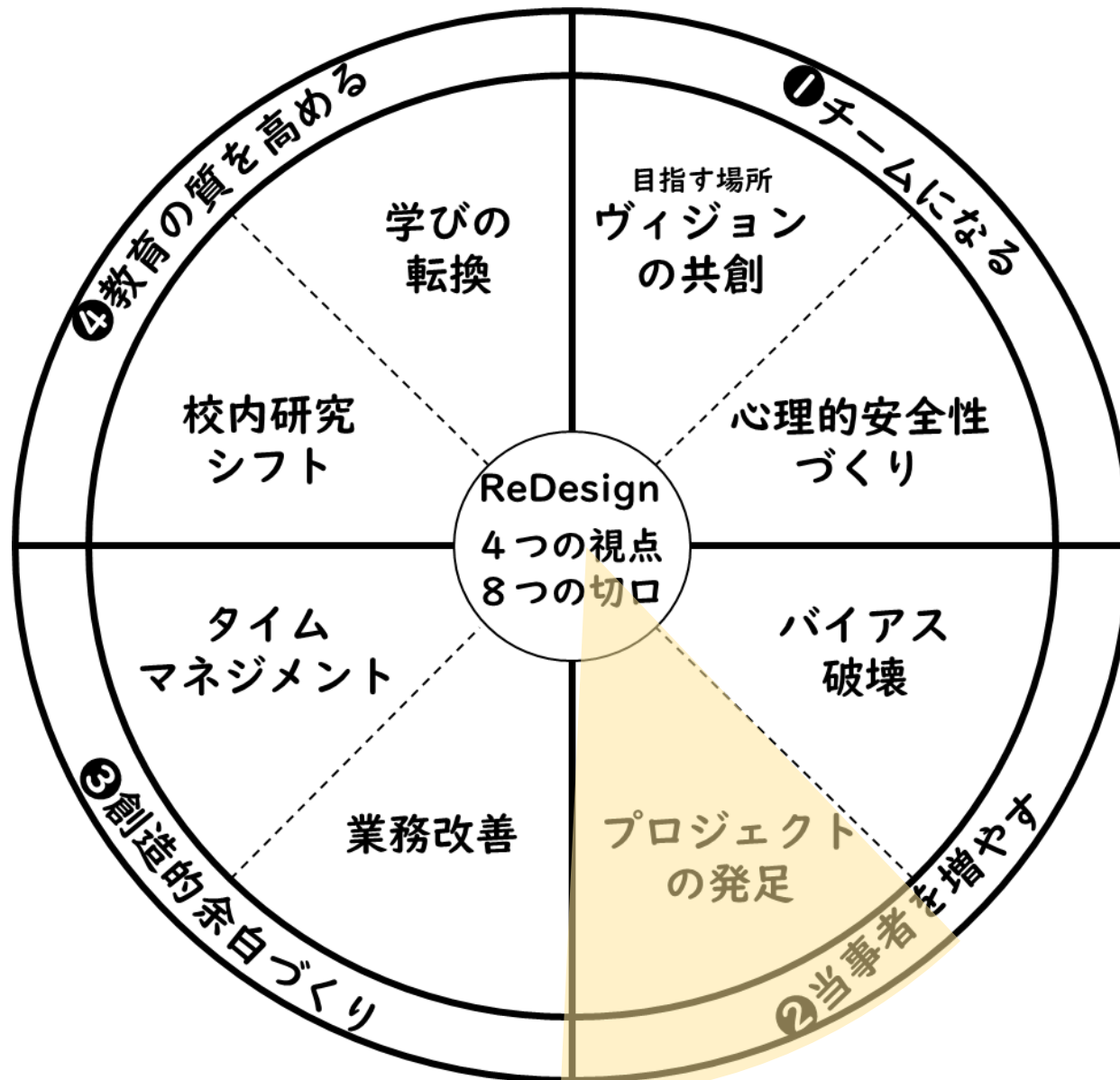
②当事者を増やす



「実はね、～をしたかったんだ。」 立命館宇治高校

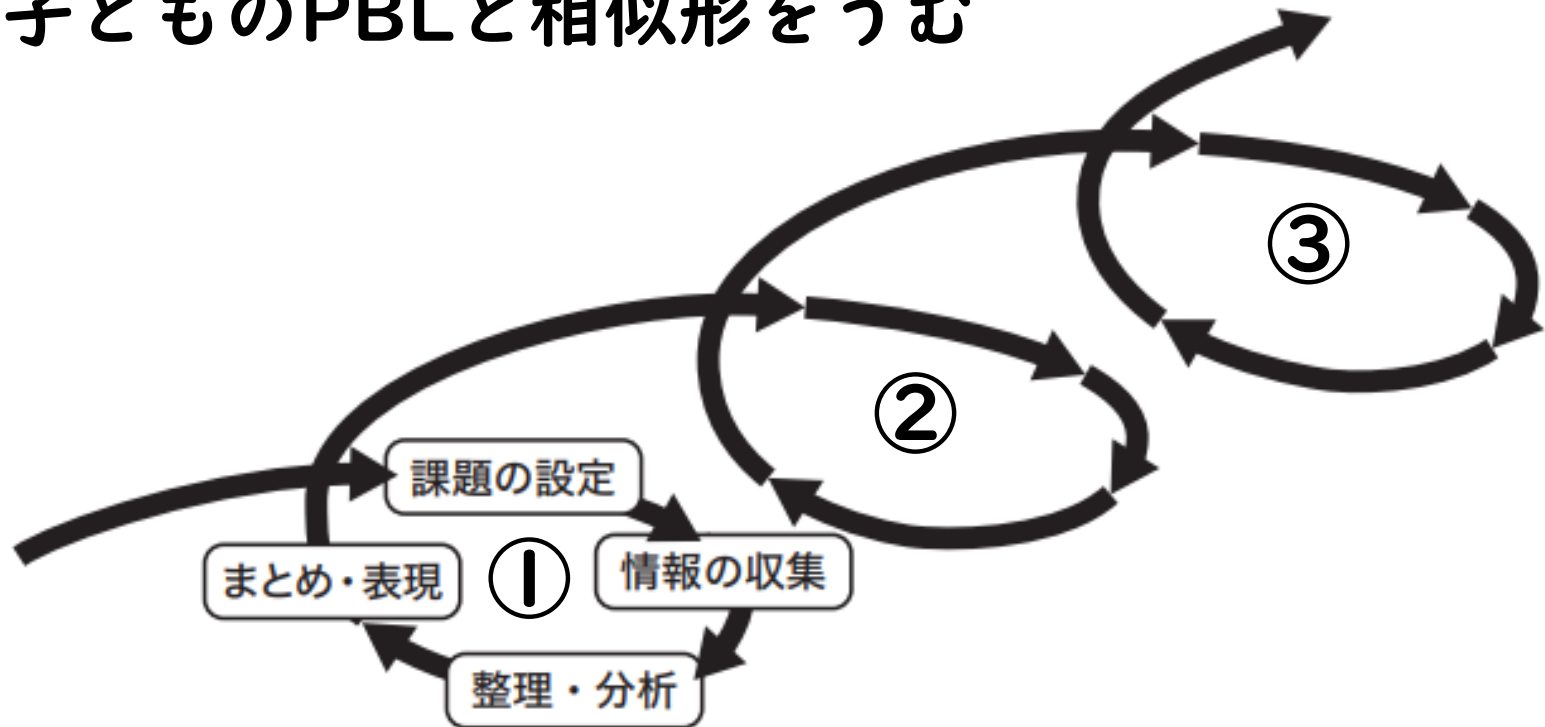


②当事者を増やす



プロジェクトのサイクルで、当事者が増える

子どものPBLと相似形をうむ



- 日常生活や社会に目を向け、生徒が自ら課題を設定する。

- 探究の過程を経由する。
 - ① 課題の設定
 - ② 情報の収集
 - ③ 整理・分析
 - ④ まとめ・表現

- 自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

プロジェクトの計画

【プロジェクト名】

職員室リフォームプロジェクト

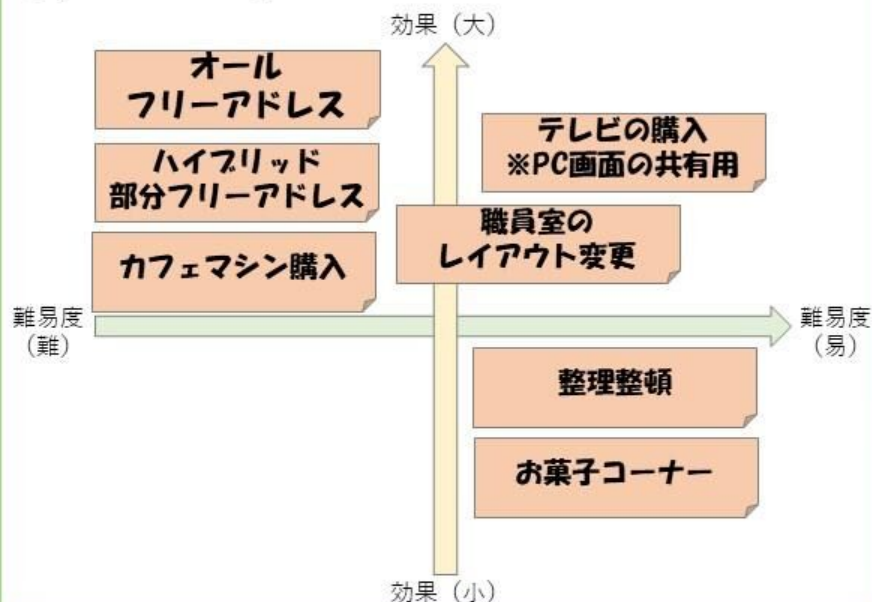
【提案メンバー】

大野 中野
小野 超野

【メモ】

①【このPJTの目的】 例)「癒しと、学び合い」が起こる環境をつくるため
「癒しと、学び合い」が起こる環境をつくるため

②【手段の細分化】 方法や手段を細分化するとしたら？



④【実行計画表】・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		一週間前に、各担任から伝える
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

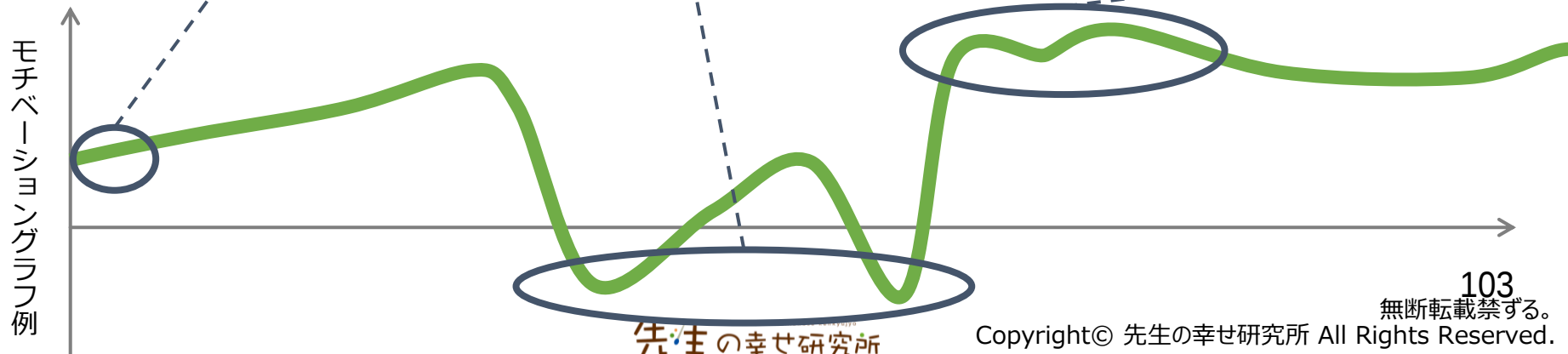
③【納得解の提案】 みんなにとって、大まかに納得のいきそうな手段なっていますか？

ハイブリッドでフリーアドレスゾーンをつくり
そこで共同教材研究などができるようにする。
そのためにテレビを購入し、すぐに画面共有できるようにするのはどうか。

Project

プロジェクトのタイムライン例

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
フェーズ	PJT 「描く」			PJT 「試行錯誤」			PJT 「仕組み化」				
今年度案	■ チーム作り ■ 収穫計画			■ 移行期間としての試行実施 ■ 保護者・地域への共有			■ 収穫の可視化・共有化 ■ 次年度の分掌改善				
次年度案	■ チーム作り ■ 種まき計画			■ 期間限定の試行実施 ■ 保護者・地域の巻き込み			■ 種まきの可視化・共有化 ■ 次年度のタスク棚卸し				
推進のこつ	▶ 目的の共有 ▶ PJT可視化・共有化			▶ 実働時間の確保 ▶ 立ち止まりと改善 祝い / 実感			▶ 成果の実感と祝い ▶ 校務分掌への位置づけ				



PROJECTを通して、当事者が増える

当事者



ともに目指す

相手・自分

当事者

傍観者



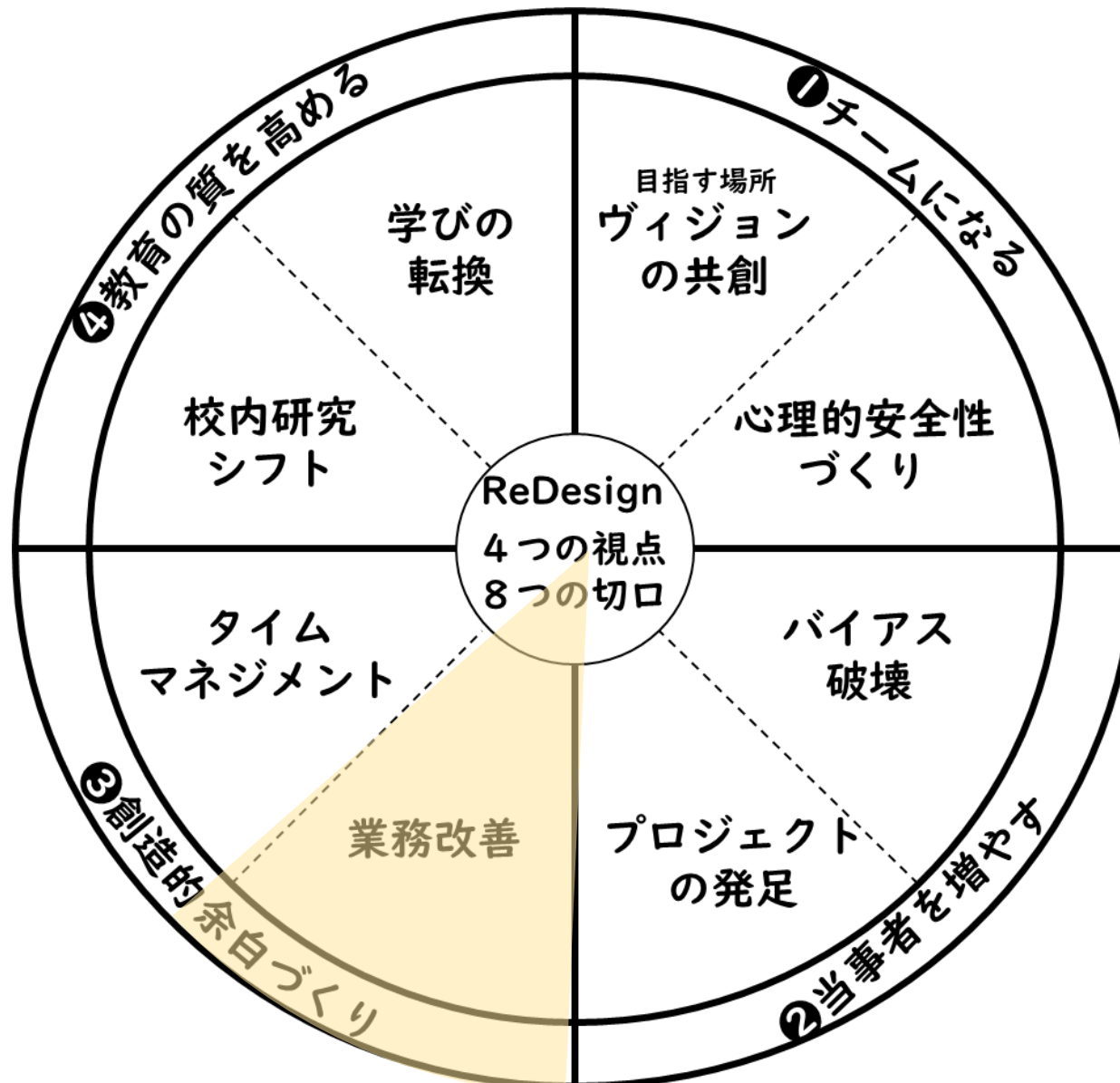
ギャップを指摘

相手

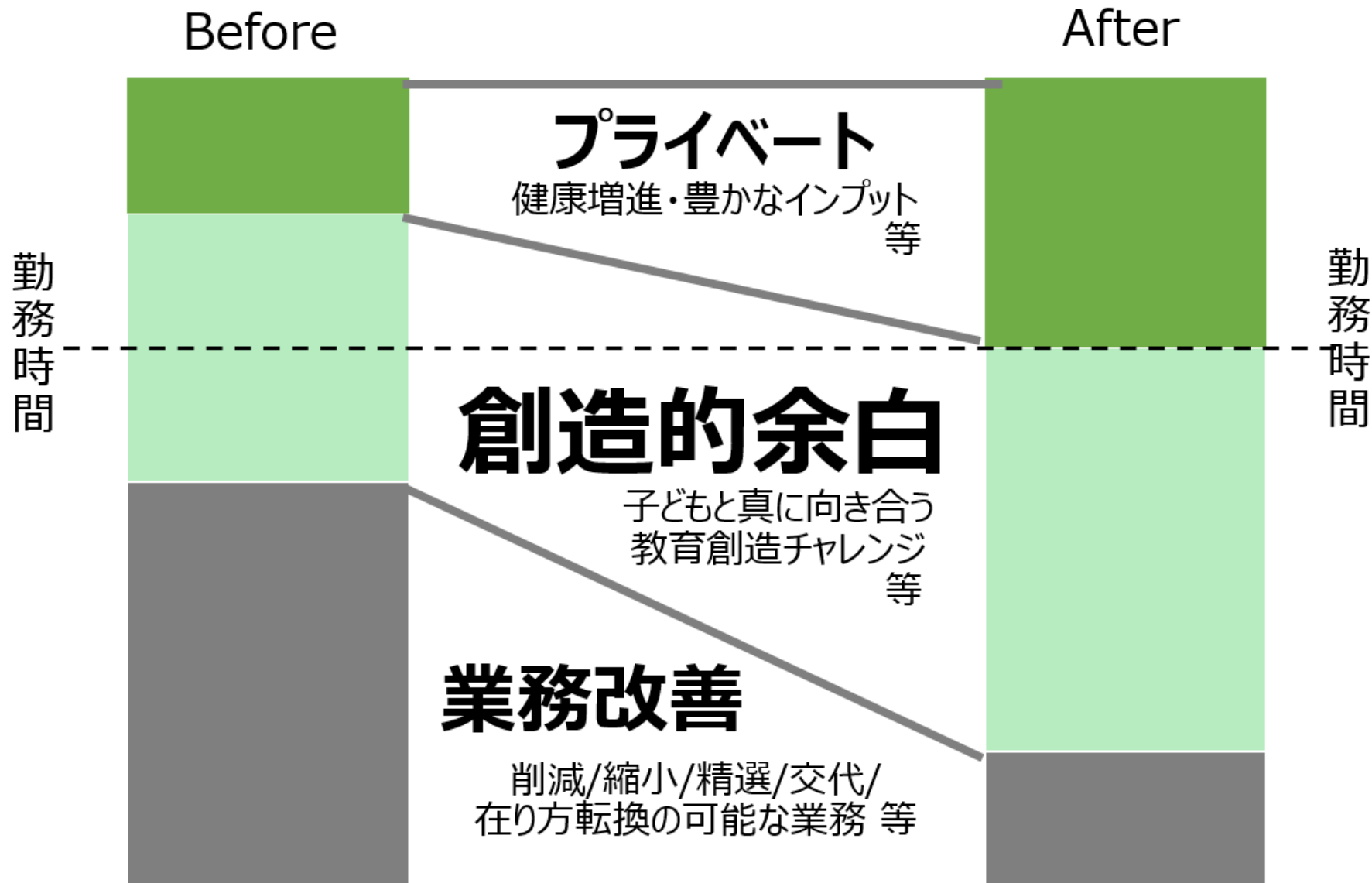
自分

傍観者

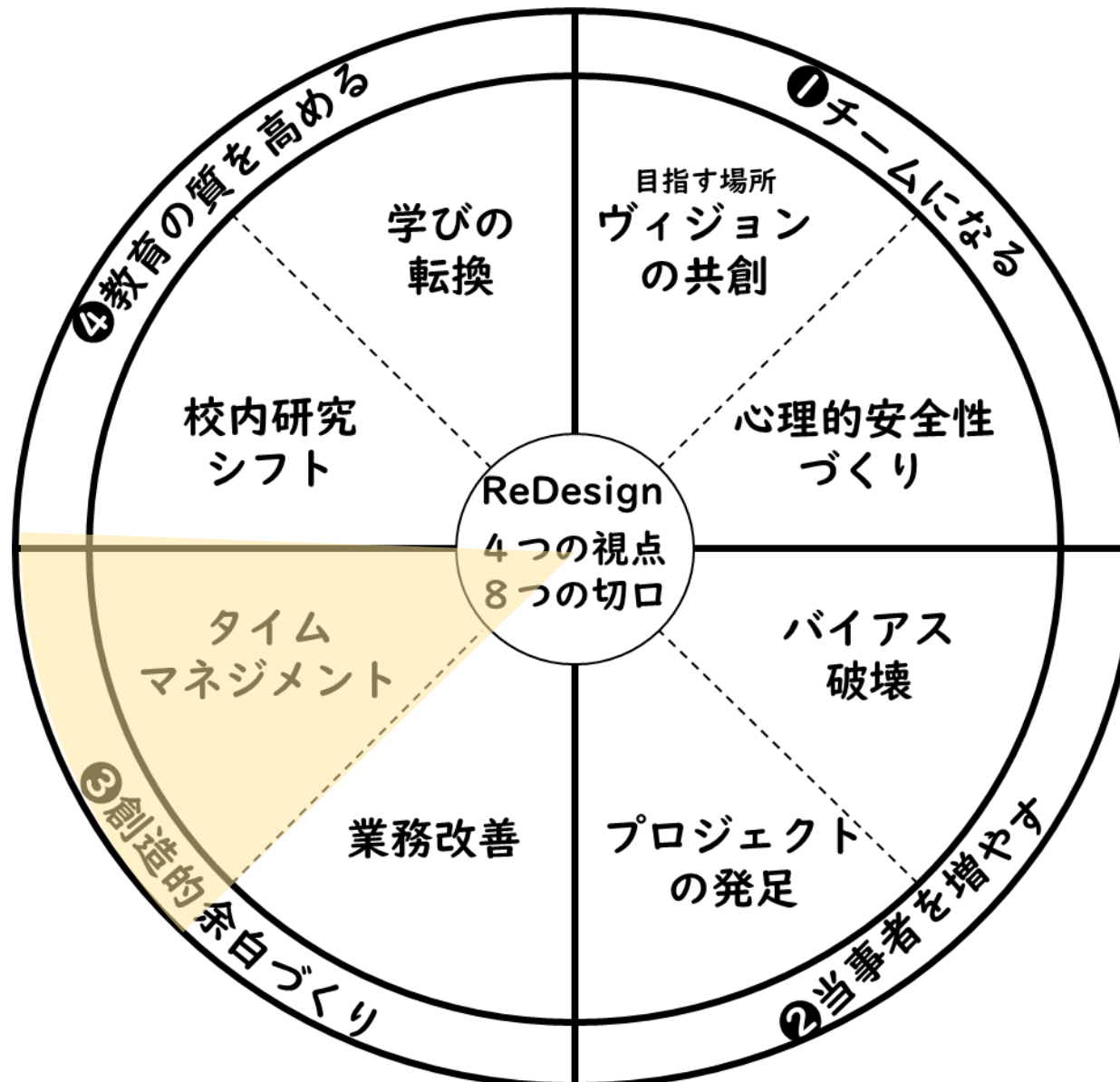
③創造的余白を増やす



働き方改革の目的は「教育の質の向上」こと



③創造的余白を増やす





人生のリデザイン『マイタイムプレゼン』ワークショップ

(目安時間：90分) 開発 先生の幸せ研究所 Adviser 上部 福成

WSのゴール：「人生におけるwant toを解放することで理想を描き
それを実現させるためのアクションプランを決めること」

先生の幸せ研究所

所要時間 10分

Check In インプット①②

Step① 「目的の確認」

- ▶働き方改革の目的って？
「教育の質の向上」

Step② 「バイアスに気づく」

- ▶それって本当？
- ▶いつからそう思っているの？



動画を視聴
(9分9秒)

所要時間 10分

「want to」の解放③ あなたがときめく『マイタイム』を出してみよう！

Step③ 「want toの解放」

※すべてうめなくてもOK

- ▶あなたがときめく『マイタイム』は？ 終わったら、WORK編もやってみよう！

	プライベート LIFE			仕事 WORK	

CAREER志事

所要時間 5分

出した『マイタイム』の中から選び共有する④

Step④ 「LIFEの中で実現したいベスト3」

- ▶実現したいことベスト3は？ 仲間と共有しよう！

1	
2	
3	

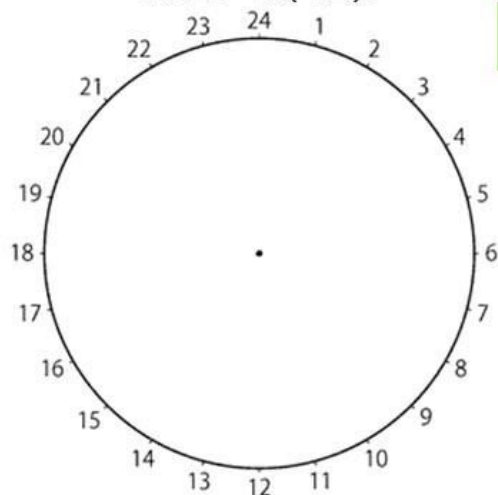
所要時間 10分

マイタイムを取り入れた理想の一日を描く⑤

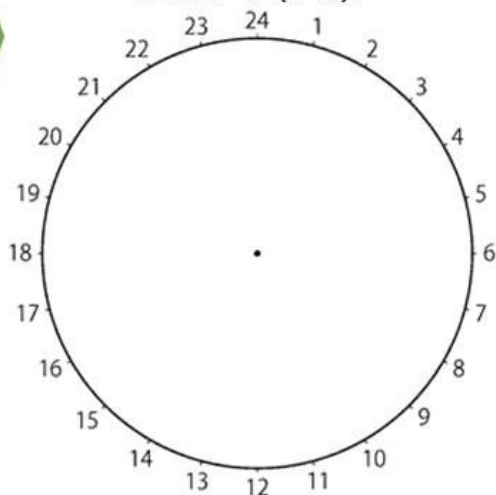
Step⑤ 「理想の一日を描く」

- ▶あなたの理想の一日は？ 左側に現在の日を、右側に理想の日を表してみよう！

【現在の日(平日)】



【理想の日(平日)】



所要時間 10分

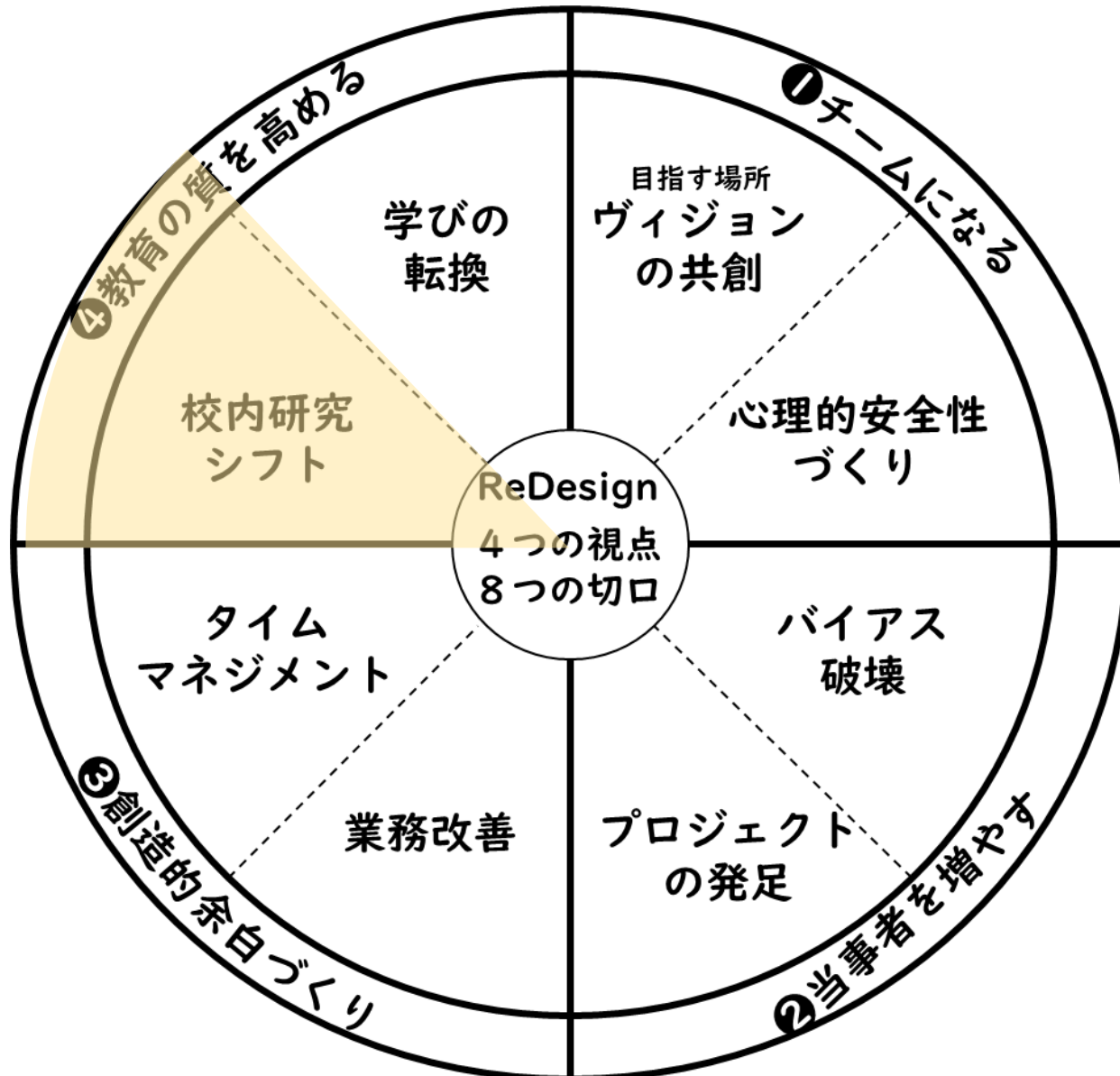
マイタイムプレゼン⑥

Step⑥ 「マイタイムプレゼン」

- ▶マイタイムを取り入れた理想の一日は、どうすれば実現できますか？
- ▶まずは、「〇時に帰るだけを実施しよう！」等 部分的に実施でもOK！

実施日	そのための時間術	協働者	実行
例 12/15	・その日の朝にTo doリスト挙げ ・帰る時間にアラームセット	・小野さん ・中野さん	

④教育の質を高める

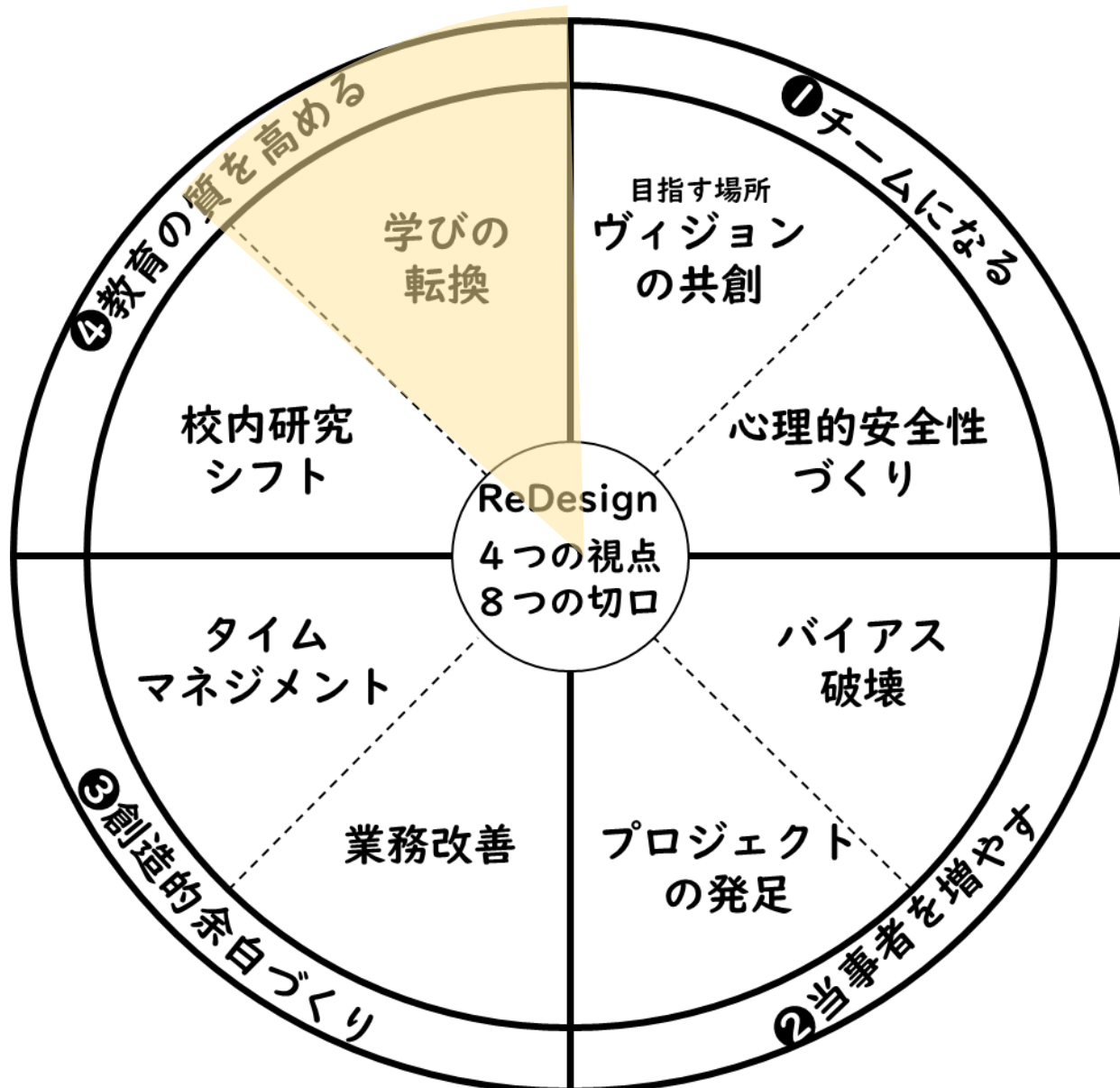


教師の学びと、子どもの学びは相似形

NITS戦略（ミッション） ～新たな学びへ～



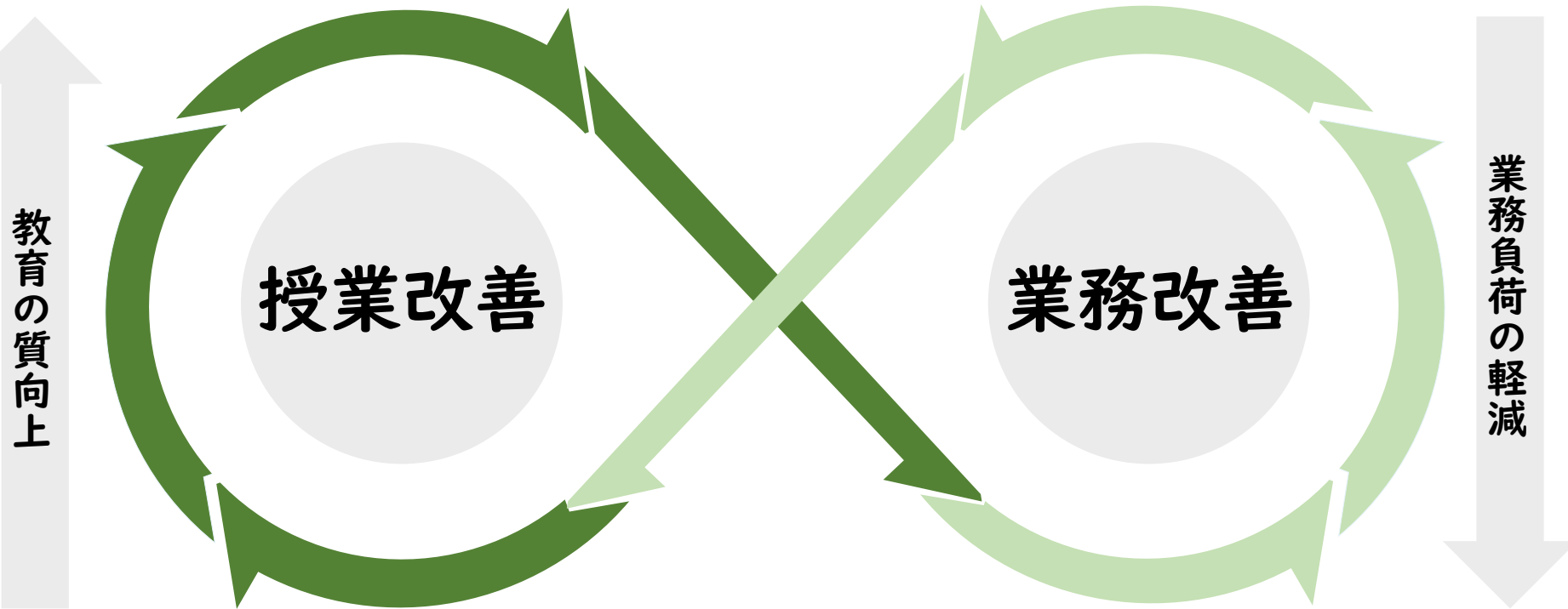
④教育の質を高める



授業改善こそが、業務改善の本丸

子どもを自立した学び手へ導く授業革新

教職員が自分の力で余白をつくる業務改善



みんな一緒にを少しずつ手放し、子どもに委ねていく（例）

1 コマでの子どもが主語の学び

導入

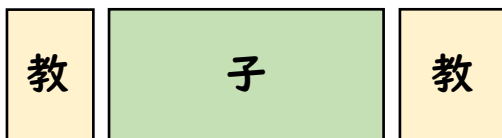
展開

まとめ

部分
(45/50分)



1 コマ
(45/50分)



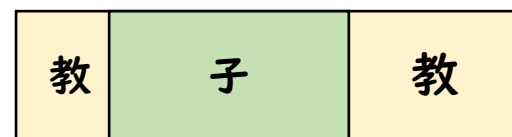
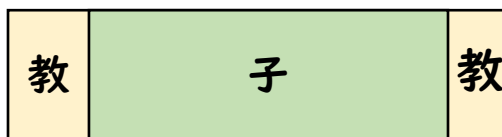
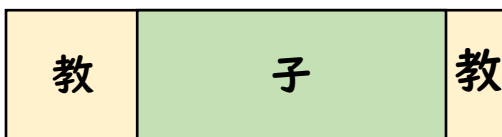
単元での子どもが主語の学び

第1時 ガイダンス

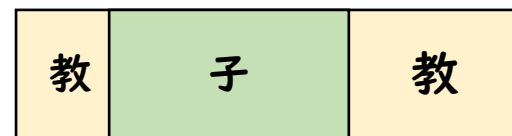
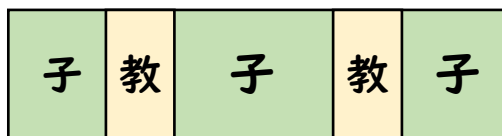
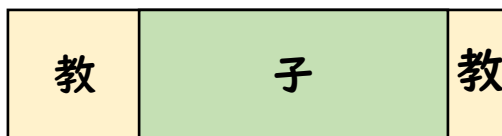
第2時～第6時

第7時 共有 / 振り返り など

1 単元

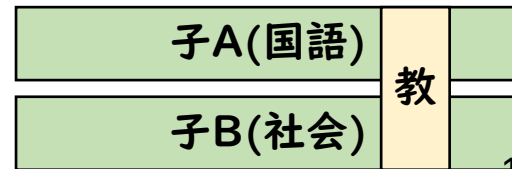
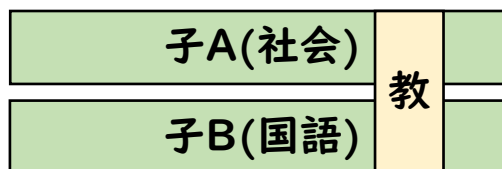


1 単元



教科を子どもがセレクトして進む学び

複数
教科



Plan

15:00-15:45

2024/5/24 ワークシート 学校名 津宮小学校 お名前 土井伸一

学校の理想地	・ 17:30には、笑顔で帰る。 ・ 休憩時間 1時間確保 ・ 何も考えずに年休取得
学校の現在地	・ 20時を平気で過ぎて帰ることも多々。 ・ 休憩なし ・ 個人の意識の差が大きい。(退庁、年休)

① 何から始めるか？

・ 定時退庁の日を作る。 ・ 職員会議のペーパーレス化 ・ 欠席連絡のメール化

② だれを巻き込むとよいか？

・ 保護者 ・ 市教委

③ どんな困難がよそうされるか？

・ 機器への苦手感 ・ 次の日のことが気になる

④ どうすれば乗り越えられるか？

・ 機器使用のサポート、 ・ 次の日に忙しいことを入れない。
--

⑤ あなたの中で何か1つ変えたとしたら、何を変えるか？

・ 早く帰る日をつくる。
--

⑥ 先生の幸せ研究所の伴走支援をどう活用したいか？

・ 具体的にはまだ言えないが、まず来て現状をみてほしい。
--

グランドルール



Check out

15:45-15:50

(楽しみ)

(心配)

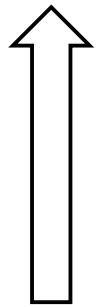
ワクワク or ドキドキ

あなたの「今」の気持ちは？



sensei no shiawase kenkyujo
先生の幸せ研究所

学校の
理想地



学校の
現在地

①何から始めるか？

②だれを巻き込むとよいか？

③どんな困難がよそうされるか？

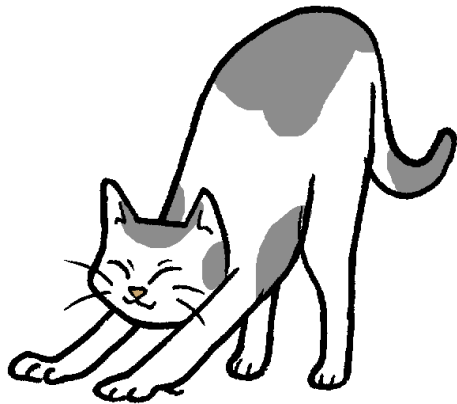
④どうすれば乗り越えられるか？

⑤あなたの中で何か1つ変えるとしたら、何を変えるか？

⑥先生の幸せ研究所の伴走支援をどう活用したいか？

第2回全体研修会 (オンライン開催)

オンラインのよりよい場づくり



途中で各自ストレッチ♪



あなたの声が、プレゼントに♪



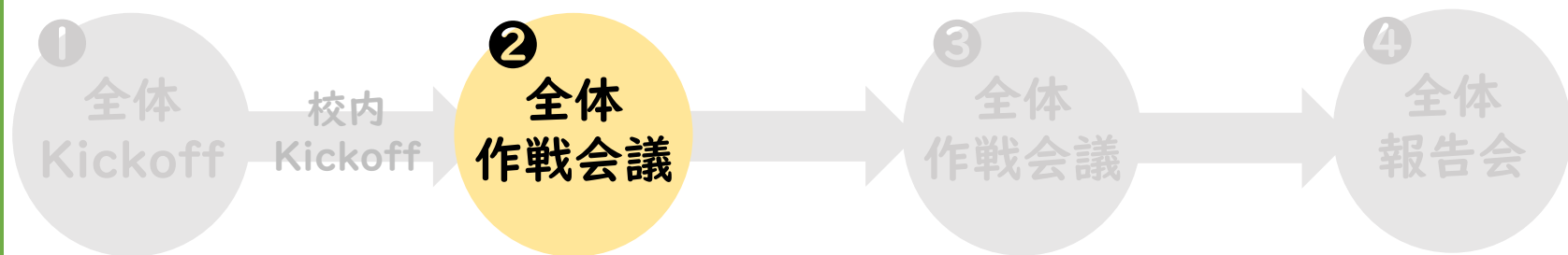
飲み物もちろんOK！



あなたの反応が、安心をうむ♪
※必要なときのOFFもOK

120

無断転載禁ずる。



第2回全体研修会 (オンライン)

「月曜日に大人も子どもも行きたくなる学校づくり」



(株)先生の幸せ研究所

伴走のタイムライン具体

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

フェーズ

「提案」の壁

「実行」の壁

「自走」の壁

活動

Kickoff
ワークショップ

プロジェクト発足
実行と振り返り

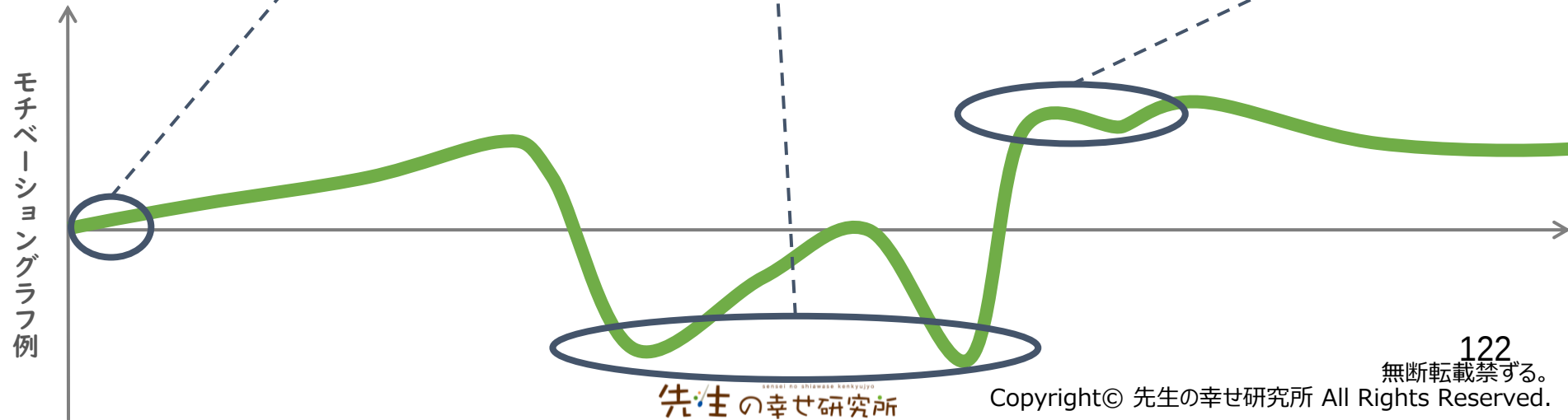
振り返りと
仕組み化

伴走の役割

▶課題発見
▶解決策の提案と共創
▶ファシリテーション

▶実行の提案
▶振り返りと改善の助言
▶プロジェクト伴走

▶再設計対話の場
でのファシリテーション



改革のプロセス

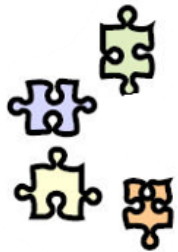
「混乱期を楽しむ」

タックマンモデル

混乱期を避けるのではなく、早い時期から突入し、楽しむことが重要！

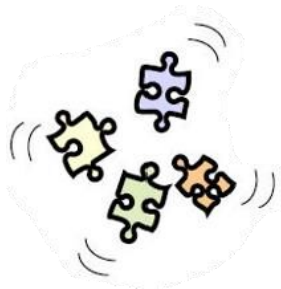
形成期

チーム形成



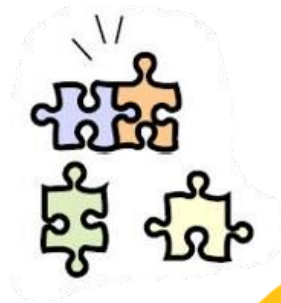
混乱期

ぶつかり合う



統一期

共通規範形成



機能期

成果が表れる



- ・ 互いをよく知る
- ・ 課題の共有
- ・ 対話の量

- ・ 尊重しつつ本音をぶつけ合う
- ・ 目標設定意思決定
- ・ 対話の質

- ・ 新たな規範や役割の設定
- ・ 成功体験の共有
- ・ リーダーが複数

- ・ 共通の目的に向けて能力が発揮される
- ・ 何でもチャレンジ

混乱期の先に収穫期がくる

タックマンモデル

混乱期を避けるのではなく、早い時期から突入し、楽しむことが重要！

形成期

チーム形成

混乱期

ぶつかり合う

統一期

共通規範形成

機能期

成果が表れる

種蒔期

- ・ 互いをよく知る
- ・ 課題の共有
- ・ 対話の量

- ・ 尊重しつつ本音をぶつけ合う
- ・ 目標設定意思決定
- ・ 対話の質

収穫期

- ・ 新たな規範や役割の設定
- ・ 成功体験の共有
- ・ リーダーが複数

- ・ 共通の目的に向けて能力が発揮される
- ・ 何でもチャレンジ

校内ワークショップの パターン紹介

自助 個人裁量

共助 学校裁量

公助 教育委員会・国裁量

3者それぞれに何ができるのか？
を考えて行動することが大事

各実施校の現在地やニーズに応じて対応

1

これから本格的に始める
→テーマ出しから深掘りまで
(90分)

- 本格的にはこれからなので何から始めたらよいか…
- 出来る範囲で取り組んでいるが…
- 管理職主導で進めてきたが先生たちの本音を聞いてみたい

2

インパクトの大きいテーマに着手したい
→深掘りして衆知を集める
(60分)

- 校内で出来ることはやり尽くしたけど減らない…
- 改善に取り組んでいるが、周辺業務に限定されている
- 管理職主導で進めてきたが先生たちの本音を聞いてみたい

3

本当に共助はやりつくしたが、一部の先生は遅くまで残っている
→個人のタイムデザイン
(60分～90分)

- 共助の部分（仕組）は手を入れた
- 時間外在校等時間の平均値も下がってきているが、一部の先生が遅くまで残っている
- 仕事以外のプライベートの時間も大切にしてほしい

4

学校全体で創造的余白は生まれている
→児童生徒主体の学びへの転換
(60分～90分)

- 生み出した余白を何に使うかを転換したい
- 本丸は授業改善！

5

上記のどれにも当てはまらない
→個別にデザイン
(60分～90分)

- 地域・保護者との対話
- グランドデザインやビジョンをつくりたい
- 児童生徒と一緒に何かやりたい
- そもそも校内で集まらない…

① ギャラリーウォークでチームを選ぶ

【お題】

創造的余白を〇〇学校で増やすために、みんなで取り組めそうなことは？



テーマ例

関心のあるテーマを自己選択・自己決定

1.時程

2.宿題

3.〇〇指導
(掃除/給食)

4.担任制

5.校内研究

6.テスト

7.行事

8.部活動

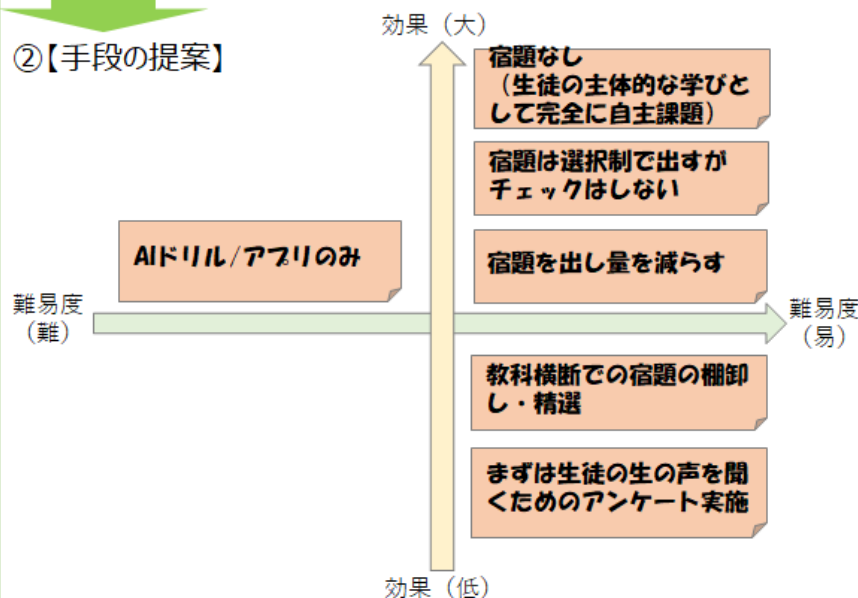
9.その他

①&②チームを決めて、シートをつかってリデザイン

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
- 学力の定着化 - 家庭での学習習慣が身につく - 授業だけでやりきれない部分を補完することが出来る	- 一斉一律の宿題では生徒一人一人の習熟度に合っていない - 答えを丸写しする生徒もいて、提出する/させることが目的化している（学力への効果も…？） - 提出物チェックの負担が大きい - お互いの残業みたいになってる

②【手段の提案】



【プロジェクト名】

宿題問い直しプロジェクト

【メンバー】

大野 中野
小野 超野

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		各部活動で最適な運営に変更
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？

- ・教科ごとにばらつきがあり、提出する/させることが目的化している点、双方の負荷も高いため、まずは生徒の声も聞きながら何のためにやるのか（目的）を問い直す
- ・その結果、宿題を生徒の主体的な学び（自己選択・自己決定）につなげていくために宿題・課題無しのお試し期間を1か月設定する
- ・試行実施した上で最適な宿題の在り方を検討する

Project

③個人のタイムデザイン



人生のリデザイン『マイタイムプレゼン』ワークショップ
(目安時間：50分) 開発 先生の幸せ研究所 Adviser 上部 福成

WSのゴール：「人生におけるwant toを解放することで理想を描き
それを実現させるためのアクションプランを決めること」

先生の幸せ研究所

所要時間 10分

Check In インプット①②

Step①「目的の確認」

▶タイムマネジメントの目的って？

◎ 時間を大切に使うこと

△ 時間を意識・管理すること

Step②「時間はプレゼント」

▶大人も子ども、みんな平等に与えられる

▶繰り越し、貸し越しできない



黙読
(1~2分)

所要時間 10分

「want to」の解放③ あなたがときめく『マイタイム』を出してみよう！

Step③「want toの解放」

※すべてうめなくてもOK

▶あなたがときめく『マイタイム』は？ 終わったら、WORK編もやってみよう！

		プライベート LIFE		仕事 WORK	

所要時間 5分

出した『マイタイム』の中から選び共有する④

Step④「LIFEの中で実現したいベスト3」

▶実現したいことベスト3は？ 仲間と共有しよう！

1

2

3

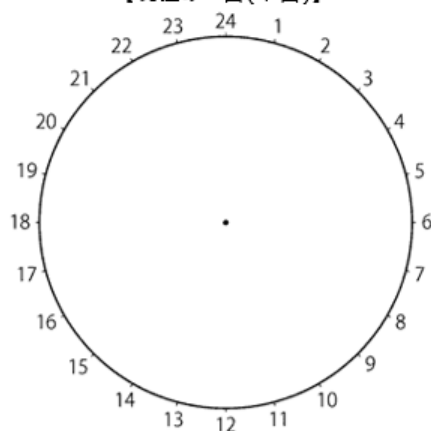
所要時間 15分

マイタイムを取り入れた理想の一日を描く⑤

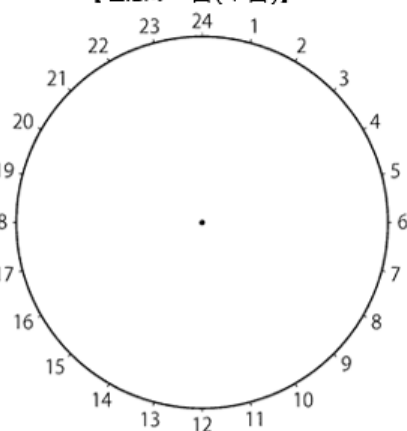
Step⑤「理想の一日を描く」

▶あなたの理想の一日は？ 左側に現在の一日を、右側に理想の一日を表してみよう！

【現在の一日(平日)】



【理想の一日(平日)】



所要時間 10分

マイタイムプレゼン⑥

Step⑥「マイタイムプレゼン」

▶マイタイムを取り入れた理想の一日は、どうすれば実現できますか？

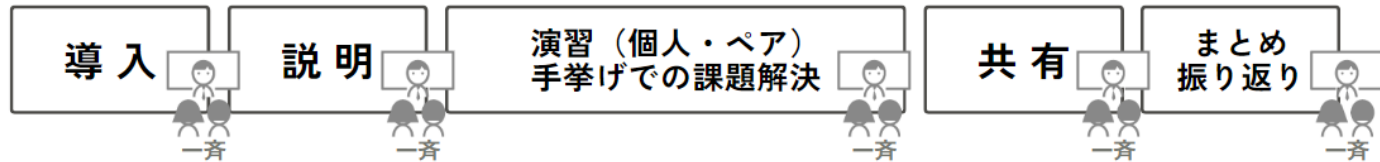
▶まずは、「〇時に帰るだけを実施しよう！」等 部分的に実施でもOK！

実施日	そのための 時間術	協働者	実行
例 12/15	・その日の朝にTo doリスト挙げ ・帰る時間にアラームセット	・小野さん ・中野さん	

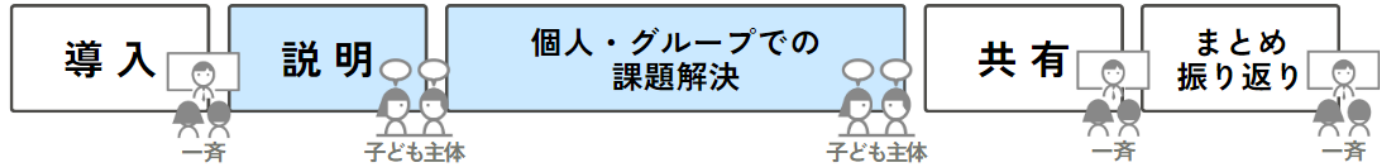
④児童生徒主体の学びへの転換

03_ 授業をどう変える？

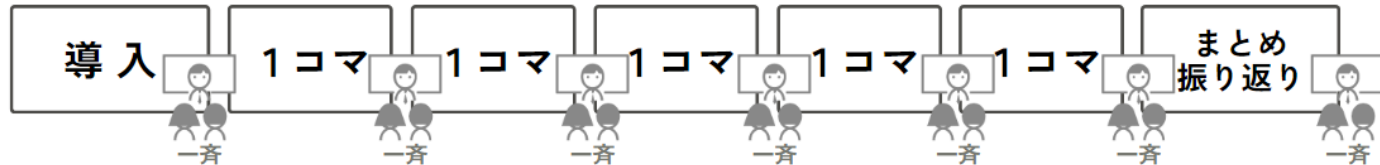
1コマ
(45分/50分)



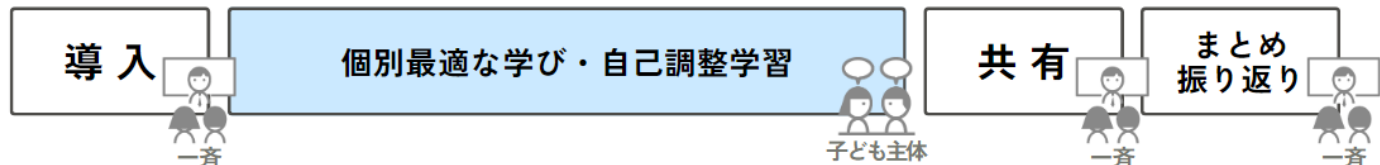
1コマ
(45分/50分)



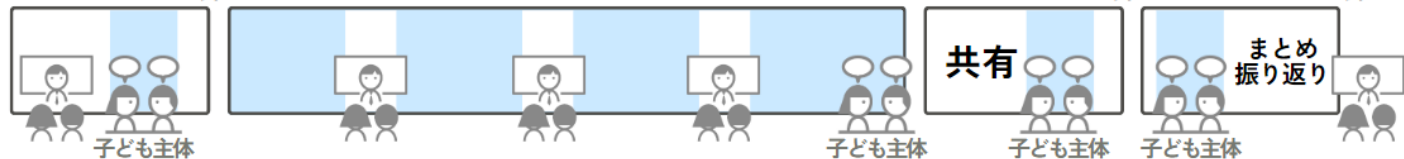
単元
(1コマごと)



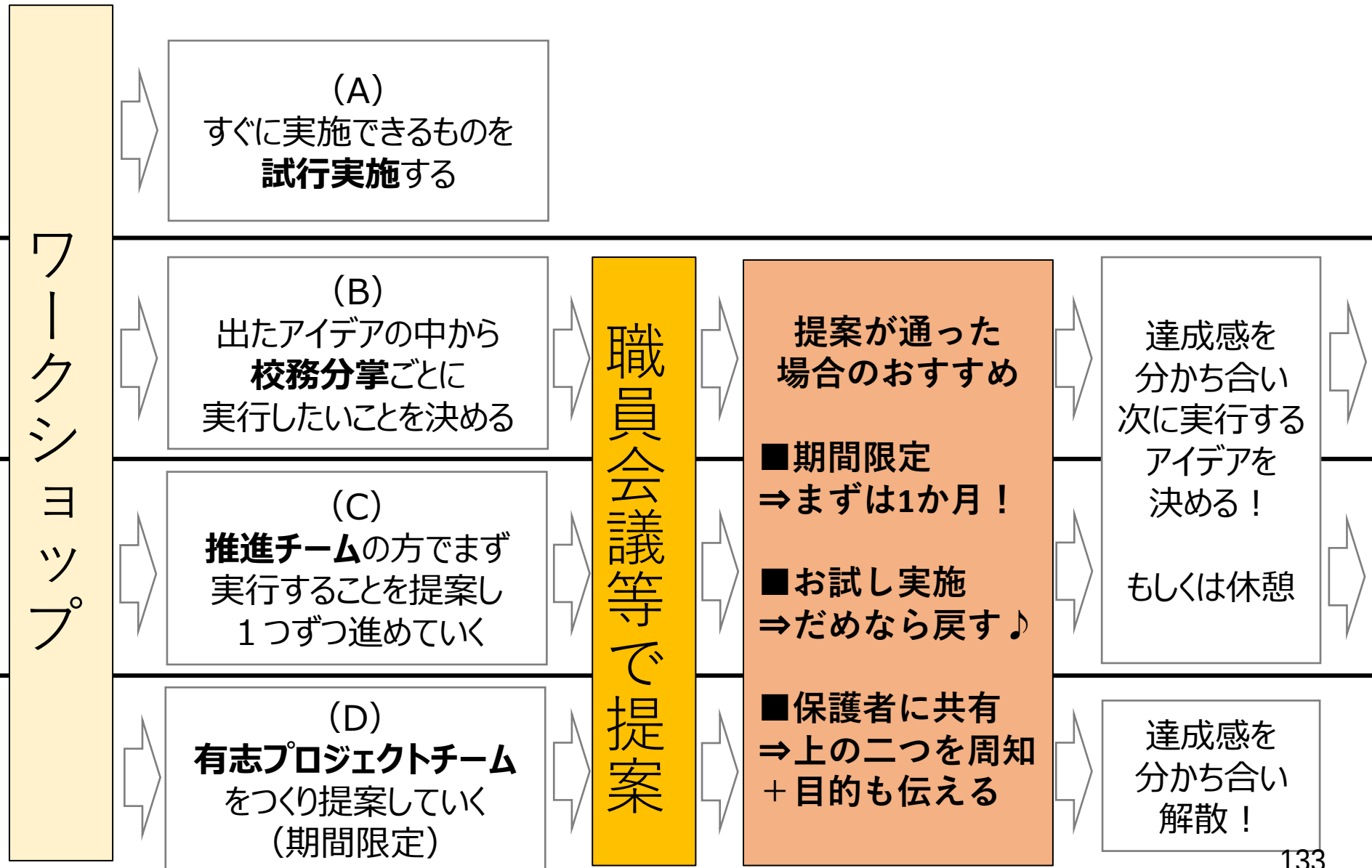
単元で
デザイン



単元で
デザイン



アイデアの実現フローチャート





sensei no shiawase kenkyujo
先生の幸せ研究所

校内ワークショップ (学校訪問で開催)

創造的余白づくり

「全員で最初の一歩を踏み出す!」



(株)先生の幸せ研究所 若林

5時30分に誰もいない学校



5時30分に誰もいない学校。たった5か月間で。

校内研究
改革

総合の
授業改革

時程の
大幅改革
40分授業

チーム
担任制

納得解をうみやすいフロー

通常パターン

各分掌主任、担当が
提案資料を作成

提案のための根回し

各分科会の中で提案

管理職等に提案

提案のための根回し

職員会議で提案

A：試行実施
B：再検討

新パターン

ワークショップ

すぐに
試行実施

■ 期間限定で試行実施

⇒まずやってみる。やってみて考える。
※保護者に試行実施の段階で共有

有志PJT
チームで検討

主任、担当が
預かり再検討

職員会議提案

A：試行実施
B：再検討

解散

次の
案

ギャラリーウォークでチームを選ぶ



ギャラリーウォークでチームを選ぶ

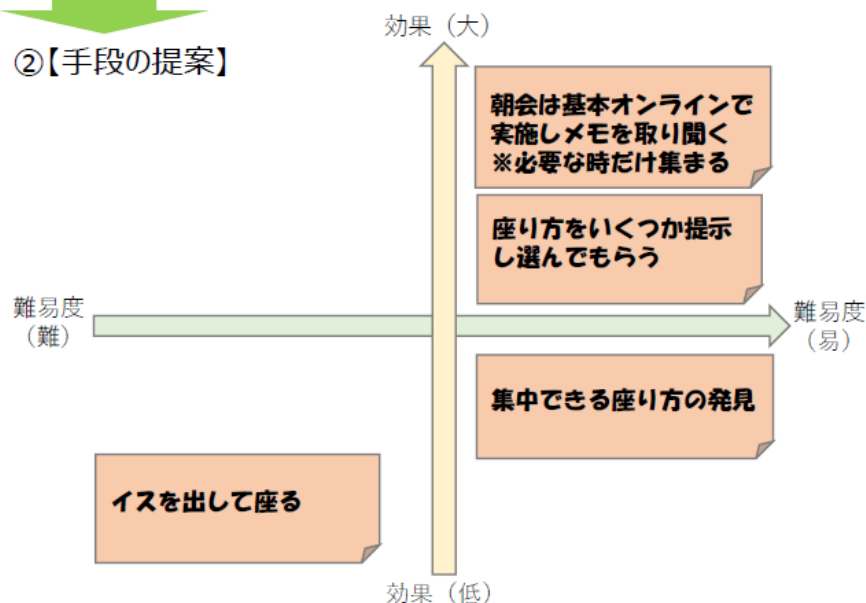
誰か一人の意見で
決まるのではなく、
皆で話し合って決めた方が
より良い答えが見つかる

チームを決めて、シートをつかってリデザイン

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
・しずかに落ち着いた空気で聞ける。 ・一斉に情報を共有できる。	・情報共有が目的だがおもしろが辛くて実は聞けていないのでは？ ・全員が一カ所に集まる必要があるのか？ ・体育座りは健康に悪い。 ・主体的に行動できるようになってほしい。

②【手段の提案】



【プロジェクト名】

全校朝会問い直しプロジェクト

【メンバー】

大野 中野
小野 超野

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		一週間前に、各担任から伝える
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？

基本、朝会や集会などはオンラインで実施をする。そうすることで、資料を投影することもできる。また、手帳などに生徒がメモをする姿を推奨し、「自律」におくように支援する。
対面式の場合は、「座り方をいくつか提示」し、選択してもらう。

Project

15:10-15:15

Check-in

今の働き方は何点？

◆本音で直感で！

真上：10点

真横：5点

真下：0点



Check in
本音

Input
3つ

Workshop
アイデア出し

Team
選ぶ

Dialog
作戦会議

Check out
押しプレゼン

Input

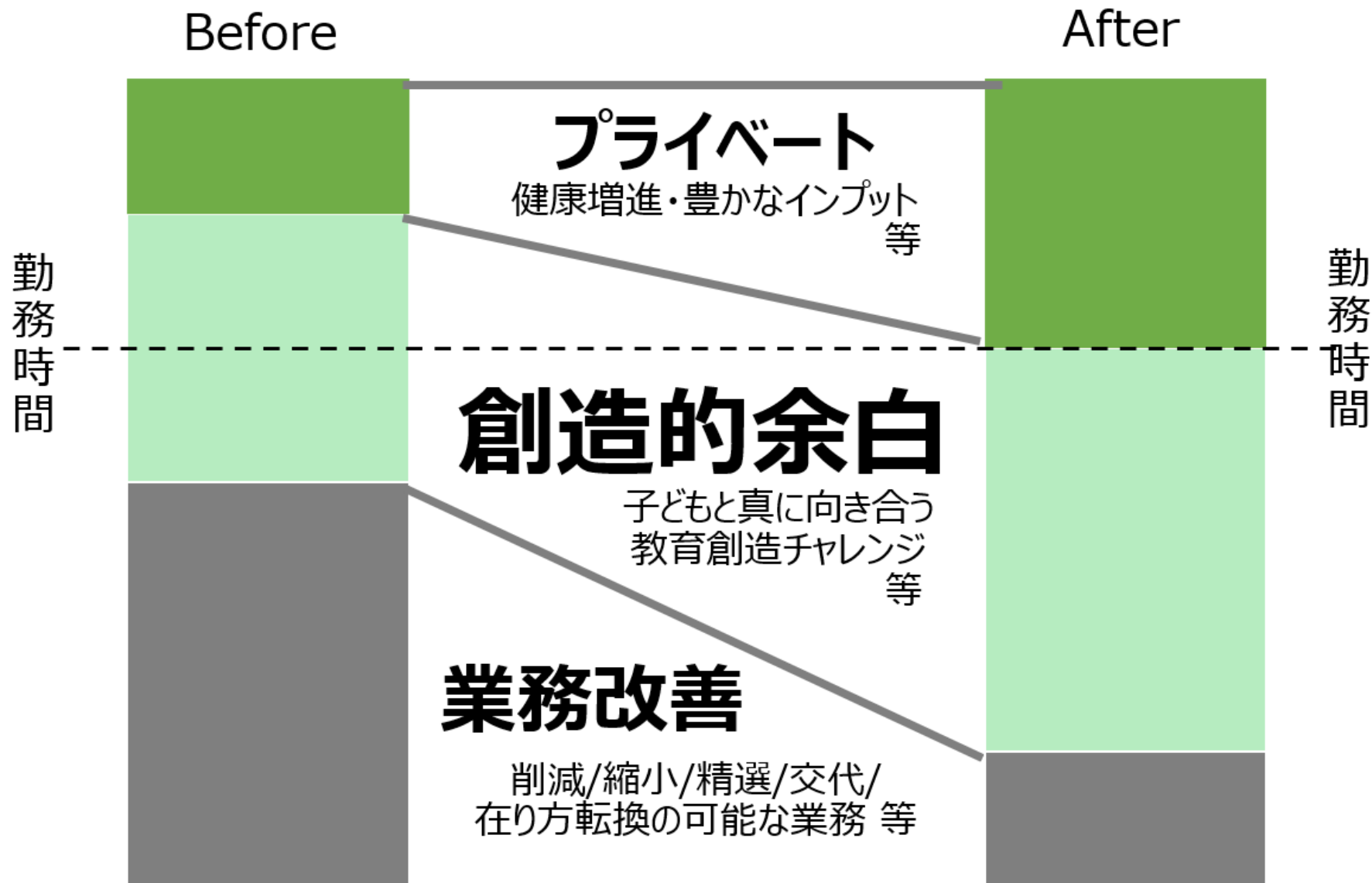
15:15-15:30

①働き方改革の目的

②バイアスについて

③プロジェクト型業務改善

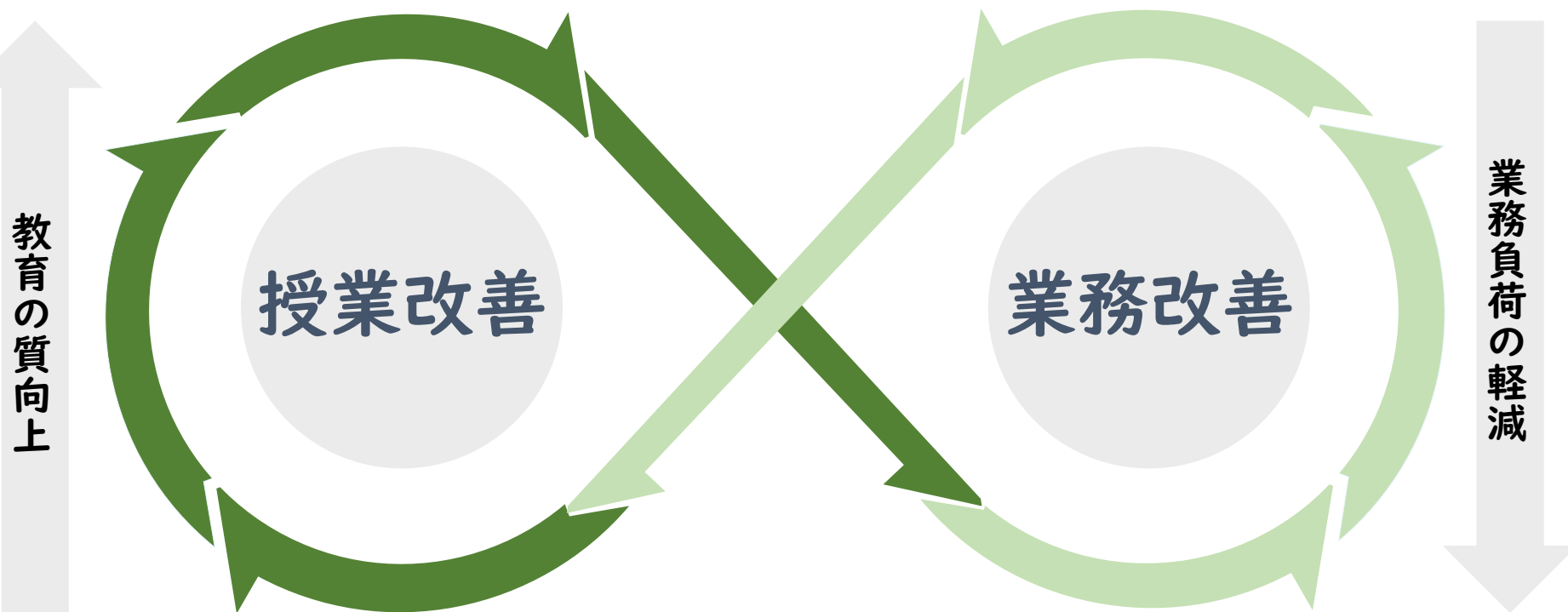
働き方改革の目的は「教育の質の向上」こと



授業改善こそが、本丸。やりがいも高まる。

子どもを自立した学び手へ導く授業革新

教職員が自分の力で余白をつくる業務改善



Input

15:15-15:30

①働き方改革の目的

②バイアスについて

③プロジェクト型業務改善

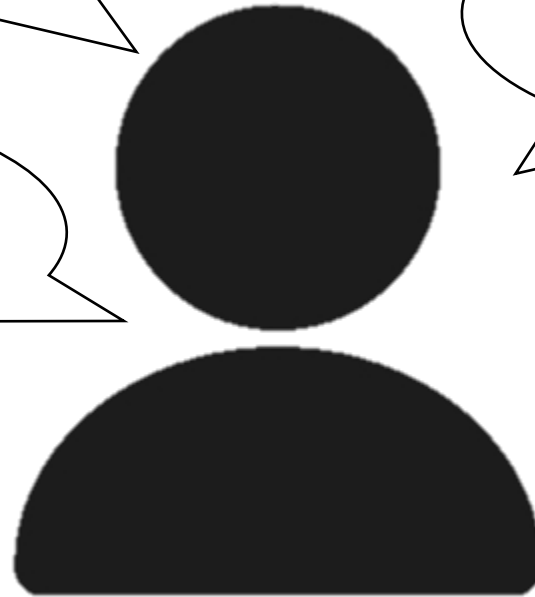
バイアスとは？

思考の偏り（思い込み）

普通は～

～べき

絶対に～



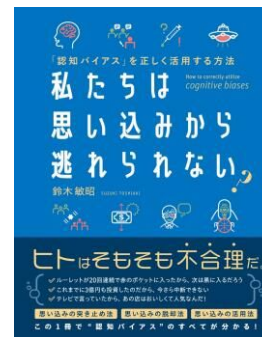
バイアスの見つけ方

「**思い込み**」に気づくことで、さまざまな**呪縛**から
解き放たれることがあるのではないのでしょうか。

鈴木敏昭さん

- すべき・ねばならない
- してはいけない
- ふつうは・常識は
- やっぱり
- できない
- 意見が割れるもの

バイアスかも！
を探してみましょう♪



バイアス例

バイアス例	見直し案
毎日掃除はするべき！	清掃週 1 回
PTAがないと協力しない！	PTA廃止⇒ボランティア化
1 人の担任が責任をもつべき！	担任制廃止⇒学年担任制
1 時間は 4 5 分であるべき！	午前 5 時間制 4 0 分授業
研究がないと絶対に学ばない！	校内研究廃止⇒学び合い
宿題 3 点セットを課すべき！	一律の家庭学習の廃止
子どもの座席は決めるべき！	教室のフリーアドレス
指示説明しないと絶対無理！	学び方を子どもが選ぶ

それって本当なの？
いつからそう思っているの？

Input

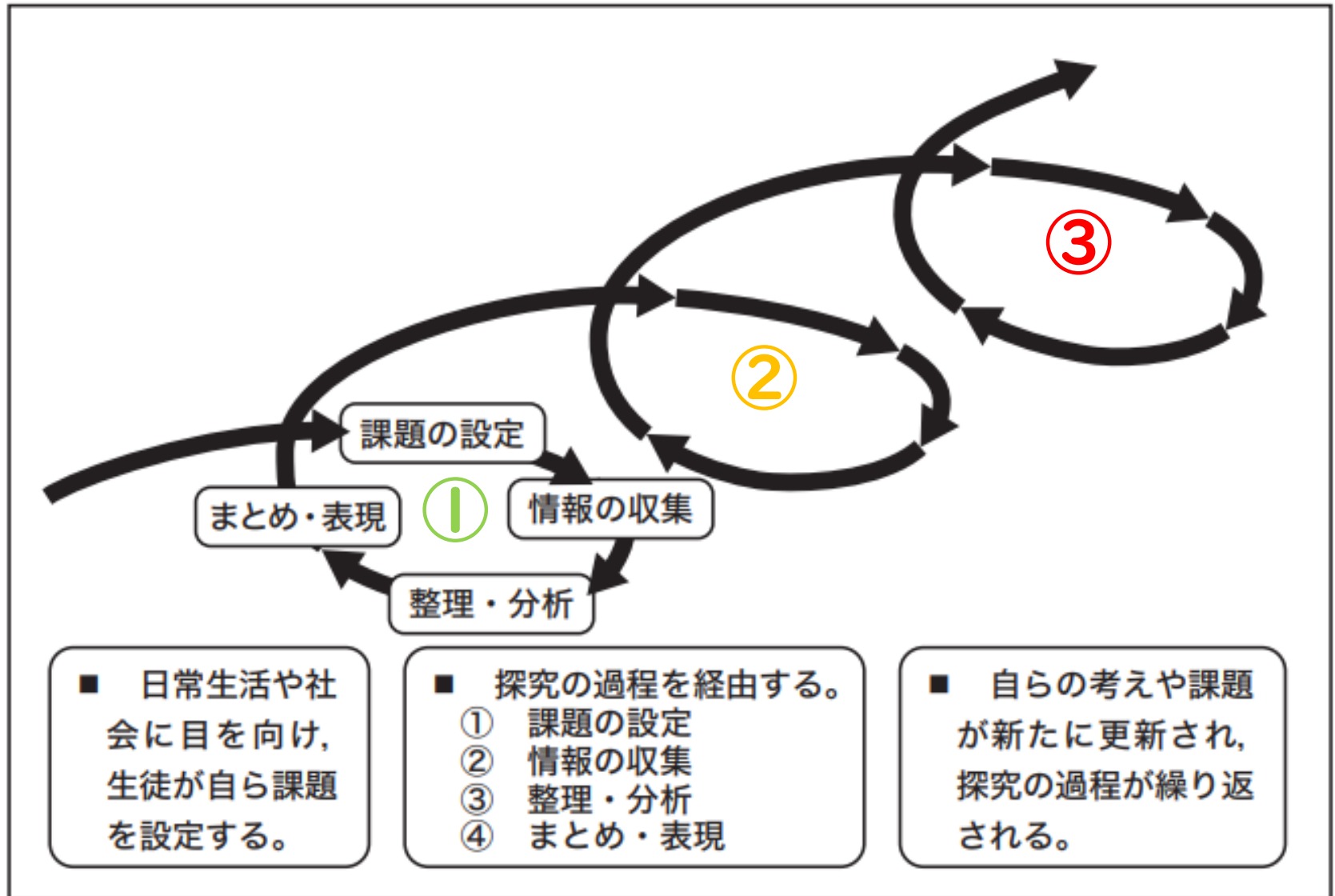
15:15-15:30

①働き方改革の目的

②バイアスについて

③プロジェクト型業務改善

探究のサイクルをまわせると、人生を切り拓ける



福島市立福島第四小学校

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

活動

Kickoffワークショップ

プロジェクト発足
実行と振り返り

振り返りと
仕組み化

◆時程変更PJT

毎日こどもの下校

15:30 ⇒ 14:50

◆校内研究転換PJT

◆自由進度学習PJT

◆教科担任制PJT

給食ローテーション

道徳ローテーション

朝/帰りの会ローテーション



項目	内容	実施	効果
3学期から	教科担任制の実施（1人1教科） 給食ローテーションの実施（1人1給食） 道徳ローテーションの実施（1人1道徳） 朝/帰りの会ローテーションの実施（1人1朝/帰りの会）	3学期から実施開始	教科担任制の実施により、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まった。給食ローテーションの実施により、給食の質が向上し、生徒の食生活が豊かになった。道徳ローテーションの実施により、道徳の授業が充実し、生徒の道徳意識が高まった。朝/帰りの会ローテーションの実施により、朝/帰りの会の質が向上し、生徒の生活リズムが整った。
4学期から	教科担任制の実施（1人1教科） 給食ローテーションの実施（1人1給食） 道徳ローテーションの実施（1人1道徳） 朝/帰りの会ローテーションの実施（1人1朝/帰りの会）	4学期から実施開始	教科担任制の実施により、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まった。給食ローテーションの実施により、給食の質が向上し、生徒の食生活が豊かになった。道徳ローテーションの実施により、道徳の授業が充実し、生徒の道徳意識が高まった。朝/帰りの会ローテーションの実施により、朝/帰りの会の質が向上し、生徒の生活リズムが整った。
5学期から	教科担任制の実施（1人1教科） 給食ローテーションの実施（1人1給食） 道徳ローテーションの実施（1人1道徳） 朝/帰りの会ローテーションの実施（1人1朝/帰りの会）	5学期から実施開始	教科担任制の実施により、授業の質が向上し、生徒の学習意欲が高まった。給食ローテーションの実施により、給食の質が向上し、生徒の食生活が豊かになった。道徳ローテーションの実施により、道徳の授業が充実し、生徒の道徳意識が高まった。朝/帰りの会ローテーションの実施により、朝/帰りの会の質が向上し、生徒の生活リズムが整った。

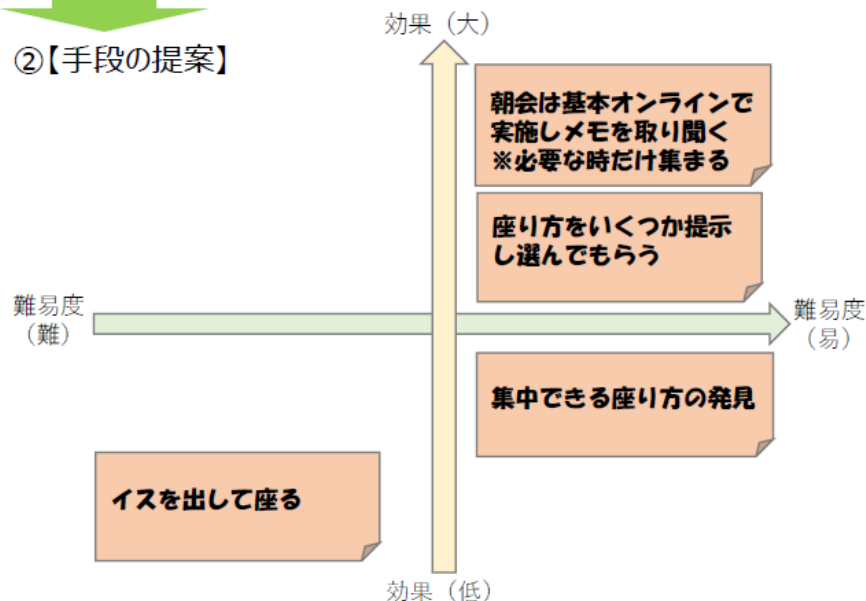


プロジェクトの計画

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
・しずかに落ち着いた空気で聞ける。 ・一斉に情報を共有できる。	・情報共有が目的だがおもしろが辛くて実は聞けていないのでは？ ・全員が一カ所に集まる必要があるのか？ ・体育座りは健康に悪い。 ・主体的に行動できるようになってほしい。

- ②【手段の提案】



- 【プロジェクト名】

全校朝会問い直しプロジェクト

- 【メンバー】

大野 中野
小野 超野

- ④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		一週間前に、各担任から伝える
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

- ③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？

基本、朝会や集会などはオンラインで実施をする。そうすることで、資料を投影することもできる。また、手帳などに生徒がメモをする姿を推奨し、「自律」におかのように支援する。
対面式の場合は、「座り方をいくつか提示」し、選択してもらう。

Project

Check in
本音

Input
3つ

Workshop
アイデア出し

Team
選ぶ

Dialog
作戦会議

Check out
押しプレゼン

15:30-15:40

アイデア出し

お題

【お題】

創造的余白を大池小で増やすために、
みんなで取り組めそうなことは？

学年・教科
担任制の
導入

時程の
見直し

自助 個人裁量

共助 学校裁量

公助 教育委員会・国裁量

3者それぞれに何ができるのか？
を考えて行動することが大事

Check in
本音

Input
3つ

Workshop
アイデア出し

Team
選ぶ

Dialog
作戦会議

Check out
押しプレゼン

15:40-15:50

チームを選ぶ



ギャラリーウォークでチームを選ぶ

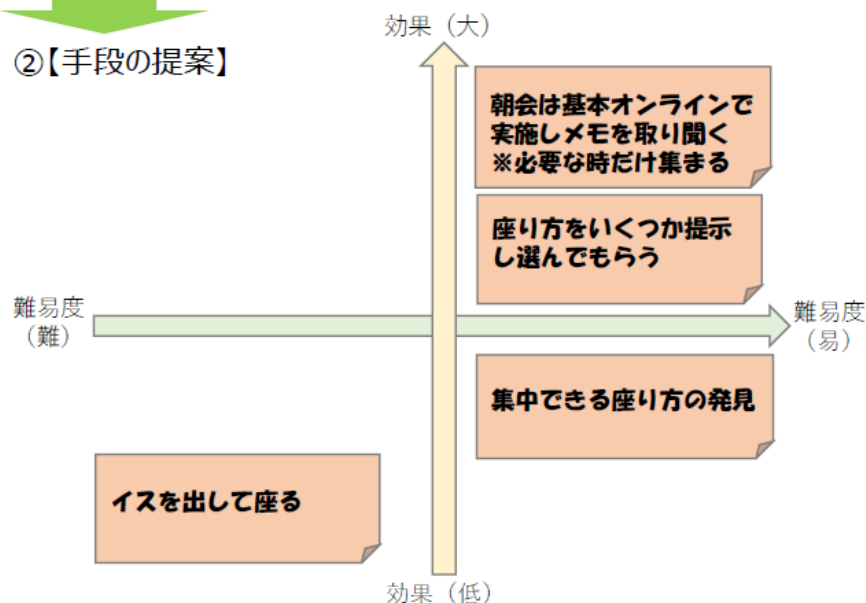


チームを決めて、シートをつかってリデザイン

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
・しずかに落ち着いた空気で聞ける。 ・一斉に情報を共有できる。	・情報共有が目的だがおもしろが辛くて実は聞けていないのでは？ ・全員が一カ所に集まる必要があるのか？ ・体育座りは健康に悪い。 ・主体的に行動できるようになってほしい。

②【手段の提案】



【プロジェクト名】

全校朝会問い直しプロジェクト

【メンバー】

大野 中野
小野 超野

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		一週間前に、各担任から伝える
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？

基本、朝会や集会などはオンラインで実施をする。そうすることで、資料を投影することもできる。また、手帳などに生徒がメモをする姿を推奨し、「自律」におかうように支援する。
対面式の場合は、「座り方をいくつか提示」し、選択してもらう。

Project

シーズン制の日課導入

令和6年度 笹目東小日課表(40分授業)

月	火	水	木	金
登校 8:00~8:10				
朝の会 8:30~8:40				
Eタイム/清掃	集会/清掃	Eタイム	Eタイム	清掃
8:40~8:55				
学習準備		8:55~9:00		
1校時		9:00~9:40		
学習準備		9:40~9:45		
2校時		9:45~10:25		
業間休み		10:25~10:40		
学習準備		10:40~10:45		
3校時		10:45~11:25		
学習準備		11:25~11:30		
4校時		11:30~12:10		
給食 12:10~12:55				
昼休み 12:55~13:15				
学習準備		13:15~13:20		
5校時			13:20~14:00	
下校指導 14:00~14:15	学習準備 14:00~14:05	学習準備 14:00~14:10	学習準備 14:00~14:05	
①研修 ②企画 ③職員会議 ④研修・マネ・就支 ⑤各種部会・各種委員会 14:15~15:00	6時間目 14:05~14:45	クラブ・委員会	6時間目 14:05~14:45	
	下校指導 14:45~15:00	14:10~14:55	下校指導 14:45~15:00	
		14:55~15:00		
	休憩時間 15:00~15:45			
職員集会 15:45~16:00	①安全点検 ②教育相談	研修・学級事務等 15:45~17:00		
学級事務等 16:00~17:00	③各種部会・各種委員会 ④業務改善 15:45~17:00			

・ 7月までを40分授業、夏季休業明けから45分授業

・ 5校時終了14:00、6校時終了14:45

・ クラブ、委員会も月に1回ずつの設定

・ 放課後の余白の時間を子供たちに還元する。

・ カリキュラム・マネジメント力をつける。

・ 勤務時間内で業務を完結させる。計画的に仕事をする。

シーズン制の日課導入

令和6年度 笹目東小日課表（45分）

月	火	水	木	金
登校 8:00~8:10				
朝の会 8:30~8:40				
1校時		8:40~9:25		
学習準備		9:25~9:30		
2校時		9:30~10:15		
業間休み		10:15~10:30		
学習準備		10:30~10:35		
3校時		10:35~11:20		
学習準備		11:20~11:25		
4校時		11:25~12:10		
給食 12:10~12:55				
Eタイム/清掃	集会/清掃	Eタイム	Eタイム	清掃
12:55~13:10				
昼休み 13:10~13:25				
学習準備		13:25~13:30		
5校時		13:30~14:15		
下校指導	学習準備	学習準備	学習準備	
14:15~14:30	14:15~14:20	14:15~14:25	14:15~14:20	
①研修 ②企画 ③職員会議 ④研推・マネ・就支 ⑤各種部会・各種委員会 14:30~15:30	6時間目		6時間目	
	14:20~15:05	クラブ・委員会	14:20~15:05	
	下校指導	14:25~15:10	下校指導	
	15:05~15:20	下校指導	15:05~15:20	
		15:10~15:25		
休憩時間				
15:30~16:15				
職員集会 16:15~16:30	①安全点検 ②教育相談	研修・学級事務等 16:15~17:00		
学級事務等 16:30~17:00	③各種部会・各種委員会 ④業務改善 16:15~17:00			

・ 8月以降45分授業になっても下校時刻はそんなに変わらない。

・ 1週間通して休憩時刻を統一する。

・ 45分授業になっても、学校施設時刻は18:30

・ 夏季休業でリセットできる。
・ 学校運営協議会の理解も得ている。

教育課程や日課を見直す際のパラメーター

年間

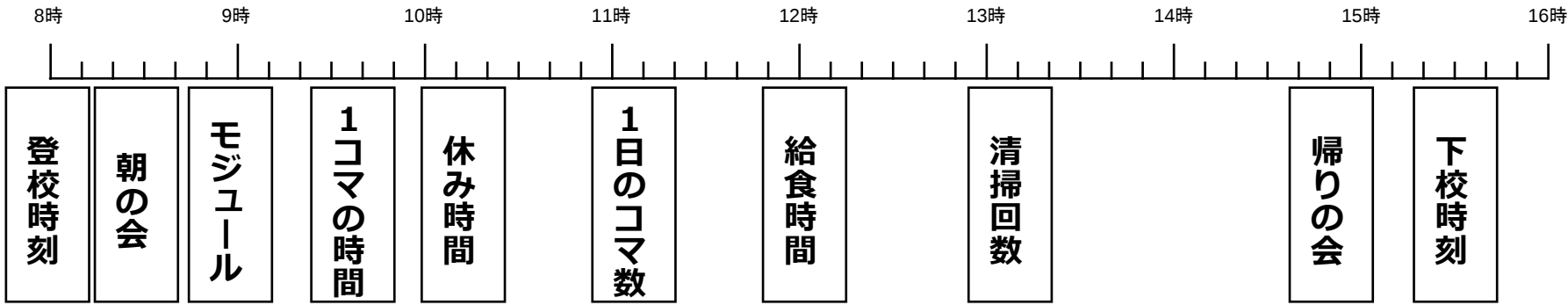
- 年間総時数の見直し（余剰0へ）
- 時数なるべく教科にカウント
- 行事の見直し（精選・簡略化など）
- 季節に見合った教育課程

週・月

- 曜日ごとのコマ数（5時間授業日）
- 短縮時程・特別時程設定
- 全校集会の見直し



日課



チーム/教科担任制

	4年1組 	4年2組 	4年3組 
体育 マット運動			
社会 伝統行事			
体育 I like ~.			

交換

- 教科（単元）ごとに担当を決め、学年全体で授業を行う。
- 左記は体育、社会、英語だが、書写/テスト/漢字など、教育活動ごとの交換が可能
- 単元ごとの時数など、少しの差があっても調整が可能

【ローテーション】

	2年1組 	2年2組 	2年3組 
1週目			
2週目			
3週目			

ローテ

ローテ

- 左記の例のように、同教科における35程度の教材を学年で分担し、同じ教材を用いて全クラスで実施する。
- 授業研究や教材準備などの負担軽減と同時に、質の向上にも繋がる

【合同授業】

	3年1組 	3年2組 	3年3組 
算数	 メイン		
総合		 メイン	
社会			 メイン

- 同じ時間に全クラスが同じ教科を設定し、授業研究や教材づくりを分担する。
- 授業研究や教材づくり以外に、オリエンテーションや内容の説明などをメイン担当が担う。
- 広い教室やzoomで繋げることで、一斉に同一の説明をすることができる。

チーム/教科担任制

	1組担任 A	2組担任 B	3組担任 C
朝の会	A	B	C
体育	↓	↓	↓
社会			
外国語			
算数			
給食			
国語			
帰りの会	↓	↓	↓

交換授業+教科担任制の専科（イメージ図）

	1組担任 A	2組担任 B	3組担任 C
朝の会	A	B	C
体育	A	A	A
社会	B	B	B
外国語	C	C	C
算数	D	D	D
給食	A	B	C
国語	↓	↓	↓
帰りの会	↓	↓	↓

交換授業
※同一教科
の単元同士
で交換する
場合もある
教科担任制
の専科

種類	特長
学級担任制	・児童の様子を1日を通して観察できる（児童や保護者にとって安心） ・情報交換の時間が不要 ・授業時間の柔軟な運用がしやすい ・教科横断的な授業が可能
学年(チーム)担任制 (交換授業、教科担任制等)	・教材研究を担当教科に集中でき、授業の質が向上できる ・学級担任と相性が合わない児童も別の教科で活躍できる ・多様な視点で児童を指導できる ・年度途中の教員の未充足に対応しやすい ・中学校への移行がスムーズ
専科指導	・専門性の高い授業が可能 ・教員の負担軽減の効果が特に大きい

交換授業+教科担任制の専科+学年(チーム)担任制（イメージ図）

	学年(チーム)担任 A	B	C
朝の会	A	B	C
体育	A	A	A
社会	B	B	B
外国語	C	C	C
算数	D	D	D
給食	A	B	C
国語	↓	↓	↓
帰りの会	↓	↓	↓

ローテーションで3人の担任が各クラスを指導

校内研究/研修観の転換

教師の学び



研修観の転換

- ・教師自らが主体的に取り組むボトムアップ型の研修
- ・自分のやりたいことを追求する。

児童の学び



相似形

学びの転換

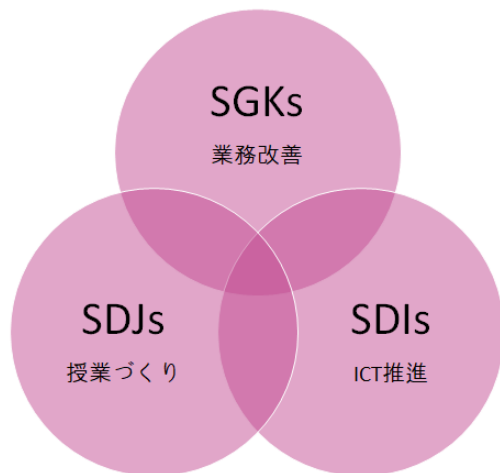
- ・教師はファシリテーター
- ・子供が主語の教育活動
- ・生きて働く力(コンピテンシーの育成)

子供が育ち、教職員が育つ学校

校内研究の在り方を転換 愛知県小学校

SDTs

～持続可能で発展的に成長し続ける教師集団～



研究や授業改善と
業務改善の
バランスは？

研究理念

1. すべての先生が余裕とやりがいを実感できる職員室に！
 2. 研究のための研究にしない！
(持続可能で根付く文化に)
-
1. 日常の改革で高め合える教師集団へ！
 1. 費用対効果を意識して、
時間はかけずに最大の教育効果を！

指導案と
研究授業を
廃止

年間を通して、
全学年の授業を
参観し合うスタイルへ

ガッツリ型
↓
チョコチョコ型へ

〇月〇日に
授業見に行って
いい？

もちろん！



☆豊かなスポーツライフ

- ・ 体育の成果を活かす
- ・ 準備負担を減らす
- ・ 生徒が選んで出場
- ・ 運営は代表委員会
- ・ 審判は生徒と地域の方
- ・ 教師は笑顔で見守る行事



学校ボランティア地域の方&学生 笹目東小学校



The poster features a bright blue sky with a smiling sun icon in the top left. The main title 'ボランティア 大募集' (Volunteer Big Recruitment) is written in large, bold, yellow and white characters. Below the title, a small blue hand icon with the word 'Hi!' is shown. A tagline in white text reads 'いつでも、できるときに、すこしでも' (Whenever, whenever possible, even a little bit). The central image is a collage of photos showing school buildings, flower beds, and students working. At the bottom, a QR code is displayed next to the URL 'https://hi.open-dna.jp/' and the group code 'JdFeax'. A small green tree logo is in the bottom left corner.

ボランティア 大募集 

いつでも、できるときに、すこしでも

子供たちの学びを一緒に支えましょう！！

笹目東小学校では、行事や清掃、花壇整備、日々の授業で児童の学びを支援してくださるボランティアを募集しています。

御賛同くださる場合は右記のQRコードもしくはURLから、ボランティア募集アプリ「Hi」の登録をお願いいたします。



<https://hi.open-dna.jp/>
グループコード：JdFeax



笹目東小学校 PTA会長 丹野 一城
笹目子協賛団 代 表 原田 圭子
須藤 理恵
笹目東小学校 校 長 片岡 昭博

ボランティア募集アプリ「Hi」の導入

- ・導入まではGoogleClassroomを活用していたが、アプリのほうが便利！！
- ・クラスの保護者だけではなく、他学年の保護者にも呼び掛けられる。
- ・現在約130名登録
- ・保護者以外の学校応援団の方も登録可能（その都度、連絡しなくてよい）

ボランティアアプリ「Hi」



お気に入りインポート | フォックマーク | PTAアプリ

募集 + 新規登録 | CSV一括新規登録 | CSVテンプレートDL

募集期間(公開中)	ポイント受付中
6-2 総合的な学習の時間 町探検引 募集開始日 (公開日) 2023/09/04 公開終了日 2023/09/06 応募人数/上限人数 0人/2人 付与ポイント数 0ポイント 応募状況 削除	4年1組キャンプ練習日 募集開始日 (公開日) 2023/09/04 公開終了日 2023/10/19 応募人数 0人 付与ポイント数 1ポイント 応募状況 削除
さくらんぼ学級 調理実習 募集開始日 (公開日) 2023/07/14 公開終了日 2023/07/19 応募人数 1人 付与ポイント数 0ポイント	5年3組家庭科(裁縫) 募集開始日 (公開日) 2023/07/04 公開終了日 2023/07/08 応募人数 1人 付与ポイント数 0ポイント

募集期間(公開中)	ポイント受付中
4年1組第一回キャンプ 募集開始日 (公開日) 2023/09/04 公開終了日 2023/10/28 応募人数 0人 付与ポイント数 0ポイント 応募状況 削除	1年 体育「水遊び」見守り 募集開始日 (公開日) 2023/06/19 公開終了日 2023/07/06 応募人数 6人 付与ポイント数 0ポイント

- ・先生たちが自由に募集をかける。
- ・先生全員が管理者
- ・お知らせで授業内容を共有

保護者がいてくれるだけでラッキー！！
見守りお願いしまーす！！

11:40 9月5日(火) 戸田市立笹目東小学校

2023年9月

日	月	火	水
3	4	5	6
10	11	12	13
17	18	19	20
24	25	26	27

おすすめのハイ！

募集期間(公開中)	ポイント受付中	
6-2 総合的な... 9/6(木) あと2人	4年1組キャ... 10/19(木) 今0人	4年1組第一... 10/28(土) 今0人

おすすめのアプリ

読めてる？ 子供の読み書き障害を簡単にチェック

ホーム | お知らせ | ハイ！

「委ねる」の段階がある

4月

5月

6月

7月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

1学期

2学期

3学期

子どもの成長をかみしめながら、少しずつ委ねる

単元で委ねる
子ども主語の学び

複数教科
学年合同
異学年 など

子どもと
共に創る

1コマで委ねる
子ども主語の学び

子どもと共に学ぶ

部分で委ねる
子ども主語の学び

子どもの成長を信じて、委ねる

バイアスを手放し、小さく試してみる

教育の質が高いつつ、毎日早く帰る幸せな学校

■ 時程を45分繰り上げ
⇒ 6校時終了が14:45

■ 16:45留守番電話導入
⇒ 電話が減り、アプリのメッセージに変更

■ 校内研究を廃止
⇒ 自由な校内研修への変更

■ 宿題のアップデート
⇒ 自律型の家庭学習へ

■ 部分教科担任制
⇒ 得意を活かし合う

■ 職員室フリーアドレス
⇒ カフェのような職員室

■ 学年だよりの廃止
⇒ 学校だよりの一本化



Check in
本音

Input
3つ

Workshop
アイデア出し

Team
選ぶ

Dialog
作戦会議

Check out
押しプレゼン

15:55-16:15

作戦会議

Check in
本音

Input
3つ

Workshop
アイデア出し

Team
選ぶ

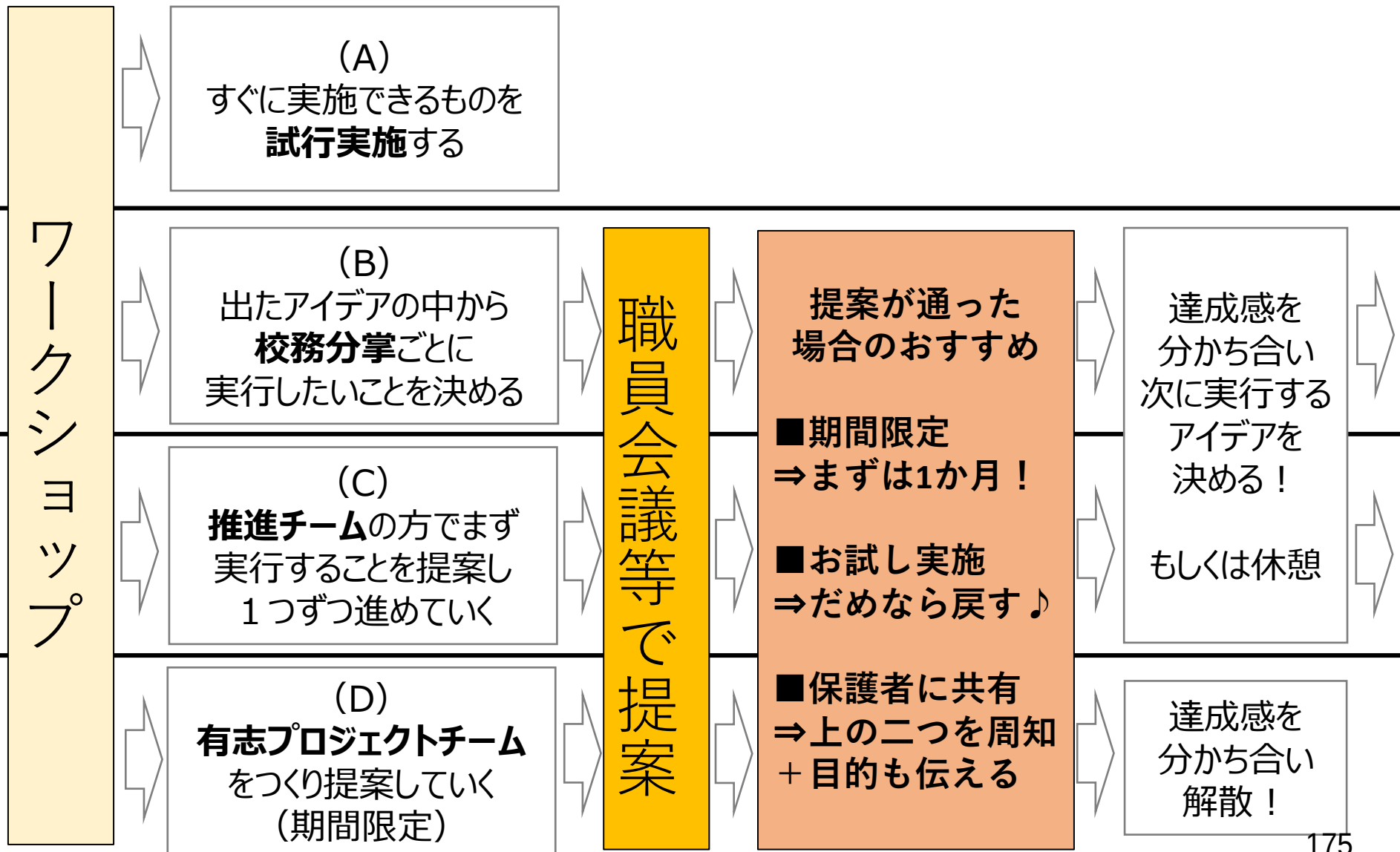
Dialog
作戦会議

Check out
押しプレゼン

16:15-16:25

押しプレゼン

アイデアの実現フローチャート

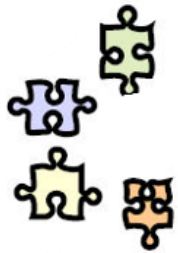


タックマンモデル

混乱期を避けるのではなく、早い時期から突入し、楽しむことが重要！

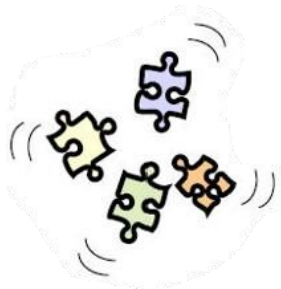
形成期

チーム形成



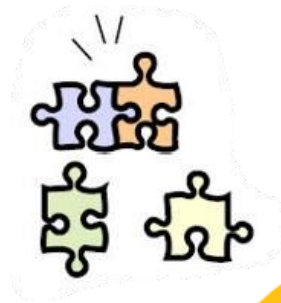
混乱期

ぶつかり合う



統一期

共通規範形成



機能期

成果が表れる



- ・ 互いをよく知る
- ・ 課題の共有
- ・ 対話の量

- ・ 尊重しつつ本音をぶつけ合う
- ・ 目標設定意思決定
- ・ 対話の質

- ・ 新たな規範や役割の設定
- ・ 成功体験の共有
- ・ リーダーが複数

- ・ 共通の目的に向けて能力が発揮される
- ・ 何でもチャレンジ

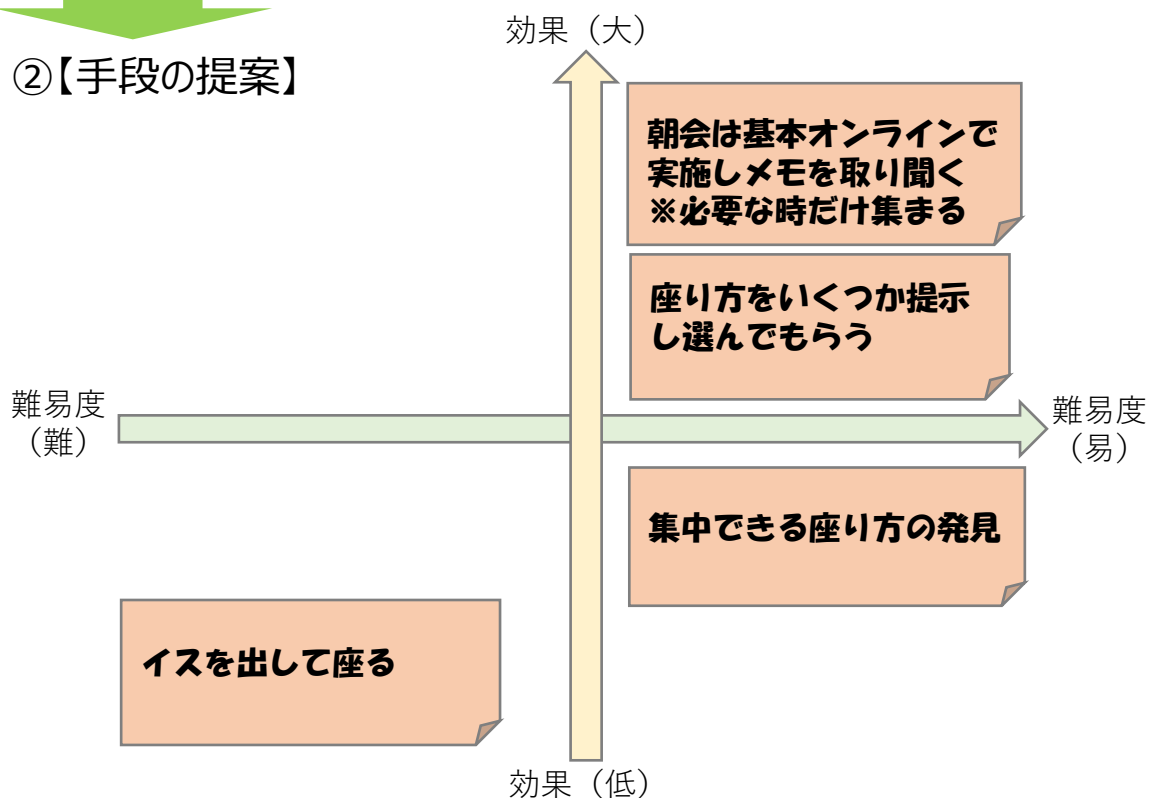


sensei no shiawase kenkyujo
先生の幸せ研究所

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題
・しずかに落ち着いた空気で聞ける。 ・一斉に情報を共有できる。	・情報共有が目的だがおしりが辛くて実は聞けていないのでは？ ・全員が一カ所に集まる必要があるのか？ ・体育座りは健康に悪い。 ・主体的に行動できるようになってほしい。

②【手段の提案】



【プロジェクト名】

全校朝会問い直しプロジェクト

【メンバー】

大野 中野
小野 超野

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日	12/25	大野		資料作成を給食ローテした分で実施
外部に共有する日 (保護者や区教委など)	1/9	中野		学校だよりで保護者に共有
試行実施する日	1/15	超野		一週間前に、各担任から伝える
振り返る日 (改善点を挙げるなど)	1/22	小野		
本運用の日	2/5	大野		

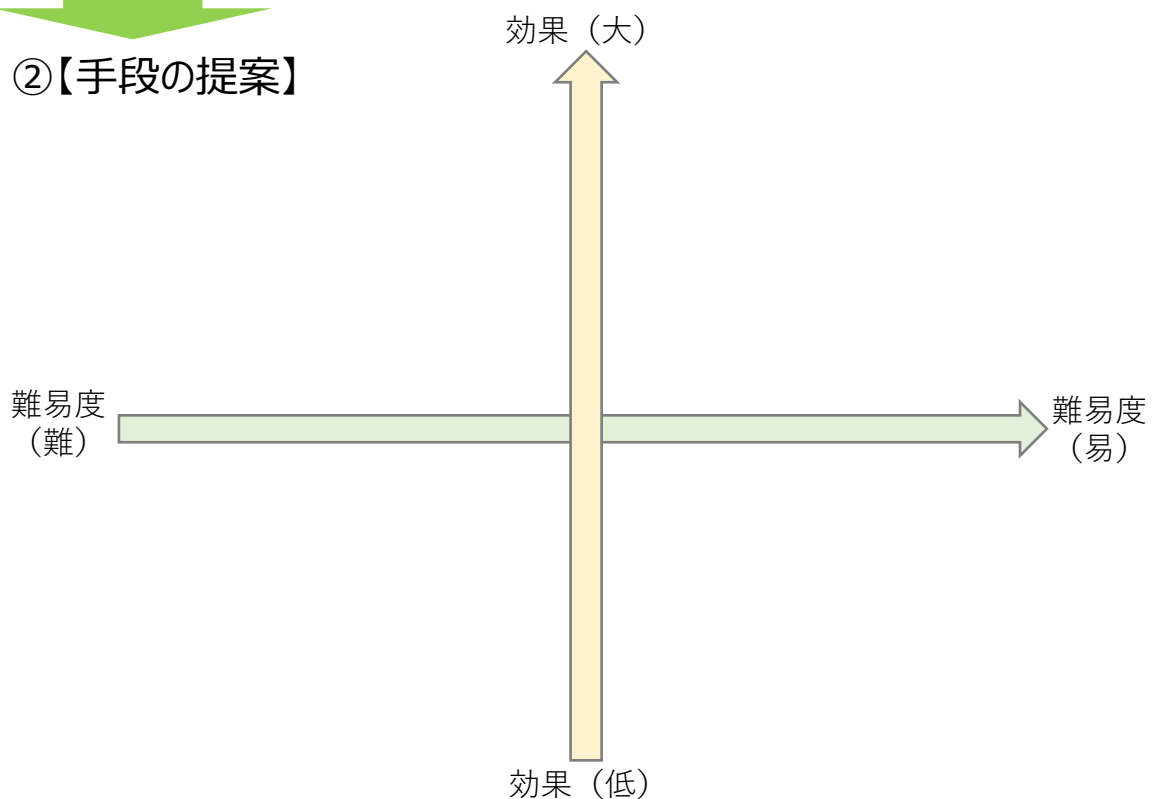
③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段なっていますか？

基本、朝会や集会などはオンラインで実施をする。そうすることで、資料を投影することもできる。また、手帳などに生徒がメモをする姿を推奨し、「自律」にむかうように支援する。
対面式の場合は、「座り方をいくつか提示」し、選択してもらう。

- ①【現在の手段】 ・この手段は、だれにとってどんな「価値」があるの？
 ・本音で言うとしたら、この手段の「課題」はなんですか？

価値	課題

②【手段の提案】



【プロジェクト名】

【メンバー】

④【実行計画表】 ・担当者の負担が配慮されていますか？

内容	日付	担当者	チェック	配慮点
校内で提案する日				
外部に共有する日 (保護者や区教委など)				
試行実施する日				
振り返る日 (改善点を挙げるなど)				
本運用の日				

③【新たな手段】 ・みんな（子ども/保護者等/教員）にとって、納得のいく手段になっていますか？



sensei no shiawase kenkyujo

先生の幸せ研究所